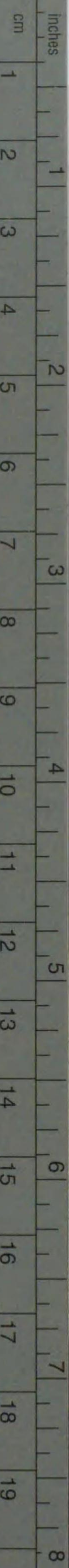
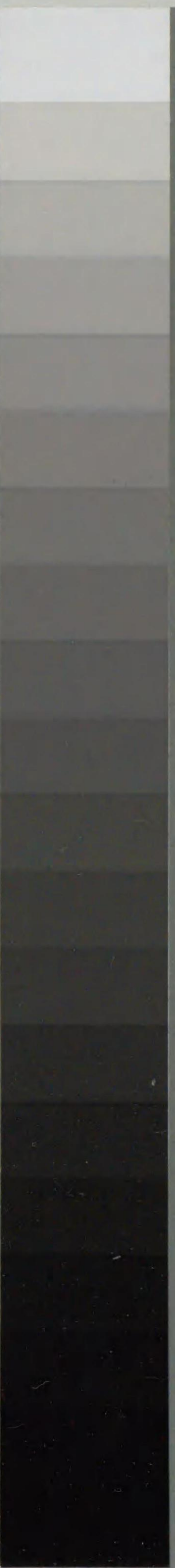


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

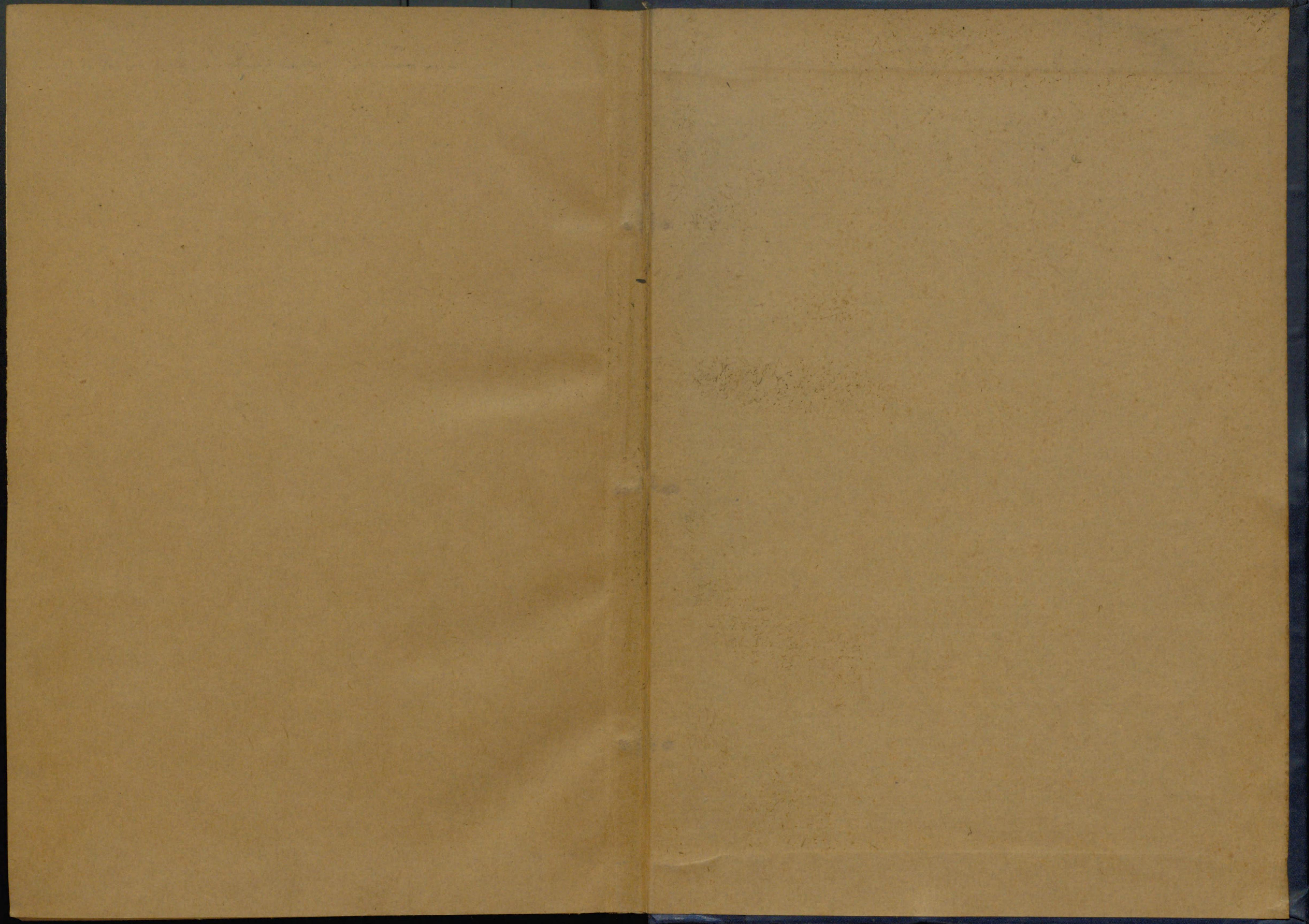
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
Light Blue	Light Cyan	Light Green	Light Yellow	Light Red	Light Magenta	White	Light Gray	Black
Dark Blue	Dark Cyan	Dark Green	Dark Yellow	Dark Red	Dark Magenta	White	Dark Gray	Black

581  
146

581-146  
\*1200600099988\*







80

昭和七年二月一日發行



製鐵所

參考資料

(第五拾壹號)

製鐵所總務部





581  
146

例言

- 一、本冊子ハ文書課ニ於テ抄譯シタル外字新聞若クハ雜誌中掲載ノ事項及ヒ其他ノ調査資料ニ就キ參考トナルヘキモノヲ撰ミ關係所員ニ頒タンカタメ謄寫ニ代ヘ印刷スルモノトス
- 二、本冊子ハ當務ノ參考ニ供スルヲ以テ目的トシ文字ノ彫琢編纂ノ體裁ニ於テ缺クル所少ナカラサルヘシ讀者之ヲ諒セヨ

製鐵所總務部

製鐵所參考資料第五十一號目次

獨逸鐵鋼業に於ける協力研究	一
合衆國製鋼諸會社の勞銀一割引下ミ勞力費の節約高	七
同 (其の二)	一五
外人の觀たる日本製鋼業	一九
同 (其の二)	四七
濠洲に於ける亞鉛引鐵板の需給狀況	七四
同 (其の二)	七八
業態別に見た石炭消費の趨勢	八四
シベリアの新産炭地	九十
ブラデルの滿俺産出輸出狀況其他	九五
海外雜報	一〇三
英國鐵鋼業の好轉と大陸事情	一〇三
國際粗鋼カルテル延長決定	一〇五
合衆國銑鋼生産高逐次減少	一〇五
獨逸鐵鋼業税金及社會費の重荷	一〇六
英米鋳力板輸出協約満了	一〇九
露佛物々交換契約成立と歐洲事情	一一〇
亞米利加線材の日本賣込	一一二
鋼鐵類値下(ドイツ)	一一三



統計……………一一二

佛國に於ける石炭消費額……………一三 一九三〇年英國に於ける選炭狀況……………二三 一九三〇年英國に於ける廢炭工業……………二四 一九三〇年英國に於ける煉炭工業……………二六 英國に於ける用途別石炭消費額……………二七 一九三一年八月中佛蘭西の壓延鋼材產額……………二八 一九三一年八月中獨逸の壓延鋼材生產高……………二八 一九三一年七月中合衆國鐵鋼材輸出……………二九 一九三一年七月中佛蘭西鐵鋼材輸出……………三三 一九三一年七月中白耳義及ルクセンブルグ鐵鋼材輸出……………三四 一九三一年上半期中佛蘭西の滿俺鑛石輸入……………三五 一九三一年八月及九月中獨逸の鐵鋼材輸出……………三六 一九三一年八月及九月中獨逸の鐵鋼材輸出……………三七 一九三一年八月中佛蘭西の鐵鋼材輸出……………三九 一九三一年八月中合衆國鐵鋼材輸出……………三〇 一九三一年九月中獨逸の壓延鋼材生產高……………三三 一九三一年九月中瑞典の鐵鋼統計……………三五 一九三一年九月中白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出……………三六 一九三一年九月中合衆國の鐵鋼材輸出……………三六 一九三一年九月中佛蘭西鐵鋼材輸出……………三九 一九三一年九月中佛蘭西の壓延鋼材產額……………四〇 一九三〇年中獨逸の鐵鑛石生產高……………四四 一九三一年九月中佛蘭西滿俺鑛石輸入高……………四四 一九三一年上半期ルクセンブルグの鐵鑛石生產高……………四五 一九三〇年中露西亞鐵鋼輸出……………四五 一九三一年十月中白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出……………四六 一九三一年十月中獨逸の鐵鋼材輸出……………四七 一九三一年十月中獨逸の壓延鋼材生產高……………四九 一九三一年十月中佛蘭西壓延鋼材生產高……………五〇

附 表

- 一、製鐵所並民間製鐵會社鐵鋼材生產高月別表
- 二、各國鉄鋼月別生產統計
- 三、最近三ヶ年に於ける英國鐵鋼材輸出、鋼塊生產高調
- 四、世界鋼塊及鑄物、鉄鐵生產高並主要國鐵鋼輸出入表
- 五、一九三一年歐洲鐵鋼月別輸出價格表
- 六、同 國內價格表
- 七、同 合衆國內月別鐵鋼價格表
- 八、一九三一年英、佛、獨、白及ルクセンブルク鐵鋼月別生產高並輸出入一覽
- 九、一九三一年合衆國鋼材用途別品目別消費數量表
- 一〇、一九三一年合衆國鋼材用途別品目別消費數量割合表並合衆國主要工業別年次別壓延鐵鋼材消費割合比較表
- 一一、合衆國主要製鋼會社財政事情一覽並合衆國平爐轉爐及鑄鑛爐生產能力と實產割合表
- 一二、合衆國鐵鑛石及滿俺鑛石價格調表
- 十三、合衆國一人當り鐵鋼生產高調



### 獨逸鐵鋼業に於ける協力研究

アイアン・エンド・コール・トレード・レビュー一九三二年八月廿一日

最近亞米利加鐵鋼協會に於てエフ・エヌ・スベラー氏が發表せる「鐵鋼業に於ける協力研究」に題する論文は、斯業に於ける多様の研究事業が協力動作に依り關係者一同の最高利益を齎らす爲めに相談づくで解決せられ得べき非競争的問題を詳細に説明し且類別するに、同時に亦此の種の問題を取り扱ひつゝある代表的協力團體に就ても説明して居る。尙「工業研究」なる辭句は今や、生産消費の兩團體を利する各種の調査を含んで使用されつゝあると同時に市場狀態、分配、新販賣先、職工の福利、消費者の問題並に斯業の基礎となる基本的科學及技術問題をも含んでをることを指摘して居る。生産費の低減、生産高の増進問題に關しては研究時間を費し過ぎるにあり得るも其の生産品に對する消費市場の開拓に付ては十分でない、故に市場に技術的研究は互に相關聯して行かねばならない、然し本論文は、特に技術的研究を論ずるものである。

技術的研究は多くの工業に於て最近著しき發達を示し來つたが最近全國調査會の調査せる數字に依れば化學工業及類似の諸工業に於て特に然りである、其の研究に要する年平均費用は資本額の二・〇四パーセントに達してゐる、自働車及ゴム工業が其次に位す、然るに亞米利加製鋼業の研究事業に費す金額は其の投資額



の〇・〇四パーセントと報ぜらる。一切の工業に對する一年一工場の年研究經費の平均は五萬弗と算せらる、合衆國に於て純科學研究に費やさるゝ費用は約一億弗に達して居る。

#### 獨逸に於ける研究事業

一九二六年聯合製鋼會社 (Vereinigte Stahlwerke A. G.) が組織せられたる際其の研究組織は當時に於ける最善の經驗に基けるものであつたこと見做してよい。故に本會社の採用せる制度は、研究組織の代表的ものとして選ばれて居るのである、本會社の研究事業は之を數多の専門家委員會と中央研究所並研究部に集中せしめて居る、研究部長は全委員會の一員であつて本事業の調整に對し責任を有するものである、研究部は、委員會から承認された畫策を工場に協力して速かに實行し又各種委員の仕事と連絡を保持して行く。重要な基本的の科學的仕事は研究學會に於て之を行ふ。

此の研究組織は、各階級を通じ最大の協力を以て、會社内は一切の隠れたる發案を利用し且之を鼓舞獎勵せんか爲めに設けられたるもので此の協力こそ研究組織の成功に必要なものである。研究組織の方略は第一圖に示す如く本會社の Poenigen 及 Dreyer 兩博士に依つて圖示せらる。獨逸製鋼業に於ける一般協力事業の連繋は此の圖中に舉示さる。研究部は各種委員會の仕事に絶へ間なく行はしむるやう看視するの責任があると同時に亦委員及其の他の關係者に現代技術著書の披書を供給する。研究部は亦言ふまでもなく販賣及廣告事業にも協力す、クルツプ會社に於ても略々之と同様の組織を長らく履行して居る。

獨逸に於ける工業的研究は通例二種に類別さる即ち一は基本的主義の研究、他は日常の諸問題に對し此の研究を實際に應用することである。前者の解決に對しては、一九一八年ジュセルドルフにカイゼルウイヘルム鐵研究學會設立せられ特に鐵鋼業に關する基本的問題の研究に従事した、獨逸には此種の學會が三十二を數へ各々總長又は監理部の下に於て機能を行使しつゝある、ジュツセルドルフのカイゼルウイヘルム學會は「獨逸製鐵業者組合」の手を経て獨逸製鋼業に資金を仰いで居るが但し會長の俸給は政府に於て之を仕拂ふ、製鋼業に關する基本的及科學的研究事業は亦諸在の技術大學に於ても行はる、然しながら鋼に關する此の種の科學的研究の大部分はクーベル博士指導の下に主としてカイゼルウイヘルム學會にて行はる。斯業日常の共益諸問題即ち協力的努力に依りて取扱はるゝ問題に對する應用科學の研究事業は通常 V D E 即ち獨逸製鐵業者組合の委員が之に従事する。是等の委員は次の諸項目に關與す

鑛石、骸炭、鎔鑛爐作業、鎔鑛爐副産物、製鋼所、機械、壓延工場、工場管理、化學、原料、熱(燃料及動力經濟)等

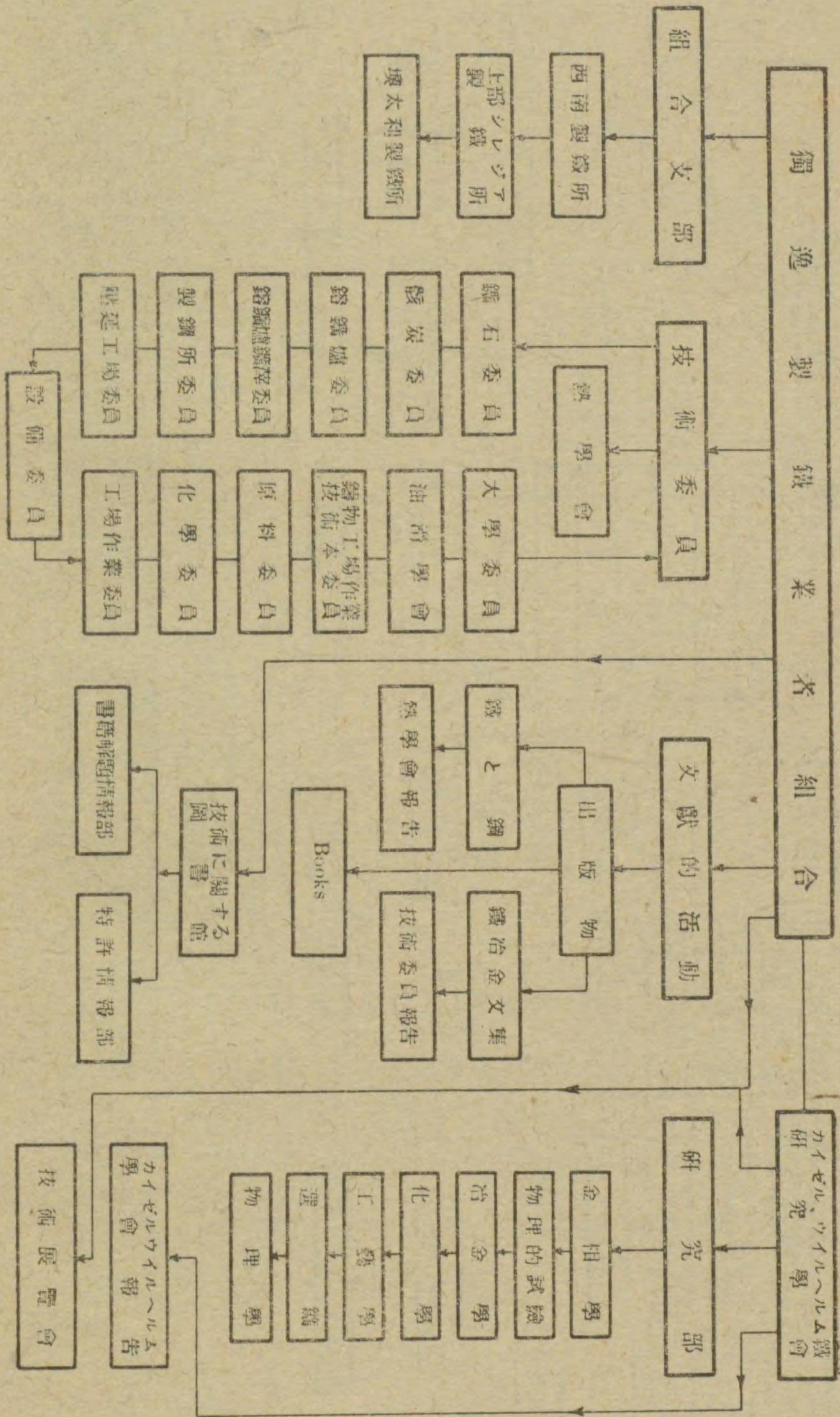
熱委員(製鐵製鋼所の燃料及エネルギー經濟に關する監督委員)は一九一九年に設けられた、其の仕事の分野は熱及エネルギー經濟に關し問題となつて居る諸工場に助力を與ふることである、前記の委員は誰でも自己の仕事を各會社の研究部、カイゼルウイヘルム學會又は最もよく之を利用し得る其の他の所へ譲り渡すことが出来ることになつて居る。第二圖及第三圖は、最近獨逸製鐵業者組合の調整せる圖を英譯せるもの







第參圖 獨逸製鐵業者組合組織圖解  
Verein Deutscher Eisenhüttenleute



### 合衆國製鋼諸會社の勞銀一割引下と勞力費の節約高

スチール一九三一年九月廿四日 アイアン・エーヂ一九三一年九月廿四日

#### 記事概要

一、合衆國に於ける代表的製鋼會社、ユ・エス・スチール、コーポレーションの引下前の賃銀左の如し

十時間制下の勞働者	一日四弗四〇	一時間四四仙
八時間制下の勞働者	一日四弗	一時間五〇仙

右の一割引下に依り次の如くなる

十時間制	一時間三九仙六
八時間制	一時間四五仙

二、賃銀一割引下に依る勞力費の節約高は原料方面に於けるよりも鋼製品方面の方多し

例へば引下以前シユピリオル湖鑛石の屯當り採鑛平均勞力費は約五〇仙又鑄鑪の勞力費は銑鐵一屯當り平均五五仙乃至六〇仙で今回の引下に依る節約高は其の一割

一方平爐工場の勞力費は從來屯當り七〇仙一弗、分塊工場、四〇仙一六〇仙、シートバー工場三〇仙一六〇仙で其の一割節約

三、鑛石から製品までの累計節約高は、ユ・エス・スチール、コーポレーションの場合に於て左の如し(推算)



一九三〇年の賃銀及俸給の經費合計は販賣用製品屯當り三三弗七〇仙、一九二三年には二七弗四五仙であつた今回の賃銀一割俸給一割乃至一割五分引下に依る節約高は販賣用鋼製品一屯に付二弗七四乃至三弗三七仙見當一九三〇年に於けるスチール、コーボレーションの賃銀並俸給支拂高は三億九千二百二十七萬一千三百六十六弗

【紐育】九月廿二日火曜日午後ユ・エス・スチール・コーボレーションに於ては賃銀一割引下を十月一日より實行する旨發表した。此の發表を見るやベスレーム製鋼會社、ヤングスタウン・シート・エンド・チューブ會社に於ても亦同日より同率の賃銀引下を發表した。他の獨立製鋼諸會社に於ても、鶴首期待せる所に、スチール・コーボレーションが先鞭をつけたからにはこれ赤同様手段を採るであらうことを疑はぬ。スチール・コーボレーションの財政委員會議長テイラー氏は右の發表に際して次の如く述べた。

「事業不振の現狀に善處せんが爲め、賃銀率を、仕事の別に應じ多少の差別をつけ十月一日より約一割引下ぐるこゝになつたが此調整は最近行つた俸給率の引下と併行の意味を含むものである」又ベスレーム製鋼會社長グレース氏は同じく賃銀引下發表に際して曰く

「余はスチールコーボレーションの賃銀引下を肯定的の行爲と見做し我社に於ても亦十月一日より同様率の引下を行はんとするものである」

ヤングスタウン・シート・エンド・チューブ會社長フランク・バーネル氏も賃銀一割引下の發表と同時に曰く

「我社、在來の政策に従ひ、シート及チューブ工場の賃銀は斯業の能率と併行せしむることとする、従業員諸氏は既に賃銀率引下の必要を認められ之れに應諾の意を表せられた」

スチールコーボレーションの賃銀引下の影響を蒙るもの約二十二萬人に達す、然しなから當局に於ては、此の引下に依つて齎らさるべき節約高の發表を拒んで居る

一九二三年（此の年を以て此れまでの調整は最後となつて居る）以來賃銀率は大いに増大し又作業時間は短縮された、一九二三年八月十二時間制が廢止せられ十時間制下の労働者は一日四弗四〇仙即ち一時間四四仙の賃銀率を受け又八時間制の労働者は一時間五〇仙一日四弗の支拂を受けた。今回行はれた十時間労働に對する一時間四四仙の一割引は、一九一八年四月に改正された賃銀率に殆んど逆戻りするものである、又八時間労働に對する一時間五〇仙の一割引は一時間四五仙の率となる

一九二一年の不況時に於ては附表に示す通り引き續き三回の減率を見た此の特例を除けば一九一五年以來の賃銀率の變化は全部増率して居る

スチールコーボレーションに於ては過去二ヶ年間の需要減退期間中一貫して職工中に交代休務作業政策を施行し來つた、一九三〇年十月一日より本年八月三十一日迄仕事を與へられた常備職工の平均数は九四%を超へた、此の平均数は本年は多少減少するもの見らる。スチール・コーボレーションの福利事業費は年一七〇〇、〇〇〇弗に達してゐるが昨年中救済に支出せる直接經費は別に百萬弗を算した。



スチールコーポレーションに於ては其の存在の三十年間中賃銀の調整を行へること二十二回、内引下は僅に四回で自發的の増率十八回に及んで居る、尙事茲に至るまでは會社は賃銀率は之を維持し、普通株の配當を減し、且俸給費を一割乃至一割五分減じたのであつた

ユ・エス・スチール・コーポレーションの普通職工に對する賃銀率の變化

年	十時間作業賃銀	増進率	一九一五年の賃銀に對する増進率
一九一五年	二・〇〇		
一九一六年二月一日	二・二〇	一〇	一〇
一九一六年五月一日	二・五〇	一三・六	二五
一九一六年十二月十五日	二・七五	一〇	三七・五
一九一七年五月一日	三・〇〇	九	五〇
一九一七年十月一日	三・三〇	一〇	六五
一九一八年四月十六日	三・八〇	一五	九〇
一九一八年八月一日	四・二〇	一〇・五	一一〇
一九一八年十月一日	四・六二	一〇	一三一
一九二〇年二月一日	五・〇六	一〇	一五三
一九二一年五月十六日	四・〇五	※二〇	一〇二・五

次表はアイアンエーヂ誌所載スチールコーポレーションの賃銀率改定を示す(一九一五年を基礎とす)

一九二一年七月十六日	三・七〇	※ 八・六	八五
一九二一年八月廿九日	三・〇〇	※ 一八・九	五〇
一九二二年九月一日	三・六〇	二〇	八〇
一九二三年四月十六日	四・〇〇	一一	一〇〇
△一九二三年 八 月	四・四〇	一〇	一一〇
備考 ※印は減少 ○印は一日八時間制を基幹とし過勤務に對しては一倍半の加給 △印は一日十二時間作業停止、八時間交代制の勞働者は一時間五〇仙の賃銀率を受く			
一九一六年一月六日		一割引上	
〃 〃 五月一日			
〃 〃 十二月十五日			
一九一七年五月一日			
〃 〃 十月一日			
一九一八年四月十五日			
〃 〃 八月一日			
〃 〃 十月一日 (八時間制採用)			
一九二〇年二月一日			



一九二〇年二月一日	五・〇八
一九二一年五月十六日	△四・〇五
〃	△三・七〇
〃	三・〇〇
一九二二年九月一日	三・六〇
一九二三年四月十六日	〇四・〇〇
備考	
尙ユ・エス・スチール・コーポレーション一九一六年以來の備役職工數次の如し	
一九一六年	二五二、六六八
一九一七年	二六八、〇五八
一九一八年	二六八、七二〇
一九一九	二五二、一〇六
一九二〇	二六七、三四五
一九二一	一九一、七〇〇
一九二二	二二四、九三一
一九二三	二六〇、七八六

尙ユ・エス・スチール・コーポレーション一九一六年以來の備役職工數次の如し

△印は近似數 ○印は八時間労働者に對しては四弗

※印は八時間制樹立、過勤務に對しては一倍半

△印は近似數 ○印は八時間労働者に對しては四弗

一九二一年五月十六日	二割引下
一九二一年六月六日	(八時間制廢止)
一九二一年八月廿九日	一時間三〇仙に引下
一九二二年九月一日	二割引上
一九二三年四月十六日	一割一分引上
日	附
一九一五年	二・〇〇弗
一九一六年二月一日	二・二〇
〃	二・五〇
〃	二・七五
一九一七年五月一日	三・〇〇
〃	三・三〇
一九一八年四月十五日	三・八〇
〃	四・二〇
〃	※四・六二
一九一八年四月十五日	三・八〇
〃	三・三〇
〃	三・〇〇
一九一七年五月一日	三・〇〇
〃	二・七五
〃	二・五〇
一九一六年二月一日	二・二〇
一九一五年	二・〇〇

次表は増減後の普通労働者の賃銀を示す(スチール・コーポレーション)

賃銀(十時間作業)



尙一九三一年の職工数は今回の賃銀引下の影響を蒙るもの約二二〇、〇〇〇人あるを以て概略此の數字  
を見て可ならん——譯者——

全従業員一人當りの俸給及賃銀の平均日給次の如し但し一般管理部及販賣部を除く

一九一二年	二・六八	一九二二年	四・七八
一九一三年	二・八五	一九二三年	五・七三
一九一四年	二・八八	一九二四年	五・七四
一九一五年	二・九二	一九二五年	五・七七
一九一六年	三・二九	一九二六年	五・八二
一九一七年	四・一〇	一九二七年	五・八六
一九一八年	五・三三	一九二八年	五・八五
一九一九年	六・一二	一九二九年	五・八四
一九二〇年	六・九六	一九三〇年	五・八〇
一九二一年	五・六一		
一九一二年	二・七五	一九一三年	二・九二

一般管理部及販賣部を含める右の平均給料次の如し

一九一四年	二・九七	一九二三年	五・八三
一九一五年	三・〇一	一九二四年	五・八五
一九一六年	三・三六	一九二五年	五・八八
一九一七年	四・一六	一九二六年	五・九四
一九一八年	六・一二	一九二七年	五・九九
一九一九年	六・一七	一九二八年	六・〇〇
一九二〇年	七・〇〇	一九二九年	五・九九
一九二一年	五・七三	一九三〇年	五・九九
一九二二年	四・九一		

### 合衆國製鋼諸會社の賃銀引下 (其の二)

スチール一九三一年十月一日 アイアンエーヂ一九三一年十月一日

オハヨ州ミッドルタウン市アメリカンローリングミル會社に於ては十月四日より新賃銀仕拂制度を施行す  
るこゝになつた此の制度は總べての労働者を熟練と責任とに従ひ二十二階級に分類せるものである



會社は二ヶ年間慎重研究せる結果各職工の仕事に對し無理のない最も公平な賃銀仕拂方法として又傳統的行爲並に今日の生産法と一致しない其他の要素から結果せる賃銀率の不平等を調整する最も公平なる手段として本制度を樹立せるものである。

本制度の結果は約四パーセントの賃銀低下を齎らすこととなるが然しこは、一の仕事と他の仕事との關係を一層公平ならしむる主要目的に附帶するものである。他方、本會社は又最近賃銀引下を行へる他會社の賃銀率と並行を保たんが爲め新制度に基き六パーセントの賃銀引下を行ふこととなるであらうこれが爲め賃銀引下げの總額は一割となる一九三〇年十二月一日會社は俸給の九パーセントを減じたが此の十月一日より更に減率を行ひ合計一割五分の減俸を見ることとなる。

以上 アイアン・エーヂ一九三二年十月一日

#### 賃銀一割引下に依る勞力費の節約

勞力費は賃銀切下の結果鐵鋼業の殆んご全部局に亘り減ぜらるゝであらうが然し原料生産方面に於ける節約高は鋼製品生産方面に於けるよりも少である。例へばシュピリオル湖鑛石の屯當り採鑛平均勞力費は約五〇仙で節約高は屯當り僅に五仙位である。

鑛鑛爐作業の勞力費は鉄鐵一屯當り三五仙乃至七〇仙で之れが一般平均を取れば屯當り五五仙乃至六〇仙である。若し鑛鑛爐にして原料を廉く手に入るゝことが出来なければ賃銀切下としての節約高は屯當り僅に

五仙乃至六仙に止まるであらう

代表的オハヨ製鋼工場の勞力費は目下平爐工場に於て屯當り七〇仙乃至一弗、分塊工場に於て屯當り四〇乃至六〇仙、シートバー工場に於て三〇乃至六〇仙である。最も勞力費の高いのは製品工場で製品及生産業者に依り頗る多様である。

鑛石から製品までの累計節約高は之を見積るに困難である。此の節約數字は斯業の各部を別々に考察するよりも寧ろ、鑛石、骸炭、鉄鐵又は半製品の何づれをも販賣せざるユ・エス・スチール・コーボレーションの場合に於て一層精確に反映するであらう。

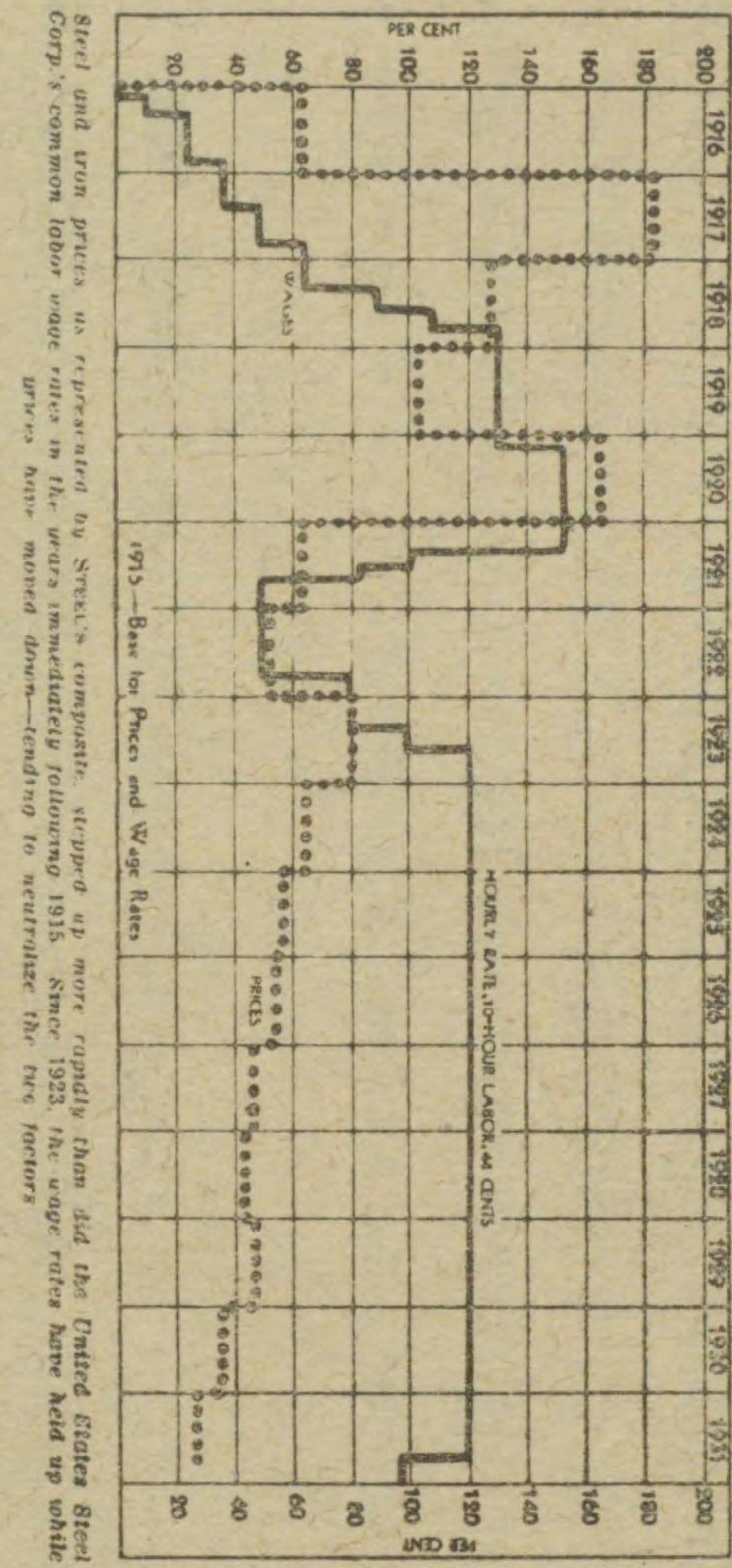
一九三〇年スチールコーボレーションの賃銀及俸給の經費合計は販賣用鋼製品屯當り三三弗七〇仙に相當した。昨年よりも作業の順潮であつた一九二二年には二七弗四五仙に相當して居つた。賃銀一割、俸給一割乃至一割五分の引下に依り賃銀並俸給費の節約高は販賣用鋼製品一屯に付二弗七四乃至三弗三七仙位であらう。一九三〇年に於けるコーボレーションの賃銀及俸給支拂高の合計は三九一、二七一、三六六弗に達した。

製鐵製鋼業者の殆んご全部は、ユ・エス・スチール・コーボレーション、ベスレム製鋼會社及ヤングスタウン・シート・エンド・チューブ會社の例に倣ひ賃銀一割引下を行ふに至つた。其他の會社も十月一日又は其の直後より同様引下を行ふものと豫期せらる。既に引下を公表せる主なる會社を擧ぐれば次の如し



Jones & Laughlin Steel Corp., American Rolling Mill Co., Colorado Fuel & Iron Co., Otis Steel Co.,  
 Corrigan McKinney Steel Co., Gulf States Steel Co., Pittsburgh Steel Co., Pittsburgh Crusible Steel Co.,  
 National Steel Corp., Alcoa Wood Steel Co., Inland Steel Co., and Republic Steel Cor.

合衆國ニ於ケル鐵鋼價格ト賃銀率ノ變動



最後の會社の公表せる新賃銀率は次の如し

- 八時間労働 四五仙
- 十時間 " 四〇仙
- 十二時間 " 三六仙

其の他の工業も賃銀率を引下ぐ

製鋼業に於ける賃銀の切下は其他の諸工業に直に波及し銅及ゴム工業の感受性は特に敏感であつた、鐵道労働者は直接に影響を受けてゐないが俸給は多くの鐵道に於て引下げられた

前週中賃銀俸給の整理を行へる其の他の會社中ゼネラル・モーター會社は總べての職工に對し一割乃至二割の賃銀引下を行つた

以上 スチール、一九三一年十月一日

外人の觀たる日本製鋼業

(其の一)

Harold Huggins 氏述

The Far Eastern Review 一九三一年十月、十一月號所載

本邦鐵鋼業に關する外人の觀察に就ては曩に在東京米國大使館商務官補ゼ・エッチ・イラス、並英國大使館商務官ジ・ピ・サンソン兩氏が本國政府に報告せる論說を抄譯收録する所ありしが今回又一「ハロッド、ハッキンズ」なる外人の調査に係はる最近迄の日本製鋼業觀ザ、フアー、イースタン、レビウ誌上に發表せられたるを以て抄譯收録す

本著者は前二者と同様原料に關しては國內資源の不足が斯業の發達を妨ぐる一大障壁なりと論する外特に目新しき



は、之れが供給資源を確保する手段として「日本が従來支那の鑛山に投資し近くは、馬來諸鑛山の權利獲得に懸命の努力を爲しつゝあるは、事變に際し軍事上の見地より輸送航路を海軍に依つて擁護し得べき處に選定せるものなりと看做し且日本が鐵と鋼とに自給自足を目指すは之れ亦軍事上の見地よりする國家的野望なり」と論ずる點に在り

追而、著者のハロード、ハツギンス氏は何國人とも明記しあらず、尙記事中には多少の誤謬なしとせざるも外人の觀察なるを以て其儘とせり——譯者

内容主要項目

- 一、序
- 一、鐵 鑛 石
- 一、(イ) 内地
- (ロ) 台 灣
- (ハ) 朝 鮮
- (ニ) 南 滿 洲
- 一、鑛石資源の合計
- 一、鑛石の輸入と軍事關係
- (イ) 支 那

- (ロ) 海峽植民地
- (ハ) 資源總計
- 一、資源別鑛石輸入表
- 一、日本内地の鐵鑛石産額表
- 一、日本領地の "
- 一、日本の鑛石供給高表
- 一、鑛石の供給合計に對する輸入高、内地生産高及滿鮮からの輸入高の百分比
- 一、鑛石の價格
- 一、石 炭
- 一、石炭資源表
- 一、八幡製鐵所廢炭一屯當り石炭消費高
- 一、日本の製鋼工場的位置及鐵鋼の自給自足を目指す軍事的野望
- 一、日本鐵鋼業を獨立せしめ且生産設備を改善せしめ得べき三要素

工業國としての日本は國內に原料資源を缺ける爲め著しき支障を感じ居るものであつて従來其の石炭と鐵鑛石の缺乏は同國製鋼業の發達を妨ぐる一大障壁であつた、然しながら、其の殖民地に於ける鑛床の開發と支那及海峽殖民地より大量の鑛石を購入し或は又之を財政的に管理することに依つて、今や一大製鋼業を樹



立するに至り逐日自給自足の域に進みつつあるのである。鋼材の輸入は特殊の品を除けば殆んご其の跡を絶ち今日の日本は寧ろ極東の輸出市場に於て歐米諸國と角逐するの機運に到達して居る

本調査の目的は「日本製鋼業組織の實体並斯業は何を爲しつゝあるか、何を爲し能ふか、尙將來は何を爲すであらうか」を示さんとするものである

鐵 鑛 石

日本の鐵鑛石資源は大約四千萬噸見積らる。其の内

磁 鐵 鑛	一九、〇〇〇、〇〇〇噸
赤 鐵 鑛	一〇、〇〇〇、〇〇〇 "
褐 鐵 鑛	一一、〇〇〇、〇〇〇 "
計	四〇、〇〇〇、〇〇〇 "

是等の鑛床は現在の採掘法並に製煉法に依つて容易に處理せられ得るも然し經營者の得る所は極めて少ない、鑛石の含鐵分は最上五五%である、目下の内地製鋼高年百五十萬噸を超へつつある状態より見れば是等の鑛石資源に將來多くを期待することは出来ない

容易に處理せられ得る右の鑛石資源の外別に將來非常の場合に利用せられ得る四千萬噸以上の低度磁鐵鑛がある

磐手縣及中部日本の莫大なる砂鐵鑛床に就ては從來多く報せられてゐる

是等は可能的供給資源ではあるが然し今日迄の所東京常磐商會に依つて採掘せられた久慈砂鐵鑛床の結果は再三損失を繰り返し失望的のものである。砂の鐵分は低く平均三〇パーセント位で而も殆んご除去し得られざる頗る高度の酸化チタニウムを含んでをる、生産された鉄鐵は只電氣爐に於て實際的價值あるに過ぎない、作業は目下中止中で、國家的危機が如何なる植段に於ても其の供給を要求する迄は恐らく、作業再開の望みはあるまい

日本には必要の場合例へは一九一四年から一九一八年に至る大戦期間に於けるが如く、有利に採掘し得らるゝ小鐵山が澤山ある、目下採掘中の主要鐵山は磐手縣及北海道に在る。磐手縣釜石の鐵山は唯一の重要鐵山であつて、三井の附屬會社たる釜石鑛山株式會社の所有に屬し、鑛石は磁鐵鑛、含鐵分は平均五五パーセント、最高六五パーセントである、釜石鐵山の埋藏量は目下約千四百萬噸見積られて居るが又別にまさかの場合に開發せられ得べき平均鐵分三五パーセントの低度鑛四千萬噸を埋藏するものも見らる、目下採掘中のものは高度鑛石であるが然し一般的不景氣に依り鑛山の作業率は減じ熔鑛爐數基を吹下ろして居る

磐手縣鐵鑛に次いで重要なものは北海道の鑛床である然し此の鑛床は非常時を除いては殆んご實際的の價值あるものではない、一九一五—一九一九年の戦時好況時代に於ては盛んに採掘せられたが現在に於ては大抵抛棄せられて居る、其の内最も重要なものを俱知安鐵山とし、室蘭近くに在つて日本製鋼所の所有に



屬し、鑛石は輪西の鎔鑛爐に使用せらる、褐鐵鑛で四五乃至五五パーセントの鐵分を含む。北海道虻田鐵山は目下稼行を中止して居るが好況時中は重要なものであつた  
 目下(一九三一年)日本には此の外には工業的に重要性を有する鐵山なく、只非常時に採掘可能の價値を有するもののみである

日本の鐵鑛資源を地方別に擧ぐれば次の如し(單位千噸)

地方別	褐鐵鑛	赤鐵鑛	磁鐵鑛
北海道	一〇、七四五	一、四〇七	一六、二五八
磐手縣	一	一、九九一	一
山形縣	八七	一	七二
宮城縣	一	一	一、三五九
福島縣	一	四、六七〇	四〇六
新潟縣	一	一	五七〇
群馬縣	一	一	一三二
兵庫縣	一	一	三〇六
岡山縣	六三	一	一
山口縣	九	一	一

高知縣	一	二、四一三	一
合計	一〇、九九四	一〇、四八一	一八、六三二
奈良縣	褐鐵鑛及磁鐵鑛	二、三〇千噸	
島根縣	赤鐵鑛及磁鐵鑛	五、三〇千噸	
右の總計	四〇、三九〇、〇〇〇噸		
尚、砂鐵鑛床の重要なもの次の如し			
北海道	二、二六、〇〇〇噸		
磐手縣、久慈	一、四三、八〇〇、〇〇〇噸		
中國地方	調査未完		
合計(判明せる分)	一、四四、〇二六、〇〇〇噸		

前記の數字は一九二八年東京地質學會誌掲載、植村氏の報告に基けるものである、右鑛石の含鐵分は平均三〇―四〇パーセントで内判明せるもの次の如し

三〇―四〇%	三、八二〇、〇〇〇噸
三〇―五〇	一、一〇三、〇〇〇
三五―五〇	二、四六二、〇〇〇
四〇―四五	一、七三三、〇〇〇



四五一五〇%  
 合計 一、三二三、〇〇〇  
 八、八七一、〇〇〇

若し之を前記の總計四〇、三九〇、〇〇〇噸から差引けば残り僅か三一、五一九、〇〇〇噸の鑛石のみが五〇%以上の鐵分を含むものである。北海道及磐手縣の砂鐵の含鐵分は約三〇%で中國の分は四〇―五〇%を含む

右の數字より見れば現在、年百五十萬噸乃至二百萬噸の鋼材を生産し國內の需要二百五十萬噸に達する日本に取つては國內鑛石の資源が不十分であることは明かであると同時に斯かる状態の下に於ける軍事上の不利は言はずもがなであつて日本が必要に迫られ他に鑛石供給の資源を探求するは不得已事である

先づ第一に日本の殖民地及領地に就て觀察せねばならない

一、臺 灣

現在迄の調査では鐵鑛資源なし

一、朝 鮮

朝鮮は目下日本鐵鑛石輸入總額の約三分の一を供給して居る

朝鮮の鑛床は海岸に近き西北部に存在し褐鐵鑛最も多く、主なる供給鑛石の含鐵分は五〇―五五%である、赤鐵鑛も採掘せられ其の含鐵分は褐鐵鑛とほぼ同様である

朝鮮に於ける鑛石の既知資源は合計四、八三八、〇〇〇噸であるが然し報告に依つて一千萬屯乃至二千萬屯の見積り、未だ精確な調査なきも、現在の生産高年額約五十萬噸を以てすれば、既知の供給資源は辛うじて向ふ十ヶ年間の生命を保つに過ぎない

三菱製鐵株式會社の朝鮮兼二浦製鐵所は、兼二浦、元山及南洋の褐鐵鑛を使用す、北海道室蘭に工場を有する日本製鋼所は、朝鮮平安南道に在る自己所有鑛山の鑛石を大部分使用して居るが此の鑛石も又褐鐵鑛である之を海路室蘭に運んで、俱知安に在る會社所有鑛山の鑛石と混じて熔解す朝鮮總督府は黃海道載寧に鑛山を所有し三菱製鐵會社之を採掘す本鑛山の鑛石は八幡製鐵所に若干販賣せらる

八幡製鐵所は亦利原鑛山株式會社から鑛石を購入して居るが同會社の鑛山は赤鐵鑛で埋藏量約一千萬噸、含鐵分五〇―五五%である會社は亦數多の日本の民間製鐵會社に鑛石を供給して居る

朝鮮の鑛石資源を地方別に示せば次の如し

地方別	種類	鑛量
川 栗	褐鐵鑛	一、〇〇〇、〇〇〇噸
股 寧	"	一、一三〇、〇〇〇
載 寧	"	一、八九〇、〇〇〇
安 岳	赤鐵鑛	三七〇、〇〇〇
黄 州	褐鐵鑛	八四八、〇〇〇



海州 赤鐵礦 六〇〇、〇〇〇  
 咸鏡南道北有及利原 一〇、〇〇〇、〇〇〇(見積)

今日迄の調査に係はる朝鮮の鑛石資源は若し日本帝國內に他に供給資源が発見せられないとすれば成長しつゝある製鋼業の要求に對して十年又は二十年の生命を保つに過ぎない鑛量で日本製鋼業將來の發達に對し貢獻する所殆んど無きもののやうである

一、南滿洲

日本は南滿洲に於て、若し低度鑛が有利に處理せらるるこゝが出来さへすれば長日月の生命を有する鑛石の供給を獲得せるものと見てよい

南滿洲の鑛床は頗る大であるが然し高度鑛石は五百萬噸足らずである而して此の鑛床中に、僅か三四―三六%の鐵分と高度の硅酸を含む低度鑛を混じて居る、此の低度鑛を處理する費用が現在の經濟的使用に對する一大障害をなして居る、然しながら滿洲の鑛床開發には特に低度鑛の處理に適せる還元爐を用ひ尙骸炭用石炭は、鑛鑪に近き鐵山の近傍に在る

滿洲に於ける鐵鑛石の事情斯の如きが爲莫大なる資源はあるが滿洲からの輸入に依つては鑛石不足の填補を期待するこゝは出来ない滿洲は經濟的に只銑鐵を日本に供給するに過ぎない、此の意圖を以て南滿洲鐵道株式會社の附屬として、昭和製鋼株式會社設立の大計畫が採用されたのである。滿洲に於ける探鑛は露天掘

で、従つて探鑛作業は極めて簡單且勞力費は低廉である、然し滿洲の銑鐵は、日本市場迄の運搬距離長き支那に於ける輸出税日本に於ける輸入税あるが爲め内地製鐵所で作られた銑鐵よりも高價である

南滿洲鐵鑛石資源の見積次の如し

地 元	鑛 量
弓 長 嶺	二六八、〇〇〇、〇〇〇噸
本 溪 湖	七〇、〇〇〇、〇〇〇噸
鞍 山	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸
合 計	七三八、〇〇〇、〇〇〇噸

別途の見積次の如し

二九〇、〇〇〇、〇〇〇噸 (含鐵量一一〇、〇〇〇、〇〇〇噸)

鑛石資源の合計

容易に處理し得らるる鑛石に關しては日本は僅に約六千五百萬噸の資源を有するに過ぎない、若し滿洲の供給資源を七億三千八百萬噸と見れば右の數字は著しく増加するものであるが然し滿洲の資源に就ては其の含鐵分の低きと其の還元の困難を考慮に入れねばならない、又其の資源を前記別途の低數字二億九千萬噸と見積つても尙日本帝國の資源は著しく増加するのである然しながら滿洲の資源は全然其の價值が問題視せ



られて居るので日本としては、躍進しつつある製鋼業目前の供給資源を他に求むるの必要がある

鑛石の輸入

以上の事實より觀て鑛石の輸入が（朝鮮滿洲よりの輸入は全然別として）日本製鋼業並日本國民に對し緊要事たることは多言を要しない。日本が獲得する鑛石の供給地は何づれを問はず戰爭の場合防護し得らるることを第一義とせねばならない故に日本迄の運鑛路が日本海軍に依つて掩護し得らるる近隣國に供給資源を求めねばならない、此の意味を以て支那は主要なる供給資源地となつて居るのである、近年に至り支那鑛石は殆んど匹敵する鑛石が海峽植民地のジョホール及トレンガンヌより輸入されて居る。日本は目下支那及馬來半島より年百萬噸以上の鑛石を輸入し尙年々其の輸入量を増加せんとして居るのである

支那

支那鑛石は高度の赤鐵鑛で、揚子江流域の湖北及安徽省より日本へ輸出されて居る

湖北省の大冶鐵山は漢冶萍公司の所有であつて其の鑛量一千万噸以上と見積られ、赤鐵鑛で含鐵分は平均約六〇パーセントである

太平及桃冲鐵山は安徽省に在つて此の兩鐵山から毎年大量の鑛石が日本に輸出せらる、桃冲鐵山の鑛石は赤鐵鑛で鑛量三百七十五万噸含鐵分は六〇パーセントであつて、鑛山は中日實業株式會社を通じて東洋製鐵株式會社に資本を仰げる裕繁公司の所有である、裕繁公司と東洋製鐵の間に二百五十万圓の借款契約締結せ

られ、東洋製鐵は出資の回收手段として一般價格より著しく割引せる値段で毎年五十万噸の鑛石を買上げる特權を附與された、此の契約は目下東洋製鐵會社の工場に近接する八幡製鐵所に委任されてゐる

南京に近き秣陵關鐵山は東京大倉組の出資で採掘されて居る

大冶鐵山は要求に迫らるる場合毎年六十万噸の鑛石を日本に供給し得る程度に開發されて居る。本鐵山を有する湖北省の鑛石資源は三千五百萬噸と見積らる

山東省金嶺鎮鐵山は日本會社の手に採掘せられ、鑛石は鐵分五五パーセントの赤鐵鑛で鑛量千四百萬噸に達すると稱せらる

以上は日本に供給する支那の鑛石資源であつて採掘會社は總べて資本投資或は借款によつて日本人から管理されて居る、斯くの如く日本は支那に於ける鐵鑛石を管理してゐるが其の資源を表示すれば次の如し。

鐵山	鑛量
大冶	一〇、〇〇〇、〇〇〇噸
太平及桃冲	六、〇〇〇、〇〇〇"
秣陵關	五、〇〇〇、〇〇〇"
金嶺鎮	一四、〇〇〇、〇〇〇"
合計	三五、〇〇〇、〇〇〇"

此の鑛量は日本内地の資源に殆んど匹敵して居る、然しながら國內、植民地及支那の資源を以ては、發達



しつゝある日本製鋼業の需要を満たすに十分でないことは疾くに認められ戦時好況期間以來海峽植民地及馬來諸洲の鑛石資源に注意が向けらるゝに至つたが此の資源は日本に取つて漸次重大性を加へつゝある

海峽植民地

南洋公司（日本人經營會社）はジョホールに鑛山探掘權を有し年四十万噸以上の高度赤鐵鑛を採掘し日本に積送して居るが鑛量は頗る豊富である

一九二七年久原鑛業會社（目下日本産業株式會社と稱す）はトレンガンヌに鑛山の探掘權を得た、トレンガンヌの鑛量は四千万噸に見積られ赤鐵鑛で鐵分は五八―六六%である。探掘された鑛石は全部八幡製鐵所に於て買入る

馬來半島に於て日本が管理する鐵鑛石資源の見積は約七千五百万噸に達し鑛石は目下屯當り約九圓で日本に引渡さる、其の含鐵分の高き點より見れば鑛價は頗る低廉である、運鑛に南洋公司及八幡製鐵所所有の特別船を使用せる關係上運搬費は最少限である

ジョホール及トレンガンヌの鑛石供給が頗る急速に増大しつゝあるを以て、同地に探掘權を求めんとする會社が簇出せんとして居る。日本人は同地を開發すべき實地を見做して居る。而して近き將來に於ては鑛山探掘認可が増加し鑛石の積送量は逐年増大するであらう

資源總計

朝鮮	110,000,000噸
南滿洲	738,000,000"
支那	35,000,000"
海峽植民地	75,000,000"
合計	868,000,000"
内地	40,000,000"
總計	908,000,000"

日本國內の鑛石資源は頗る貧弱なものであるが然し其の極東に於て管理する資源總計は内地の分を合せ九億噸以上に達す

然し滿洲の資源を、前述せる別途の見積數字二億九千萬噸とすれば右の總計は四億二千萬噸に減ずるも尙相當に大なる數字である、蓋し滿洲の資源は兩者の中間と見れば實情に近きものであらう

日本製鋼業の中心を成す八幡製鐵所に豫備鑛石を保留し置くやう關係當局に於ては不斷に努力してゐる。目下の豫備鑛石貯藏高は最底二ヶ年間の供給と報ぜらる、最近貯鑛場大規模に擴張せられ荷卸及處理設備の改善に依つて昨年は銜鑛爐使用の鑛石費が非常に減ぜられた

鑛石の輸入

次表は一九二二年より一九二九年に至る資源別鑛石の輸入高を示すもので、一九三〇年の分は未だ公表せ



られざるも一九二九年の輸入高き大差なかるべし

資源別鑛石輸入 (單位噸)

年次	支那	馬來諸州	其他	合計	朝鮮	總計
一九二二年	一九九、六三五		二、五六六	一九九、二二一	一三三、四〇五	三三二、六二六
一九二三年	二七、七八三		二、〇三三	二七九、八六六	一四、四一〇	四四三、三六六
一九二四年	二九七、一八三		一、六八五	二九八、八六八	一六、二〇四	四四〇、九三三
一九二五年	三〇八、〇七四		七、四	三〇八、七六八	二〇、九七六	五二〇、七六六
一九二六年	二七九、二六六		五、七五	二七九、七九一	一九、三三三	四九〇、〇二六
一九二七年	二九五、六六八		一、一五三	二九六、八二一	二〇、九七〇	四七七、七六八
一九二八年	三九五、六九八		一、一三三	三六〇、九三〇	三三、六二一	五九七、五五一
一九二九年	五九九、一四〇		二、九四六	六二二、〇八六	三三、五三三	九五四、〇〇七
一九三〇年	六五〇、五七七		二、八四一	六六二、三六八	三三、五三三	九四四、九〇〇
一九三一年	四三九、七九九		一、三六七	六七八、〇六六	一九、四五一	六八、五九七
一九三二年	六四四、七〇〇		一、七三〇	六八八、五三〇	八、八三七	六八、三三七
一九三三年	六六、七六六	一、六三、四一一	六、八〇三	八八、三六〇	九、三六〇	九八、七二〇
一九三四年	八〇、一五七	二、四四、九三三	四、二	一、〇六、一三三	二、五、七七	一、一〇一、八八九

一九二五年	八三、四九〇	二九、三三三	六	一、一〇、七九九	一〇七、八六八	一、二一、五七七
一九二六年	五〇一、七四七	二九、〇五五	三〇	七七一、八三〇	九、九九三	八九、八三三
一九二七年	五〇一、五七七	四四、八三七	五	九七、四八八	一六、六四	一、〇六、五三三
一九二八年	八七、八四一	七三、五〇一	六三	一、六六、七四	三五、九九九	一、八四、三三三
一九二九年	九五〇、三〇三	九八、六二九	三五、八六四	一、四四、七六六	三四、三三四	二、五八、九〇〇
一九三〇年	未詳	未詳	未詳	一、九九、二七六	未詳	未詳

備考 本表の數字は一九三〇年六月商工省鑛山局刊行製鐵業參考資料に依る

本表に就て見るに、戰時好況時の終了せる一九二〇年以來朝鮮の鐵鑛石生産高が少しも増進せないことが判かる、又日本は馬來半島の良鑛石の獲得に努め一九二三年以來該鑛石の輸入は逐年増大するに至つた、一九二三年以前の馬來諸州からの輸入數字は「其他」の項目中に含まれて居るもので其の數量の大体は馬來諸州の輸入數字が別途に掲げられてから急に「其他」の數量が激減せる點から見て大凡そ察知することが出来る一九二三年以來本鑛石輸入増加の割合は四八六パーセントで同じ年間中の支那鑛石の輸入増加率は僅に四三パーセントとなつて居る、支那鑛石輸入増加率の少なきは半ば同國の内亂に原因するものである、馬來鑛石は頗る評判よく其の含鐵分は支那鑛石よりも高い

日本製鋼業の將來は支那及海峽植民地の鑛石資源の開發に全く依頼するものである、日本内地の鑛石産額が如何に微々たるものであるかは次表に依つて判る



日本内地の鐵鑛石産額

單位噸、出所前表に同じ

一九二二年	一五二、九八三	一九二二年	八六、九七七
一九二三年	一五三、一〇一	一九二三年	三九、七四四
一九二四年	一二一、六三六	一九二四年	五五、一七四
一九二五年	一一八、九五五	一九二五年	五七、九二二
一九二六年	一三九、九五三	一九二六年	七五、七六五
一九二七年	二六七、五九四	一九二七年	一三〇、四二〇
一九二八年	三七八、一一四	一九二八年	一五九、〇〇五
一九二九年	三六二、九四九	一九二九年	一五七、七〇六
一九三〇年	三一四、八五八	一九三〇年	一七七、五五六

日本内地の生産高は勿論全然等閑視すべきものではないが然し一九二〇年以來の輸入増加に比較すれば、其の採鑛高は四三パーセントの減少を示して居る（一九二九年末迄）一九三〇年末に於ては更に一層の減少を示すであらう

日本領地の生産高は次表に示す通りである

（出所前表に同じ、單位噸）

年次	朝鮮	滿洲	計
一九二二年	一二二、五〇三	報告ナシ	一二二、五〇三
一九二三年	一四九、〇四九	"	一四九、〇四九
一九二四年	一八二、〇三四	"	一八二、〇三四
一九二五年	二〇九、九三七	"	二〇九、九三七
一九二六年	二四五、四一八	"	二四五、四一八
一九二七年	一五二、九三三	一〇三、一四六	二五六、〇七九
一九二八年	四三〇、七八七	一八六、三五七	六一七、一四四
一九二九年	四一七、〇〇〇	二六三、八六五	六八〇、八六五
一九三〇年	四四七、二四九	一七五、九六六	六二三、二一五
一九三一年	二二二、六九二	二〇六、二四三	四三八、九三五
一九三二年	一八五、五八四	一四〇、二二八	三三五、七二二
一九三三年	三〇六、二五五	二二三、七三一	五一九、九八六
一九三四年	三三三、六三六	二二〇、三八四	五五四、〇二〇
一九三五年	三七六、二〇七	二二〇、九九九	五九七、二〇六
一九三六年	三八七、七一七	五六六、五四三	九五四、二六〇
一九三七年	四二二、五六〇	五三〇、六〇四	一、〇五三、一六四







滿洲の鑛石は輸出されない爲め同國鑛石供給高の不足を補ひ以て自給自足を目的とする日本製鋼業の發達に資するこゝが出来ない、滿洲から銑鐵を輸出せんとするには支那の輸出税、日本の輸入税を仕拂はねばならぬ故に日本到着の價格は製鋼業者を惹き付ける程廉いものではなく、亦滿洲に於ける銑鐵業の發達は日本製造業者に依つて殊更歡迎されてゐない

次表は日本帝國の鑛石供給合計に對する輸入高、内地生産高及鮮滿からの輸入高百分比を示す

年次	輸入	内地生産高	鮮滿からの輸入
一九二三年	二二三、七三一		一九二七年
一九二四年	二二〇、三八四		一九二八年
一九二五年	二二〇、九九九		一九二九年
一九二六年	五六六、五四三		
一九一二年	四一・八%	三三・三%	三一・三%
一九一七年	三六・一	三二・六	三一・三
一九一九年	三七・三	二一・八	四一・九
一九二〇年	四一・三	一九・六	三九・一
一九二四年	六三・八	三・四	三二・八
一九二七年	四三・六	七・四	四九・〇

一九二九年

五六・一

五・一

三八・八

日本製鋼業がいくらか大規模の設備に着手せるは一九一二年から云へよう、又戦時の好況を利用せんが爲の野望的企圖の多くは一九一七年に始まり而して一九一八年と一九一九年に於て鋼業界に異狀の活況を呈しあらゆる努力を盡して大鑛鑪及設備を有する新會社を設立し以て歐米からの供給不足に依つて飢えつゝある方面の品物の製造に着手した。一九一九年は戦時好況の最高、一九二〇年は其の終りで同時に製鋼業者苦惱の第一年であつた、一九二四年に於ては、關東地方を襲へる震災復興材料の需要で若干の好轉を見せた、一九二六年に於て政府は自給自足の製鋼業を樹立せんとするの計畫を實行した、之れが爲め一九二七年即ち關稅引上後の並國內銑鐵業者に獎勵金下附後の第一年に於ては各種の鋼材産額は著しき増進を示すに至つた、一九二九年に於て生産高の最高に達し一九三〇年には前年より若干の減産を示した

鑛石價格

鑛石	噸	圓
國內鑛石	八	圓
支那鑛石	九	圓
馬來半島鑛石	九	圓
朝鮮鑛石	七圓五十錢	

鐵鑛石の價格に就ては精確に判明せる所無きも然し一九三〇年の價格は略ぼ次の通りである



右の價格は決して精確なものではないが然し八幡製鐵所の鎔鑪に使用さるゝ混合鑛石の費用は銑鐵一屯當り十一圓から十五圓に見れば的確に近い

八幡製鐵所へ送らるゝ鑛石は全然水路に依るもので途中處理さるゝことなく直接工場に引渡さるゝ運賃は極めて低廉で特に、ジョホール及トレンガンヌからの鑛石の場合に於て然りである、支那及海峽植民地の鑛石が斯かゝる低價で日本に輸入され得るのは右二ヶ國に於ける勞銀の低廉なる爲めであつて若し其の勞銀に増進を來す場合に於ては日本製鋼業の打撃は著しきものがあるであらう

石炭

日本製鋼業の發達を阻害する一大難件は歐米の製鋼業が十二分の供給を受くる石炭と比較し得らるゝ價格の良炭を缺けることである。日本の炭價が他の製鋼諸國の炭價の二倍以上であることは一般に認めらるゝ所である從來日本の製鋼業が關稅の引上に依つて價格の開きを補填するまで外國の競争に對應し得なかつた理由は全く此の炭價の高きに在るのである

日本炭は只に高價なるばかりでなく亦該炭用の良炭でない、資源は大であつて炭量の見積は様々であるが五十億噸から百億噸を藏するものと見らるゝ

日本、朝鮮及滿洲の石炭資源 (單位百萬噸)

地方別	可採鑛量			推定鑛量			合計
	無煙炭	瀝靑炭	褐炭	無煙炭	瀝靑炭	褐炭	
樺太	1	17	1	1	1,345	1	1,356
北海道	1	336	1	1	2,106	2,333	2,675
九州	1	542	1	1	2,374	1	2,916
其他	5	1	67	57	409	478	1,007
計	5	896	67	57	6,234	711	7,790
朝鮮	7	1	5	33	13	23	81
滿洲	1	409	1	68	731	1	1,208
合計	12	1,306	72	158	6,978	733	9,258

日本には特に八幡製鐵所の附近に適當なる骸炭用石炭を缺けるが爲め、多量の撫順炭が滿洲から輸入される而して此の石炭は特に八幡製鐵所に於て骸炭製造用に使用される、支那開灤礦務局に於ても亦年約二十五萬噸の石炭を八幡製鐵所に供給す

然し奇態な事には日本は石炭輸出國である、故に日本の石炭は低廉であることが自然想像せらるゝであるが然し輸出炭は品質劣等なもので製鋼業用に適せないものである

日本の製鋼業發達が炭價の高きに依て著しく阻害せられて居るのみならず又諸工業に使用する動力の發達



もこれが爲め非常に掣肘されて居る目下水力電氣が蒸氣發生動力よりも安い價格で賣られないことは殆んど明白である、而して尙電力發達に關する遞信省の政策は蒸氣發電所の新設及擴張の許可を制限する方針を取つて居る。現在日本には高價なる水力電氣の剩餘を低價なる蒸氣發生電力の不足を示して居る、骸炭用炭は北海道に在つて日本製鋼所は室蘭工場に之れを使用して居る

三井鑛山株式會社所有の夕張炭山は年約百萬噸の石炭を生産す

八幡製鐵所は自己所有炭山の石炭を使用して居るが其の最も重要な炭山は福岡縣二瀬、及長崎縣鹿町に在りて同所骸炭爐に使用さるゝ石炭の約半分を生産す、八幡製鐵所は亦三井鑛山株式會社所有の三池炭山から少額の石炭を購入し尙不足の分は支那の撫順及開灤から購入して居る、日本の炭價は世界の製鋼諸國の何れよりも高い、のみならず又其の坑夫の一人當り生産高も諸外國に比して低い。炭山の作業は容易でない即ち費用がかかる。本州及九州に於ける主要炭層は比較的薄いが然し樺太には六十呎の厚さの炭層あり云ふ

八幡製鐵所に於ては骸炭一噸を生産するに一・六乃至一・八噸の石炭を消費す、同所使用炭の現在價格は七圓五十錢乃至九圓であつて此れを以てする骸炭製造費は噸十二圓乃至十六圓二十錢、安い方は極めて樂觀的のものであるが、高い方は恐らく現在に於ける最高費の一項目であらう

日本の製鋼工場は石炭が低廉視せらるゝ地點並鑛石が最低費を以て引渡され得る所に設けられて居る、然

しながら石炭の到着値は輸入品を競争して經濟的に鋼を生産し得る程に廉くない、只關稅に依つて競争を可能ならしめて居るのみである。此の事態は一九二六年以來の現象であつて將來は一層輸入品に對し苛酷の處置を取る計畫である。目下日本の製鋼業が日本市場から徐々に外國鋼材を驅逐しつつあるのは關稅の引上を製造業者に對する獎勵金下附の結果である、仰も日本が鐵鋼に自給自足を目指すのは軍事上の見地から必要とする國家的の野望である。この程度まで此の野望が達せられて居るかは後章に於て述ぶることにする

右の事情の下に在る新業の發達がこの程度にあらうとも、跳躍せんとする新業の需要に對し鑛石並骸炭用石炭の供給が不十分であることは事實である。鑛石の關する限りに於ては、茲に與へられたる數字を考察すれば無論鑛石供給問題は最早日本製鋼業の發達を阻止するものではない。馬來半島の鑛石が「ジヨホール」又は「トレンガンヌ」に於ける其の國の斯業發達に必要なでないことは日本に取つて、もつけの幸である

從來日本の目的は一切の鋼材の輸入を防止する方針で在つた、然し現在に於ては此の目的は稍々緩和されて居る、年需要高の約十分の一乃至八分の一が經濟的に輸入されて居る、故に製造業者及製鋼業に關係ある官吏は次の如く言つて居る

「輸入業者には次の鋼材を取扱はしめてはさうか」其の鋼材は次の如し

特殊鋼材

薄板及厚板(或る寸法及厚さのもの)



チューブ(小形物)

日本が全然鐵鋼から獨立するには茲數年の間に少くも二百五十萬噸乃至三百萬噸を供給する新設備の斯業を必要とするであらう、斯業の現状では、政府の援助無くては、擴張及改善に要する資金の調達は到底六ヶ敷い、日本の製鋼業は實際の所其の生産能力を増加する以前に於て現行設備及生産方法を改善する必要がある

日本の製鋼工場の生産品は品質立派であるが其の設備は舊式で作業は頗る不經濟的のものがある。各工場に於ける現状の改善は次の三企圖の一に依つて成し得らる

- 一、増資又は借入に依る資金の増加
- 二、民間製鋼會社と官營八幡製鐵所との一般合同
- 三、不經濟的工場を破産せしめてこれを廢棄すること、之に依りて眞に能率ある會社及官營製鐵所に改善資金を集中すること得べし。」

前記第二の企圖は非常に唱道せられ且民間製造業者の懇願する所であるが豫定の本年中には實現されないだらう、否恐らく此の事は實現不可能であらう、設備改善資金の増加は確實なる投資先を探しつゝある諸銀行から借入れて成すことが出來やうが、然し製鋼諸會社はあまり受けがよくない

外人の觀たる日本製鋼業 (其の二)

目次

- 一、日本の五大製鐵會社
  - (イ) 八幡製鐵所……沿革、生産設備……生産費、生産高、收益
  - (ロ) 東洋製鐵株式會社……沿革、設備、生産高
  - (ハ) 日本製鋼所……沿革、設備……生産高
  - (ニ) 釜石鑛山株式會社……沿革、設備……生産高
  - (ホ) 淺野造船所製鐵部……沿革、設備……生産高
- 二、再 製 銑
- 三、スポンヂ鐵
- 四、日本内地の銑鐵生産高
- 五、朝鮮の銑鐵 "
- 六、滿洲の銑鐵 "
- 七、全日本の銑鐵生産高
- 八、銑鐵の輸入
- 九、銑鐵の資源別輸入高
- 一〇、銑鐵の供給高
- 一一、世界の銑鐵生産高



- 一一、銑鐵共同販賣組合
- 一二、獎 勵 金
- 一三、日本に於ける主要銑鐵會社と製銑能力及生産高

日本内地に於て鑛石から大規模に銑鐵を製造する會社は僅に五指を屈するに過ぎないが、木炭を燃料として銑鐵を製造する小工場は數多ある、然しながら其の一九二九年に於ける産額は僅々二千噸で日本及日本殖民地に於ける全銑鐵産額の七百五十分の一に過ぎない、再熔解の爲め電氣爐を使用する比較的大規模の製造所が二ヶ所尙現存してゐる

鑛石を使用する五大製鐵業者を地位の順序に列擧すれば次の如し

- 一、八幡製鐵所
- 二、東洋製鐵株式會社
- 三、日本製鋼所
- 四、釜石鑛山株式會社
- 五、淺野造船所（淺野造船所製鐵部）

右の内八幡製鐵所は全然官營であつて他は全部民間會社である

尙電氣爐に於て原料を再熔解し自由市場販賣向の銑鐵を製造する次の二會社がある

- 一、戸畑鑄物株式會社

- 二、吾孀精鋼所

### 八 幡 製 鐵 所

“The Imperial Steel Works” 稱する八幡製鐵所は官營工場であつて商工省の管轄に屬して居るが其の會計は一九二六年以來特別會計となつた

一八九五年政府は年額九萬噸の鋼材を製造する工場の設計を立て帝國議會に於て製鐵所創立費四百九萬五千七百九拾參圓四拾錢の協賛を得た、一八九七年（明治三十年）九州福岡縣八幡村を工場敷地に選定し同年工場の建設に着手した、越へて一九〇一年二月第一銜鑛爐の點火式を行ひ同年五月生産を開始するに至つた、其の時迄合計千五百八十四萬一千六百八十五錢の經費を支出した

爾來鋼の需要増大し一九〇四年日露戰爭勃發に際して銜鑛爐の増設を餘儀なくせられ生産能力は十萬二千噸に増加した、此の時迄の作業能率は職工の職務鍛鍊に依つて頗る良好であつた、戰時中工場の職責は非常に重大で特に軍需品製造の爲め臨時費四百六十九萬六千二百六圓の支出を見るに至つた、日露戰爭後即ち一九〇六年以後に於ける各種工業の勃興即ち日本の産業化は鋼の需要を促進し八幡製鐵所の供給能力を突破するに至つた、茲に於て又擴張工事費千八十八萬圓の協賛を得工場の増設に着手したるが一九〇九年には生産能力年十八萬噸に増大した、然るに需要は此の擴張を以てしてさへ應じられない程更に急激なる増加を示したるを以て生産能力を三十萬噸に増大する計畫を立て擴張工事費千二百三十八萬九千九百二十九圓の協賛



を得一九一五年迄に工事を完了するこゝになつた

歐洲大戰勃發前の日本の鋼需要高は年約百三十萬噸で工場の供給能力に相距るこゝ極めて大であつた、政府は此の情勢に應ずる爲め八幡の生産能力を年六十五萬噸に増大するの計畫を立て、擴張工事費として更に三千四百五十一萬五千四百五十圓の協賛を必要なる建設を一九二〇年前に完成するこゝとした、戦時好況時中需要は突拍子に増大したのであつた、然るに歐米から機械及材料が安く輸入出来なかつた爲め建設費頗る嵩み更に千八十万五千五百圓の追加豫算を要求するに至つた

一九二〇年の經濟界の恐慌は民間製鋼會社には恐るべき打撃を與へたが然し八幡製鐵所は依然として各鋼材の生産能力を増加した、新工場建設せられて新形鋼壓延せられ現在に於ける鉄鐵のみの生産能力は年約七十萬噸に達するに至つた

現在に於ける八幡製鐵所の鉄鐵生産設備次の如し(一九三〇年末)

五百 噸 鋸 鑪	一 基
二百七十 噸 "	二
二百三十 噸 "	一
二百 噸 "	三

年産能力は約六三五、八〇〇噸であるが然しこは、年三百四十日を土臺として計算せるものであつて、夜業及休日不算入せざるものである

八幡製鐵所工場の排列は元來製鋼工場を海岸線に置き鋸鑪を内側に置いてある、其の結果高爐迄の鑛石運搬が頗る不便で自然多くくの費用を要した。近年此の状態はいくらか改善せられ高爐迄の運鑛費は著しく低減せられて居る

八幡製鐵所の鉄鐵生産費は鐵道省研究所の見積に依れば屯當り三十四圓二〇五となつて居る、然しながら作業の經濟化に依り近き將來に於ては二十八圓一九六迄低減せらるゝものも期待さる

註 鐵道省研究所の報告には八幡製鐵所の生産費とは明記しあらざるも報告の一般的事情が讀者をして八幡製鐵所なりと判断せしむ

其他の資料より見積れば八幡製鐵所鋸鑪使用鑛石の混合割合次の如し

海峽殖民地鑛石	五五%
支那鑛石	三五%
朝鮮及内地鑛石	一〇%
計	一〇〇%
右鑛石の平均含鐵分次の如し	
海峽殖民地鑛石	六三%
支那鑛石	六〇%
朝鮮及内地鑛石	五〇%



故に鉄鐵一屯に對し混合鐵石一屯六四九を要す一九三〇年に於ける是等鐵石の平均價格は約九圓であつた、從つて次の如く算出せらる

鐵 鑛 石 (屯九圓一屯六四九)	十四圓八十四錢
石 炭 (屯九圓、骸炭一屯當り二屯六)	十四圓四十錢
スラグ、石灰石 (屯六圓、一屯)	一圓二十錢
計	三十圓四十四錢
動力	三十錢
賃 銀	三圓八十五錢
管理費、俸給其他	一圓六十錢
オフィス材料其他	十二錢
稅 金	無 し
合計	三十六圓三十一錢

右の見積には原價償却費を含まず此の費目は屯當り大約二圓四十錢見當なるを以て總計次の如し

總 計	三十六圓三十一錢
	二圓四十一錢
	三十八圓七十二錢

獎 勵 金	六 圓
差 引	三十二圓七十二錢

原價償却費としての額を正當に見積ることは不可能である、八幡製鐵所の投資額は一九二六年以來公表さるゝもの無きも同年迄の投資合計は一三〇、五四七、二〇一圓に達してゐる、原價償却費を其の四パーセントに見れば、年五百二十二萬一千六百八十八圓四錢なる此の額を鉄鐵の生産費に配當することは、専門家でなければ出来ない事である

八幡製鐵所の使用鐵石は大冶、桃冲、海峽殖民地、朝鮮及新潟縣内の同所の所有鐵石である、又石炭は、所有炭山の石炭、支那及滿洲からの輸入炭を使用す、石灰石は大分縣及福岡縣内の自己の石山のものを使用す、石灰石の價格は他の製鋼諸國の何れのものよりも低廉である云ふ

一九三〇年七月八幡製鐵所の使用職工數は一日一萬八千人で此の人員を以て一日平均三千噸の鋼材を生産した、賃銀の平均は一日約二圓五十錢(鐵道省研究所の調に依る)で鋼材一屯當り十五圓の勞力費なる、これは民間工場の勞力費の約二倍に相當するもので民間會社の職工は廉い賃銀で懸命に働いて居る

八幡製鐵所鑛鑪の鉄鐵生産高次の如し (單位噸)

一九一七年	三〇四、六一八	一九二〇年	二四二、九〇八
一九一八年	二七二、五七八	一九二一年	三〇七、二六三
一九一九年	二八一、一三五	一九二二年	四〇〇、八二六



一九二三年	四四〇、八九三	一九二七年	五四〇、五七三
一九二四年	四二四、五四五	一九二八年	六五〇、五七三
一九二五年	四五六、二八九	一九二九年	六四六、二六七
一九二六年	五三二、九〇八	一九三〇年	六五〇、三八〇

一九二九年八幡製鐵所調査課の發表せる同所の収益に關する數字次の如し

年次	鋼材生産高	収益	適當り収益
一九一八年	三一三、五五〇 <sup>越</sup>	五七、七二七、二九六 <sup>圓</sup>	一八四、一〇〇
一九一九年	二八七、二五三	五〇、九四、八二三	一七、七三
一九二〇年	二九七、三六九	一四、七四三	〇〇、五〇
一九二一年	三四五、八九〇	九、一二二	〇〇、三〇
一九二二年	四一九、四三九	一三、四七八	〇〇、三〇
一九二三年	四六八、三一五	四三八、四九八	〇、九三
一九二四年	四九二、六八三	八六六、七七二	一、七五
一九二五年	六五三、一三四	一、三五七、八〇三	二、〇七
一九二六年	七三九、二九七	二、〇〇九、二七九	二、七一
一九二七年	八三〇、〇三〇	四、八四七、三七三	五、八三

目下八幡には別に五百噸爐一基建設中にして一九三二年中には完成の豫定であるが此れが火入と同時に古い小高爐の若干は解體せらるゝであらう

東洋製鐵株式會社

東洋製鐵株式會社は一九一七年十一月資本金三千萬圓を以て設立せられた、目下三千六百萬圓に増資せられ内三千萬圓拂込済みである

本會社は主として日本の重要な財政團體に依つて管理されて居る、即ち日本産業株式會社の持株十五萬四千株、安田保善社一萬二千二百二十五株に達し此の外三井合名會社及三菱合資會社も亦其の株主である元來本會社は銑鐵並鋼材の製造を目的としたものである、然し其の主なる事業は年十七萬噸の銑鐵を生産し其の五割を會社の工場に使用し残りを市場に賣出す計畫であつた、然しながら好況時代に計畫された本會社は其の作業を始むるに同時に鐵價の暴落となり夥しき損失を蒙るこゝとなつた故に完成した工場の經營を八幡製鐵所に委任するこゝとなり而して年約三十萬圓の借入料を八幡製鐵所より仕拂ふこゝとなつた、目下會社自身は株主に對する報告の發行に拂込資本に對し半年毎に一パーセントの配當を仕拂ふ外何事も爲すこゝ



がない、現在の設備及能力次の如し

二百瓩鎔鑪	一基	能力	七二、〇〇〇瓩
三百瓩鎔鑪	一基	能力	一〇八、〇〇〇瓩
能力合計			一八〇、〇〇〇瓩

本會社は、目下提唱せらるゝ國家的政策たる製鋼會社の合同が實現せられない限り將來を有せざるものであつて、若し其の實現を見ざるにせば早晩解散の止む無きに至るであらう日本經濟狀態の現状は、斯の如き會社の維持を持続し能はざるの事情にある。生産された鉄鐵は市場に出でず八幡製鐵所に依り全部鋼材生産の原料として使用せらる

九州戸畑の東洋製鐵會社工場の鉄鐵生産高次の如し (單位瓩)

一九一九年	二〇、二六四	一九二五年	九九、七一三
一九二〇年	三四、二一九	一九二六年	一〇七、三三一
一九二一年	四七、一六九	一九二七年	一六一、七九一
一九二二年	五二、七三〇	一九二八年	一八六、三三二
一九二三年	五〇、四〇九	一九二九年	一四一、〇九九
一九二四年	五二、五五〇	一九三〇年	一八九、九八五

日本製鋼所

本會社は一九〇七年資本金三千萬圓を以て設立せられ全部拂込済みである總株數六萬株の内主なる株主次の如し

北海道炭礦汽船株式會社	二九、三五〇株
ウヰツカース、アームストロング會社	一四、六〇〇株
三井鑛山株式會社	七、五〇〇株
三井合名會社	七、三五〇株

尙株主は二十三名に過ぎない

會社は其の室蘭製鋼所に近接する輪西に鎔鑪を有す其の製鋼工場は元來陸海軍省の軍需品製造を主とするものである、會社は俱知安に鐵鑛山を有し、鑛石は四五乃至五五%の鐵分を含む、一度自己所有の砂鐵を使用せることがある。鐵山の鑛量其の需要を満すに十分ならざるが爲め支那及朝鮮から直接鑛石を輸入す

鎔鑪の設備次の如し

百八十瓩鑪	一基
百二十瓩鑪	二基
百瓩鑪	一基

右高爐の能力は年十七萬六千八百瓩である

石炭は、三井所有の夕張炭山より購入し鎔鑪の敷地内に於て之を骸炭化する



鉄鐵の生産高を年次別に示せば次の如し

一九一七年	四四、九九八	一九二四年	四七、一八三
一九一八年	八二、八六六	一九二五年	七三、四三九
一九一九年	一一六、二四二	一九二六年	九四、六二九
一九二〇年	一〇一、一九〇	一九二七年	九二、二〇四
一九二一年	四〇、四四四	一九二八年	一〇九、五四三
一九二二年	四一、六〇三	一九二九年	一一七、一三五
一九二三年	四〇、五六四		

釜石鑛山株式會社

本會社は一九一七年三月に設立せられ即ち戰爭兒である、資本金は二千萬圓で全部拂込済みなつて居る、總株數二十萬株で株主は僅に二十三名に過ぎない經營は十七萬九千八百株を有する三井鑛山會社の支配下に屬して居る。然しながら此の後楯ミ良炭山を有し尙北海道の三井炭山の低廉なる石炭を使用するにも拘らず會社の財政状態は特別に良好ではない

鑛鑪の設備次の如し

二百五十 鑪	一基
二百 鑪	一基

鉄鐵生産高次の如し (單位噸)

一九一七年	五九、二八五	一九二四年	五四、二七一
一九一八年	六四、七〇〇	一九二五年	四七、四四三
一九一九年	六一、一八〇	一九二六年	六四、六一五
一九二〇年	四七、八六五	一九二七年	六七、六八三
一九二一年	三六、五六三	一九二八年	七五、七三七
一九二二年	三五、五〇八	一九二九年	九八、九〇一
一九二三年	五六、二四七		

一九三〇年の初めから二百五十噸鑪は吹下ろして居る

淺野造船所製鐵部

淺野造船所は大戦中に設立せられ其の後造船所用の鋼板製造を目的として淺野製鋼會社が設立された、一九二〇年に兩會社合併し爾來製鋼會社の方を淺野造船所製鐵部と稱するに至つた

一九二七年能力五一、〇〇〇噸の百五十噸鑛鑪一基建設せられた。鑛石は支那より購入し骸炭は淺野の附屬會社たる神奈川骸炭會社より購入す、鑛石は赤鐵鑛で六〇パーセント以上の鐵分を含有す、生産した鉄鐵の大部分は會社の製鋼工場に使用せられ若干東部日本の市場に賣出さる、一九二七年以來の生産高次の如し



一九二七年 二二、一六四噸  
 一九二八年 五四、八九〇噸  
 一九二九年 六二、五〇六噸

以上の五會社は皆骸炭を燃料として銑鐵を生産す、木炭銑の生産高は極めて少なく其の一九二四年以來の生産數字次の如し

一九二四年	二七〇噸	一九二七年	一
一九二五年	一五三噸	一九二八年	三八一噸
一九二六年	一	一九二九年	二、〇〇〇噸

電氣爐に於ける鑛石からの銑鐵生産は一九二三年以來皆無くなつた、同年九基の電氣爐を有する日本曹達會社は銑鐵の生産を中止した

再製銑

大戰中は鎔鑛爐に於て古鐵から多量の銑鐵を生産して居つたが一九二九年に於て皆無くなつた、目下電氣爐に於て、古鐵及び屑を使用する銑鐵の生産増大しつゝあるが此の種の銑鐵製造者の主なるもの次の如し

吾 孀 精 鋼 所  
 戶 畑 鑄 物 株 式 會 社

吾孀精鋼所は一九二九年に生産を開始せる新會社で同年二、八九八噸の銑鐵を電氣爐で生産した(所在地東京府吾孀町)

戶畑鑄物株式會社は久原財團に屬する古い會社で、各種の鑄物其他を生産し電氣爐に於て自家用の銑鐵を生産す工場は大阪及九州戶畑の二ヶ所に在り其の生産高次の如し (單位噸)

年次	大阪工場	戶畑工場	合計
一九二二年	一	一、〇九一	一、〇九一
一九二三年	一	二、九四三	二、九四三
一九二四年	一、八三五	二、九七三	四、八〇八
一九二五年	三、二二八	三、六八六	六、九一四
一九二六年	三、一六二	六、二三六	九、三九八
一九二七年	四、〇六三	二、九七三	一〇、六三七
一九二八年	六、七九五	六、五七四	一三、九六三
一九二九年	八、五五〇	七、四八一	一六、〇三一
其他の製造業者に依る電氣爐銑鐵の生産高次の如し			
一九二三年	三六噸	一九二五年	八九噸
一九二四年	五二噸	一九二六年	四九八噸



一九二七年 一七三瓩  
 一九二八年 二五六瓩

スポンヂ鐵

一九二九年

一〇六瓩

兩三年前磐手縣久慈の杉大なる砂鐵鑛床の利用計畫に就て一時喧傳されたことがあつた、此れは東京常盤商會の計畫であつた、砂は磁鐵及褐鐵鑛粒を含み鐵分二三乃至六〇パーセントである。然しながら多量の酸化チタニウムを含み而も頗る抽出困難であつて今まで満足に遂行されたことがない、抽出法は“Anderson-Thomhill”と稱する方法であつて仕上品は「ブリケット」にせらる、今迄の所生産問題は解決されてゐない、チタニウムは其儘仕上品中に残存するを以て此れが爲め同品の使用を困難ならしむる。生産高は僅かに目下漸減しつつある。目下外國より低廉なる鑛石を輸入しつつある點に鑑みれば日本は強ち此の砂鐵鑛床を開發するの必要はない、然し將來の緊急事變に際しては常盤商會の計畫は重大なる價值を發揮することあらん

日本に於けるスポンヂ鐵の生産高次の如し

一九二七年 九二五瓩  
 一九二八年 八五三瓩  
 一九二九年 八二瓩

以上を總括して日本内地に於ける各製法別鉄鐵生産高の合計次の如し(一九二三—一九二九年單位瓩)

年次	鐵鑛石より		再製鉄		合計
	熔鑛爐	電氣爐	熔解爐	電氣爐	
一九二三年	五八、二三	一	五、三九	六、四六	五九、六六
一九二四年	五八、四九	二七〇	一、八五	五、〇七	五九、〇五
一九二五年	六六、八七	一五	一、四三	七、〇三	六六、二六
一九二六年	七九、四三	一	二、四五	九、八六	八〇、六四
一九二七年	八四、四二	一	九	一〇、八一	八六、二七
一九二八年	一〇七、〇五	一	一八	一四、二九	一〇九、三六
一九二九年	一〇五、七六	一、〇〇〇	二、八九	一四、三〇	一〇九、七三

朝鮮の鉄鐵生産高

朝鮮に於ける製鋼製鐵會社としては唯三菱製鐵株式會社あるのみであつて其の資本金二千五百萬圓全部拂込濟みで、三菱財團に依つて管理せらる、株主は僅に十八人を數へ總數五十萬株の内四十三萬九千五百株は三菱合資會社の所有である

會社は黃海道兼二浦に鐵山を所有し、百五十瓩爐二基を操業す其の年能力十五萬瓩其の骸炭部には、ウイ



ルブット爐七十五基を所有し年骸炭能力合計十六萬六千噸、各基の容積次の如し

39 - ft. 5in long; 10 - ft. 5 1/2 in high; 17 - 3/4 in meanwidth

其の年次別鉄鐵生産高次の如し

一九一八年	四一、六九八	一九二四年	九九、七九五
一九一九年	七八、三八四	一九二五年	九九、一六〇
一九二〇年	八四、一一八	一九二六年	一一五、〇三六
一九二一年	八三、〇一〇	一九二七年	一二九、〇二二
一九二二年	八三、一七九	一九二八年	一四六、一五九
一九二三年	九九、九三三	一九二九年	一五三、六二七

本會社にて生産したる鉄鐵は日本内地に賣却せられ、其の製鐵設備は當分使用せられず

滿洲の鉄鐵生産高

南滿洲に於ては南滿洲鐵道株式會社が鞍山製鐵所を經營す、同製鐵所は、大連の北方約二百哩鞍山鐵礦床の中心地に位置して居る

同地方の主要鐵山は一億噸の低度鐵石を埋藏すこ報ぜらる、鐵石の還元容易でなく而して是等の鐵床を開發せんが爲め頗る苦心せる而も野心滿々たる計畫が廻らされて居るが然し今迄の所其の結果は計畫通りに行

つてゐない

鐵石は五八パーセント迄選鑛された上使用せらる最初の二百五十噸爐二基は其の後各基三百噸に改造せられ其の年能力合計二十八萬噸、又一九三〇年中に完成の豫定であつた五百噸爐一基は既に點火された

數年前鞍山製鐵所を引繼ぐ爲めに計畫された昭和製鐵所は未だ操業を開始せず而して東洋に於て最も重要な製鐵製鋼所たらしめんが爲め本製鋼所建設用として購入された機械は一ヶ年以上も大連港のドックに横つて居る而して何等之を利用しようもしない、本製鋼所の建設時期は誰にもわからないやうである

滿洲鐵石の使用上技術的困難あるに加へ日本内地の製造業者間には、斯業の發達前に於て既に之を嫉視するの傾向がある、滿洲に於ける近代的製鋼業の發達は日本内地より嫉視ミ狐疑ミを以て見られて居る。如何なる事情の下に於ても滿洲に於ける此種企業が生産品は、支那からの輸出關稅ミ、日本への輸入關稅ミを仕拂はねばならない、さもなければ極東の他の國の市場に向けねばならぬ、日本内地の製造業者が世界の競争場裡に於て極東の輸出市場への進出を熱望しつつある際に於て此の滿洲からの競争を許容するであらうとは思はれない

鞍山製鐵所の鉄鐵生産高を年次別に擧ぐれば次の如し

一九二三年	七三、四六一	一九二五年	八五、八八六
一九二四年	八一、五九四	一九二六年	一四六、三二七







鉄鐵の輸入

日本は前記の如く相当多量の鉄鐵を生産するも尙其の製鋼工場の作業を維持する爲めに毎年多量の鉄鐵を輸入して居る、主として英領印度から輸入してゐるが其の價格低廉なる爲め日本の製造業者に對し大なる不安を與へて居る此の印度鉄鐵の角逐は、日本の鑛石及石炭費高價なる爲め困難である、然し最近二ヶ年に於て日本の製造業者は其の地位を向上するに至り一九三〇年中に於ける外國品購入制限の宣傳は、同年の印度鉄鐵輸入に著しき影響を與へた、今後五ヶ年乃至十ヶ年の内に外國鉄鐵の輸入を全く無くするであらうこゝは必ずしも不可能では無い、然しながら、此の事は、海峽殖民地鐵山の開發、支那鑛石の支障なき輸送に主として左右せらるゝと思ふ

一九二一年以來日本の鉄鐵輸入高次の如し

一九二一年	二七六、二八四	一九二六年	五〇八、四二二
一九二二年	四〇九、六〇六	一九二七年	五八〇、六七〇
一九二三年	四二九、四四二	一九二八年	七二二、七三四
一九二四年	五二〇、一二二	一九二九年	七九四、八六一
一九二五年	四〇二、五六八	一九三〇年	四〇〇、八一七

尙資源別輸入高次の如し (單位噸)

年次	支那	英國	獨逸	瑞典	米國	印度	其他	合計
一九二一年	六、一六〇	三、六六六	三、四四四	一八、〇五五	一、二四七	三、三五一	七、一七九	三二、〇九二
一九二二年	二九、二七四	九、七六六	四、五〇六	四、〇六六	一、二四五	一〇〇、六六六	七、五〇三	三二、九七六
一九二三年	九、六三〇	六、六五五	一	六、三二	二五	二、五、九二九	一〇四、四三三	三、四六、〇〇三
一九二四年	一六、三二九	七、八八九	二〇三	一四、〇七五	三	二、九、九六六	四、四、四三三	三、四六、〇〇三
一九二五年	四、八三三	八、八五五	七二	二、九六六	六	一、五、三三三	一、三、一、六五五	三、六、三、五九九
一九二六年	三、七六六	七、五九五	一	二、三六	一〇一	三、七、六二六	一、六、〇、一八一	三、九、九、六三〇
一九二七年	五、八四九	六、七七七	二、三六六	二、一七	一〇一	二、六、一、三三〇	一、九、四、六六六	四、七、二、九七七
一九二八年	三、〇七六	八、三九七	六、五八六	一、六九五	二、七、七六六	三、〇、四九九	一、八、三、五三三	五、九、二、四二四
一九二九年	五、八六六	九、二三四	四、八六六	八四	三、〇、四七四	四、一、四七七	一、四、〇、四四四	六、五、四、〇五五

年次	生産高	輸入高	合計	殖民地に對する移出高	差引供給高	供給高に對する生産百分比
一九二一年	四〇〇、三〇〇	二、六、一八四	七、五、五八四	五、七、六	七、五、〇、八二六	六四
一九二二年	五、九、三、〇〇	四、九、六、六六	九、八、九、九六	五、二、八二	九、三、六、一四四	五九
一九二三年	六、〇、七、七五	四、九、九、四四	一、〇、四、一、三三	五、三、三二	一、〇、四、九、九二	五九

次表は殖民地に對する移出高を差引ける日本の鉄鐵供給高であつて、諸外國に對しては日本鉄鐵の輸出無し

日本の鉄鐵供給高



然し日本の鉄生産高は世界の生産高より見れば次表に示す通り九牛の一毛に過ぎない

世界の鉄生産高 (単位千噸)

國別	一九二九年	一九二八年	一九二七年	一九二六年
合衆國	四三、〇七八	三八、四三七	三六、八六九	三九、七二七
加奈陀	一、一八八	一、一〇〇	七七二	七八八
英國	七、六八六	六、七一六	七、四一〇	二、四六九
佛國	一〇、四五四	九、九七八	九、二九六	九、四二九
白國	四、〇九九	三、九〇四	三、七五一	三、三九九
ルクセンブルク	二、八九五	二、七六九	二、七二二	二、五二二
獨逸	一三、五一二	一一、八〇〇	一三、〇九九	九、六四一
瑞典	五〇八	四三七	四五五	四五六
西班牙	七三一	五七九	五九三	四五七
伊太利	六八五	五〇八	四九四	五二三
波蘭	七二二	六八三	六一六	三二七
露西亞	四、〇六四	三、三七五	三、〇三二	二、四二六
ザル	二、一〇八	一、九三五	一、七七〇	一、六二五
英領印度	一、三七一	一、〇六八	一、一六三	九一四
濠洲	四五七	四一六	四三一	四四九
日本	一、五六二	一、五四〇	一、二八五	一、一三五
其他	五六八	五四八	四〇六	三三一
合計	九八、一四五	八八、〇七五	八六、一五六	七八、二八二

伊太利	六八五	五〇八	四九四	五二三
西班牙	七三一	五七九	五九三	四五七
瑞典	五〇八	四三七	四五五	四五六
獨逸	一三、五一二	一一、八〇〇	一三、〇九九	九、六四一
波蘭	七二二	六八三	六一六	三二七
露西亞	四、〇六四	三、三七五	三、〇三二	二、四二六
ザル	二、一〇八	一、九三五	一、七七〇	一、六二五
英領印度	一、三七一	一、〇六八	一、一六三	九一四
濠洲	四五七	四一六	四三一	四四九
日本	一、五六二	一、五四〇	一、二八五	一、一三五
其他	五六八	五四八	四〇六	三三一
合計	九八、一四五	八八、〇七五	八六、一五六	七八、二八二

(一九三〇年六月刊行製鐵業參考資料八四頁に依る)



一九二九年に於ける日本の鉄鐵生産高は世界合計の一・五九%に過ぎない  
 日本に於ける鉄鐵の販賣は共同販賣組合に依つて管理せられて居るが同組合は亦各組合員の生産數量を統  
 制す、本組合は鉄鐵共同販賣組合と稱し東京丸ノ内ビルディング内に事務所を置く  
 本組合員は釜石鑛山、日本製鋼、三菱製鐵、鞍山製鐵所、本溪湖煤鐵公司等の如き日本に於ける主要鉄鐵  
 生産業者である、八幡製鐵所及同所の管理下に在る東洋製鐵株式會社の鉄鐵は市場に賣り出されない關係上  
 右の兩者は本組合に加入してゐない、又淺野造船所製鐵部も組合員でなく、其の生産品の大部分は之を自己  
 の製鋼工場に使用してゐる  
 本組合に於ては鉄鐵の價格を決定し、而して手数料を與へて指定商に卸賣する

獎勵金

獎勵金は年産三萬五千噸以上の鉄鐵製造業者に交付せらる、而して製造業者にして其の鉄鐵を製鋼用に使  
 用する場合には獎勵金は屯當り六圓、製鋼用にして他に賣却する場合には噸當り五圓、製鋼用に使用されな  
 い鉄鐵に對しては噸當り三圓となつて居る

鉄鐵に對する現行關稅は、百斤に付十錢即ち一噸當り一圓六十六錢であるが鐵鑛石ミ屑鐵ミは無稅である  
 八幡製鐵所に於ける鉄鐵一噸當りの生産費は概算三十八圓七十二錢であつて、若し同所に對し六圓の獎勵  
 金が下附さるゝものゝすれば生産費は三十二圓七十二錢なる譯である

次表は八幡製鐵所調査課の發表に係はるもので現在營業しつつある日本に於ける主要鉄鐵會社の製鐵能力  
 と生産高を示す

會社名	公稱能力	一九三〇年上半期生産高
三菱製鐵	一一〇、〇〇〇噸	七四、三三八
日本製鋼所	一六八、〇〇〇	六一、二二六
釜石鑛山	一七七、〇〇〇	四八、二四五
淺野造船所	五五、〇〇〇	二八、九二八
日本製鋼管	二五、六〇〇	一
神戸製鋼所	七、三〇〇	一
淺野小倉製鋼所	一四、六〇〇	一
鞍山製鐵所	二一九、〇〇〇	一一三、三二六
本溪湖煤鐵公司	一一〇、〇〇〇	五〇、三三三
小計	八八六、五〇〇	三八六、四二六
八幡製鐵所及東洋製鐵	八一四、二〇〇	四〇七、五四一
總計	一、七〇〇、七〇〇	七九三、九六七
輸入		二二六、三八五
一九三〇年上半期供給高		一、〇三〇、三五二

以下次號



## 濠洲に於ける亞鉛引鐵板の需給狀況 (其一)

昭和六年九月十七日及二十一日附在シドニー岩崎貿易通信員報告

輸入狀況 戦前七萬噸程であつた濠洲の亞鉛引鐵板の需要は人口の増加と産業の發達に依り近年十二萬噸に増進したのであるが、今次の財界不況に依り最近は戦前に比するも尙少量に當る六萬噸以下に減退するに至つた。大戰終結後國産業初まり、最近其保護の爲め外國品の關稅は著しく引上げられ、輸入は殆んど絶ゆるに至つた。即ち統計に示す如く一九二二―二三年度以降五ヶ年は、輸入年額平均十萬餘噸に上つたのであるが、一九二八―二九年度の八萬七千噸は翌年度六萬七千噸に下り、更らに一九三一年六月に至る一ヶ年は一萬二千噸に激減した見込である殊に本年に至り殆んど輸入杜絶の状態に陥つたことは、統計に擧げたニューサウスウェルズ州の本年七月に至る各月輸入額に依つて一層明かである。

從來輸入品の主要部分は英本國品であつて、濠洲の輸入總額中約九八%を占め、米國品、白耳義品等少量、本邦品は一九二七―二八年度中一噸弱が試賣されたにすぎぬ。本稿末に國別統計を掲ぐ。

生産 英國に於けるジョン・ライサット會社は、濠洲支店を通じて OBB 印を輸入して居つたが、一九一八年ニューキャッスル近郊に工場を建設し、一九二二年以降聯邦政府より生産獎勵金を受け、鐵板、亞鉛、石炭等國産品を以て製造し來つたのであるが、同時に輸入をも引續き營み、濠洲輸入總額中約八割を取扱ふ最

大輸入業者で、其輸入高一九二七年には七萬八千噸、一九二八年及一九二九年共四萬二千噸に上つたこと云ふ。濠洲唯一の亞鉛引鐵板工場たる同社の現在拂込濟稱せらるる額は、九十三萬六千五百九十九磅、内五十萬磅は濠洲に於て發行した優先株である私は昨年九月工場視察の機會を得たが、此程度の工場維持の爲め、濠洲人民全体が大なる犠牲を拂ふだけの價值あるか、疑問を拘かせしめた。

最初の工場設備は年産二萬八千噸であつたが、最近工場を擴張し、工場投資額を七十萬磅に増し八萬噸の増産設備を施したと傳へらる。されば最近に於ける全濠洲需要を満たすに充分で、其の爲め輸入品の禁止、關稅引上等が容易に行はれ、又政治家の私的關係淺からぬものあること云はる。

關稅と生産獎勵金 亞鉛引平及浪板は、一九二二年十月十八日發布法律第二十九號を以て、一噸に付二磅十二志の生産獎勵金が支給されることとなり、一九二八年一月一日以降は三磅十二志に、一九三〇年一月一日以降四磅十志に引上げられ、當時輸入關稅は稅番第一四五號を以て、定率英本國品一噸に付一磅、諸外國品同三磅であつた。然るに一九三〇年六月二十日以降海關稅は英本國製二磅、諸外國製四磅に引上げられた爲め、生産獎勵金は其法規に従ひ三磅十志に減額されることとなつた又一九三〇年七月十日以降は輸入品ブライメーヂ稅從價二・五%が新に徵課されることとなり、政府は其相當額七志を認め、獎勵金は自然三磅十志に削減されたのである。一九三〇年十一月七日以降は海外より亞鉛引鐵板は無許可輸入を禁止し、獎勵金は全廢したが、一九三一年三月二十七日には輸入を解禁し、代るに輸入稅を英本國品五磅十志、諸外國品七



磅半に著しき引上げが實施された。而して一九三〇年初に於ける英本國品關稅一磅三生產獎勵金四磅半を合して國產品保護總額五磅十志となるが、關稅を五磅十志に引上げた爲め、生産獎勵金の支給は撤廢されるに至つた。聯邦政府の財政窮乏に基因する。即ち現行亞鉛引鐵板は平板も浪板も稅番第一四五號が適用され、定率英本國製は一噸に付五磅十志日本製、米國、白耳義、獨逸製等は總て七磅十志であつて、此他ブライメーデ稅は一九三〇年十一月六日以降四%に引上げられ、更らに七月十一日以降實施された從價一〇%が課せられる。

九月十六日聯邦議會開會され、下院に於て亞鉛引鐵板の改訂關稅討議中であるが、反對黨は固より與黨内に於ても、政府の極端なる保護策に反對する者尠くない關係上、關稅大臣は、本年九月一日以降の何れの一年間に於ても、濠洲の全需要が六萬噸に上つたときは、關稅を英本國品四磅半諸外國品六磅半に一磅方引下ぐる改訂動議を爲した。

需要品に用途 浪板多く用ひられ、英國規格二十六番又は二十四番の五呎乃至八呎、九呎、十呎等。平板にあつては十六番乃至二十八番。都會に於ける需要は比較的少なく。主として地方農牧場に於ける緬毛剪毛場、牧舎、小麥其他農牧產物及家畜飼料等の置場、貧民住宅、工場等の屋根、壁等に用ひらる。

市價 一噸當りの輸入單價は統計に併記の如く、一九二〇—二一年度の五十三磅から漸落して最近は十七磅に下り戰前と略同値に崩落したが濠洲内に於ける卸賣物價は統計に示す如く一九二一年初の五十七磅より

一九二六年初の二十八磅に下つたが、一九二七年には上騰し、爾後一九三〇年迄漸落し、生産獎勵金全廢されるに及んで、獎勵金以上賣値引上げられ、最近にあつては正味三十一磅に當り、極最近に於ける輸入單價の約倍額に當つて居る。關稅委員會の查問報告は卸賣値二十五磅を至當と認め、現行關稅一磅方の引下を勸告して居る。

本品の最大需要者云はるゝ農牧業者は農牧產物に對し海外より受入る單價戰前以下に崩落して、破産に瀕す者多きに、僅々九百人の都會人職工を使用するに過ぎぬ一工場を保護し、專業の暴利を與ふる爲め、諸外國に於ける同業者に比し倍額の必需品代價を拂はねばならぬは不合理となし、本品の保護に強硬なる反對をなし、政治家を動かしつつある。

C.I.F. 價を英本國品同様十六磅となし、本邦品を輸入するにせば、關稅七磅半、ブライメーデ稅一割は一磅十二志、約二十六磅が陸揚原價となり、卸賣業者の利益及販賣稅六%を加算しても、現在卸賣市價二十六番は三十一磅なれば輸入引合し得る筈で、現に添付廣告に示す如く、二十二磅十志（販賣稅は含まず）を以て販賣しつつある者も居るが既に輸入した亞米利加製のストックであつて、假りに價格上引合し得てもライサットの販賣網を通し得るやは疑問で、是を通ずること無くば特別の販賣施設を設けぬ限り大量販賣は至難とす可く、本邦品輸入するにせば、輸入の禁止を目的とする關稅を直ちに課し即時實施することは從來の例に依り明かなれば、日濠關稅協定が私の提唱するが如き條件を以て成立するに至る迄は、本品の輸入を



試みることは、假に注文契約に關稅に關する特別條件を附することあるも、先づ最危險性を帯びる商取引を稱す可きである

### 濠洲に於ける亞鉛引鐵板の需給狀況 (其二)

(昭和六年九月十七日及二十一日附在シドニー岩崎貿易通信員報告)

第一表 亞鉛引鐵板の濠洲輸入額

	數量 (Cwt)			價格 (磅)		
	一九三〇年度	一九三一年度	一九三二年度	一九三〇年度	一九三一年度	一九三二年度
七五、平板	三九、一六	四四、八九	五九、六一	三七、八三	四九、四四	六〇、九九
英本國	一、七三	一、三五	四、六八	九六	七五	二八九
白耳義	五、二七	二、六五	八、九一	六、二〇	三、七〇	一〇、七三
合衆國	—	四八	四二	—	六	二七六
其他	—	—	—	—	—	—
總額	四〇、一五	四八、四七	五九、五三	三九、〇四	四八、九五	六三、七六
七二六、波板	—	—	—	—	—	—

第二表 亞鉛引鐵板の濠洲ニューサウスウェルス州輸入額

	數量 (Cwt)			價格 (磅)		
	一九三〇年度	一九三一年度	一九三二年度	一九三〇年度	一九三一年度	一九三二年度
日本	—	—	二七	—	—	二二
英本國	九七、〇九	一、七六、六四	一、五九、四七	八五、七七	一、三三、七三	一、六六、七六
白耳義	—	—	三、七四	—	—	—
合衆國	二、九四	三、六五	一四、八六	三、六二	三、五四	一九、七七
其他	—	—	—	—	—	—
總額	九七、〇九	一、七六、六四	一、五九、四七	八五、七七	一、三三、七三	一、六六、七六
七二五、平板	一六、七〇	一〇一、三〇	九四、五〇	一四、八四	九八、六八	九七、五八
英本國	—	—	—	—	—	—
合衆國	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—
總額	一六、七〇	一〇一、三〇	九四、五〇	一四、八四	九八、六八	九七、五八
七二六、波板	—	—	—	—	—	—
英本國	—	—	—	—	—	—
合衆國	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—
總額	—	—	—	—	—	—



其他	二四五	三、三六三	二、七五七	四一〇	五、三三三	五、一五二
總額	二七、〇三九	一、九〇、六三〇	三、八、七三二	三、三、三三〇	一、八二、二六五	三、四、七三六

第三表 濠洲に於ける亞鉛引鐵板の累年比較輸出入量額表

年 度	輸 入		輸 出			
	數量(噸)	價格(磅)	噸當り單價(磅)	重噸(磅)		
一九三〇—三一年	×三、四〇〇	×七、五〇〇	六二、二二八	三九、三六四	不明	不明
一九二九—三〇年	二〇、一五九	四七、〇〇九	三九、〇〇四	八九、四四八	一九、六	六七一
一九二八—二九年	三三、四三二	六四、〇九五	四三、九一五	一、六六、二四一	二〇、七	一九、八
一九二七—二八年	二六、四七七	七九、〇八六	六三、七六六	一、六九、九九九	二二、九	二二、五
一九二六—二七年	二四、九五〇	七、五五一	五〇、二五八	一、四三、二六六	三三、三	三三、二
一九二五—二六年	二〇、八九九	六、八、〇三二	四九、三三三	一、五五、一五九	三三、五	三三、七
一九二四—二五年	二四、〇五八	六、五九九	五五、〇七二	一、八三、六六一	二四、四	二三、六
一九二三—二四年	二二、五七七	六、〇〇一	五四、〇三九	一、九六、四六四	二五、二	二四、四
一九二二—二三三年	七〇、二六六	九、七、七四	六三、三六二	二、二三、八〇七	二四、七	二四、三
一九二一—二二年	一〇、七〇六	四、七、七四	三五、一九〇	二、二七、二七七	三、二	二八、五
一九二〇—二一年	一六、三九九	三、六、五九九	八四、四四四	二、〇三、九二二	五、四	五、九

一九一九—二〇年	二〇、四三三	四、一、九五一	八三、四三三	一、七三、五九〇	四三、二	四一、六	一、一三三	五九、五九九
一九一八—一九年	一〇、三九六	一七、四四五	四八、八三三	八〇九、四一八	四六、九	四五、六	一六五	八七、七五
一九一七—一八年	六、八八五	六、一〇一	二九、〇一一	二九九、九六八	四四、〇	四九、二	九五	五八、八三三
一九一六—一七年	一〇、九七一	二、六五九	三五、八〇六	三、八、九八	三三、六	三三、六	五九五	二二、七三
一九一五—一六年	三、八八三	三〇、二一八	九四、八五五	八三、〇三八	二八、四	二六、七	四三	三三、四八
一九一四—一五年	三、〇九八	四、七三三	六九、〇〇八	四一、五八	一七、六	一六、六	九七	一七、〇九
一九一三年	▲	四、六〇九	▲	九七、二四	▲	一七、二	一、四三	二六、二二
一九一二年	▲	六、九五一	▲	一、〇三、七六	▲	一六、四	一、五〇	二六、七六
一九一一年	▲	七、四七七	▲	九八、四三三	▲	一五、八	一、六元	二八、七〇八
一九一〇年	▲	五、六三元	▲	九〇、六六七	▲	一五、九	一、九九	三三、六六六

備考 ×印はニューサウエルズ州同期實額を基礎に岩崎の推計したるもの、▲印は別計數字記録無きもの

第四表 シドニーに於ける亞鉛引鐵板の噸當り正味卸賣市價

年 度	波 板(一等品)		平 板(一等品)	
	噸 志	噸 志	噸 志	噸 志
一九三一年九月	三三、三	二九、九	一六—二十四番	二十六番
一九三一年一月	三〇、六	二八、一五	一	一
一九三〇年一月	二五、五	二三、一五	一	一



年	月	平板	波板	平板	波板
一九二九年	一月	二六、一〇	二五、一		
一九二八年	一月	二七、一〇	二六、一		
一九二七年	一月	三一、一〇	三〇、一		
一九二六年	一月	二九、五	二七、一五		
一九二五年	一月	三〇、五	二八、一五		
一九二四年	一月	三一、五	二九、一五		
一九二三年	一月	三一、一〇	三〇、一		
一九二二年	一月	四二、一	四〇、一		
一九二一年	一月	五八、一	五六、一		
一九一四年	一月	一九、五	一八、一五		

第五表 濠洲ニューサウスウエルス州の亞鉛引鐵板月別輸入額

備考 一九三二年一月市價は販賣稅四%、一九三二年九月分は同一〇%の稅込

年	月	數量 (Cwt)		價格 (磅)	
		平板	波板	平板	波板
一九三〇年	七月	四、〇四一	五、五八七	三、七五二	五、〇〇八
	八月	三、五六五	四、六八二	三、四一一	三、八三三
	九月	三、五八二	五、四一八	三、二二八	四、八八三

附記 卸賣業者の配布する値段書は、屢々議員の過當關稅に對する政府攻撃の材料となり、當業者は市中の者に値段書の提供を喜ばず。現に私は直接要求して斷られし爲め、地方に於て農業を營む友人を通じて請求した所、手に入るゝ事が出來たから、市價及需要品種を窺ふ參考資料として添付し、其の寫ミ畫面の寫しをも添ふるこゝとした。(註)是れに依れば濠洲製の二十六番、五呎及八呎の一等品はシドニー停車場渡し噸當り三十一磅十五志であるが、英本國ボールドウィン製の同種板は五磅十志の關稅定率ミブライメーヂ稅一割ミを拂つて尙ほ二十九磅十志の賣値、(共に六%の販賣稅込) ニューキャツスル、ライサット製品に比し二磅五志方低廉である (完)

註 一、本記事記載の參考資料閱覽希望の向は隨時商工省貿易局出張員事務所に來所相成度し  
 二、輸入商名につきては第六卷第十二號「海外商工人名錄」參照  
 昭和六年十二月十日貿易通報所載



### 業態別に見た石炭消費の趨勢

石炭を業態別に見て仕の程度迄消費されて居るか云ふに此消費別調査が目下の所完全でない爲め其の調査に従ふ人に據つて自から相違して居るやうに思はれる。曩に商工省は之が消費炭調査を船舶用、鐵道用、工場用、製鹽用の四大別に行つて居たが、之は明治四十四年以降大正九年迄のこゝで其後は工場用のみに就て行つて居るに過ぎない、今參考の爲め之を表示すれば左の通りである (單位噸)

	船舶用	鐵道用	工場用	製鹽用
明治四十四年	三,九〇三,七二一	一,三六一,四六六	六,〇〇三,三〇四	七三三,五九二
同 四十五年	四,四九九,五八三	二,五八七,七七一	六,六二七,六三三	七九八,八九〇
大正二年	四,七六六,四八八	一,九四五,七二二	七,六三三,八三三	七九八,三三五
同 三年	五,一三四,三三二	一,九二五,三〇〇	八,三九九,〇七二	八〇〇,八七九
同 四年	五,六八五,二二五	一,九二五,七六七	八,一三三,七六八	八六二,六七八
同 五年	五,三三二,二一〇	一,九二五,四四一	一〇,四四六,〇九九	八六二,三六六
同 六年	五,一〇一,〇〇七	二,三九九,八七一	三,三三六,四四一	七九八,三三三
同 七年	五,二七五,四四四	二,九四〇,一七六	一四,二四三,九三三	五六一,〇〇八
同 八年	五,八四四,〇三七	三,七三三,一五二	一四,八八九,二八一	八六四,四六六
同 九年	六,九七一,七四四	三,三二九,七八八	一四,六九五,〇五八	七六八,〇〇三

而して大正十年の鐵道用炭は三、〇四一、六一〇噸、工場用炭は一、二八九、三一〇噸で、船舶用及製鹽用炭は詳かにするを得ないが大凡前者が四三八萬噸、後者が七五萬噸であると思ふ是に依つて見るに大体に於て消費高は増大しつつあるが、筆者の調査も亦此後も趁ふて居るものゝ如くである。勿論經濟界の事情其他の關係で多少産業上貿易上の盛衰はその軌を一にして居るものがある、殊に昭和四年以降は所謂世界的不況の影響が漸次濃厚なるに従つて石炭の消費漸減し供給過剩に陥り遂に送炭の制限に繼ぐに制限を以てするが如き有様にて不振不況益々その度を増すに至つた、其結果はまざまざと本表に現はれて居るのである

(單位噸)

摘要	年次	大正	同	同	同	同	昭和	同	同	同	同	同
		十一年	十二年	十三年	十四年	十五年	二年	三年	四年	五年	同	同
總減炭(貯炭)	(一,〇,〇〇,〇〇〇)	一,〇七七,一六八	一,九三三,六八八	一,八四四,一六八	二,四三三,四三三	一,三三三,三三八	一,六二〇,二二〇	二,三三六,一七二	二,五三三,九三三			
採掘高	七,七〇一,七一一	六,四八六,八〇〇	三,〇二〇,八三三	三,四九九,四五三	三,四三六,四九三	三,五〇〇,六〇七	三,八〇〇,一八一	三,四七五,八七三	三,五〇四,八三七			
送炭	(三,〇〇〇,〇〇〇)	(三,三九三,六三三)	(二,四七五,七〇七)	(二,五七五,七三三)	(三,三三〇,〇四一)	(二,七五八,三七五)	(二,七五七,四七〇)	(二,八〇九,六三三)	(二,四一三,六四二)			
輸入炭	一,一六八,五三三	一,一六五,七七一	一,九七七,七五二	二,〇〇八,一七六	二,三〇〇,五三六	二,三三〇,〇三六	二,三三〇,〇三六	二,三三〇,〇三六	二,三三〇,〇三六			
輸出炭	一,六九〇,七九九	一,五五四,三〇三	一,七一一,三三三	二,六二七,九四四	二,五九九,三三六	一,五五〇,〇〇〇	二,一五〇,〇〇〇	二,一五〇,〇〇〇	二,一五〇,〇〇〇			
船舶用炭	(四,〇〇〇,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)	(四,三三三,〇〇〇)			
鐵道省用炭	三,〇〇〇,〇一〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇			
地方鐵道用炭	三,三六二,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇	三,三三三,〇〇〇			



工場用炭	10,611,488	13,301,211	13,336,676	13,611,451	14,511,733	15,181,851	10,450,000	10,450,000
電氣電燈用炭	(1,100,000)	(1,100,000)	(1,100,000)	1,378,868	1,500,000	1,483,000	1,400,000	1,000,000
瓦斯用炭	7,133	77,336	77,335	71,912	95,755	1,036,553	1,388,000	1,000,000
紡績用炭	(600,000)	(600,000)	(600,000)	678,955	604,433	514,842	410,822	366,323
製鹽用炭	(750,000)	(750,000)	(750,000)	720,000	755,500	755,495	688,234	721,211
其他用炭	3,361,128	5,701,511	2,955,752	3,001,778	3,737,951	3,533,333	2,622,356	9,433,511
消費高	(3,500,000)	(3,500,000)	3,354,870	3,904,360	5,156,566	7,708,337	5,336,866	3,336,336

括弧内は推定數量、又工場用炭は紡績工業、金屬、機械器具、窯業、化學、製材及木製品、印刷及製本、食料品、瓦斯及電氣、其他各工業消費炭を合計して通計すれば電氣電燈、瓦斯、紡績三工業の消費炭に於て重複せる數字もあり勞々總計せざりしなり、なほ項外消費高があるは石炭鑛業聯合會の調査に依るものを參考して掲ぐ工場用炭の詳細は別項を参照せられたし

消費炭に就て大体以上の如くであるが更に工場用炭に付細別して見れば左の通りである (單位噸)

年次	工場數	石炭消費高	骸炭消費高
大正八年	44,087	10,730,335	531,341
" 九年	46,150	10,672,490	397,657
" 十年	87,722	11,289,310	703,715

業態別	工場數	石炭消費高	骸炭消費高
昭和三年	19,476	3,244,438	14,750
昭和四年	25,887	3,630,808	474,636
比較	6,411	386,370	459,886

而して昭和四年中に於ける石炭、骸炭の消費高を業態別とし又前年と對比すれば左の如き結果を見せて居る、尤も此工場用炭調査は從來職工五人以上を雇備する工場に就て行つたものであるが四年中は夫れ以下の工場にも出來得るだけ手を延べたこの事である、即ち三年に比し工場數の増加して居るこゝが之を裏書するものである (單位噸)

業態別	工場數	石炭消費高	骸炭消費高
昭和二年	53,680	14,950,782	888,819
" 三年	55,948	15,561,845	1,938,133
" 四年	59,887	10,404,007	474,636
" 十一年	46,427	10,861,418	556,606
" 十二年	47,786	13,061,753	1,103,729
" 十三年	48,394	13,326,678	777,395
" 十四年	49,161	13,602,428	594,022
" 十五年	51,906	14,013,770	855,022



業種	昭和三年		昭和四年		昭和三年 比	昭和四年 比
	消費高	貯蓄高	消費高	貯蓄高		
金屬工業	四、〇九二	三、三〇九、二〇六	五、三六四	六四八、四六八	△	△
機械器具業	一、二七二	△	四、五三一	△	△	△
窯業	八、三一四	二、九四、八三二	二、七八二	二、三三、九二二	△	△
化學工業	三、七八三	一、九三四、〇三九	二、七四九	一、三七六、〇三四	△	△
製材及木製品業	一、一七〇	五五八、〇〇五	三、八〇〇	二、七四、二七四	△	△
印刷製本業	二、五一一	一七、三一九	二、二六三	六〇五	△	△
其他工業	七、三二六	九、八九九	四、〇六三	一〇、五〇四	△	△
食料品工業	八、八二五	一四八、三七四	一九、三〇一	一八、四八二	△	△
瓦斯電氣業	四四〇	八〇二、二四六	四四五	二、七二〇、五四〇	△	△
合計	一〇、四七六	九六五、四一五	一九、三〇一	一、一三、七八九	△	△

二倍數

五倍高

貯蓄高

業種	昭和三年		昭和四年		昭和三年 比	昭和四年 比
	消費高	貯蓄高	消費高	貯蓄高		
食料品工業	一〇、四七六	九六五、四一五	一九、三〇一	一、一三、七八九	△	△
瓦斯電氣業	四四〇	八〇二、二四六	四四五	二、七二〇、五四〇	△	△
其他工業	四、八一九	一七六、九四四	五、二二九	一、一三、六六二	△	△
合計	一五、九四八	一、九三八、一三三	一九、三〇一	一、一三、七八九	△	△

(附記 噸以下の端數切捨つ)

△印は減

尙記しておく事は前表消費炭中(其他用)に煉炭原料が含まれて居るこゝである、煉炭の消費高は茲兩三年數量に於て餘り變化なく大体内地に於ては煉炭工場生産一七萬噸其他家内生産一〇萬噸、合計二七萬噸一三〇萬噸が生産されて居る。此二七萬噸一三〇萬噸が含まれて居るのである、又鐵道省用炭を一括して掲出して居るが之が用途を内譯するに機關車用約三二〇萬噸、船舶用一四萬噸、發電所用六萬噸、工場其他用二



○萬噸(ミユフ)になつて居る

以上に依つて大体消費炭の趨勢が解る事と思はれるが、最近東京朝日新聞社の調査に據れば(單位千噸)

船舶用	三、七〇〇	製鋼用	二二〇〇
製鐵用	三五〇	鐵道省用	三、七〇〇
發電用	一、〇〇〇	セメント用	一、二〇〇
瓦斯用	一、三〇〇	紡績用	一九〇
製鐵所	二、五〇〇	鹽田用	七二〇

が昭和五年中の消費炭であるミユフ之は参考の爲めに附記しておく次第である。

昭和六年十月號 燃料協會誌第百九號

### シベリアの新産炭地

昭和六年九月十三日附在ノヴォシビルスク中村領事館事務代理報告

ソヴェエト聯邦共產黨中央執行委員會は一九三一年八月十五日附同委員會の石炭及骸炭資源増大に關する決議中に、西伯利及極東の鐵路に依る燃料輸送距離を短縮する爲、黨中央委員會は新産炭地發見の爲の探査

事業を促進し、一九三二年には西伯利幹線沿線の舊並最近新に發見せられたる産炭地の採掘に着手する(ミ)を聯邦最高國民經濟會議に提言し居れる處、右に關聯しコロウイン教授の率ゆる東部西伯利の石炭地質調査隊は最近一巡を終りたるが、右調査の結果西伯利に於ける新炭層及埋藏地に關し同教授は左の如き報告を齎らしたり

イルクートスク流域 イルクートスク流域のジミスキー區(チエレムホーウオ炭鑛を距る北西一〇〇軒ジマ市附近)に於て、東部西伯利地質調査トラスト(調査隊)は、グリーンキンスコエ及クルグナイスコエと呼ぶ二郡の大炭層が鐵道沿線に而も舟楫の便あるオカ河に近く横たはれるを發見したり

二者の内特に興味を惹くはグリーンキンスコエ炭層にして右は八炭層より成り、各厚さ一米乃至六米通計十八米の厚さを有す、此等八層の内最注目に値するは最低層にして六米の厚さを有し、純同種の石炭にして下半部は半サブロフナイト炭、上部はチエレンホウオ炭の如く光澤を有する石炭より成る、該炭田の面積十平方「キロメートル」、石炭埋藏量は凡そ一億五千萬噸なり

クルグナイスコエ産地に於て最も價値ある層は同様に最低層にて四米に達し、同一炭質なるを其特徴とし、乾溜に宜しきも處々多量の硫黄を含む

以上二箇所の石炭産地に就き地質調査トラストは産業的調査を行ひたり

カンスク流域 カンスク流域に於ては同調査隊は前者に劣らざる二の大炭産地を發見したるが、タイシエ



ト區に在りて孰れも鐵道に近く且ビリユサ河に臨む

最大の炭田をカルヴキソウスコエ鐵ミ呼び十層より成り、此等全層の深さは未だ正確に闡明せられざるも恐らく二十米を下らざるべく、特に興味あるは低部の四層にして十三米の石炭層をなし、其内五米は厚さ一米乃至一米半の半プロファイト炭層を含み約一米は瀝青炭層を成し、其上層の七米は褐炭なり

十平方「キロメートル」の面積に於て該石炭産地は一億乃至一億二千萬噸の石炭を保有す

該區の地質状態よりすれば斯かる多量の石炭保有地は百「キロメートル」以上の面積に及ぶ

他のクルユチエンスキー産地に於ては只低部の三層のみ發達し居り其全深さは十二米なり、最下層は六米の褐炭層を有す

該産地に於ても半サブプロファイト炭は全石炭量の三〇乃至四〇を下らず

上記石炭産地の内最大なる産業的意義を有するに至るべきものは、グリーンキンスコエ及カルヴキソウスコエの兩産地なりと言ひ得べし

チュルキムリエニセイスク流域 此外クラスノヤルスク地方に於ける炭層に關しては、エニセイ河以西に擴がる褐炭産地に關する未公表の記録を精査したり、右資材は國立地學協會に保存せられ、主としてヴェ・ベ・コソワノフの蒐輯に係る所のものなり

此等の材料並數種の文獻に據ればエニセイ河の左岸一帶に著數廣範圍に亘て侏羅紀の褐炭層が存在するこ

こは疑ふ餘地なし。該炭層はクラスノヤルスク市（コルキンスキー及クーベコヴスキー並ベレヅフスキー及他の炭層）より始まり、延銀三百「キロメートル」以上の密實の脈帯をなして北方に走向し、ピト河に達す

エニセイ河以西に擴がる該層帯の廣さは未だ充分には判明し居らざるも、エニセイスク市及アンガラ河口附近にては急に幅員を増し、南方に擴がるここ二十料に及び、ボリシヤ及マラヤカムチウグ河の末流流域を掩ひ、又アチンスク附近に於てはチュルキム河に達し、アチンスク及マリンスク區の既に有名なる褐炭田と連接す

斯の如く廣大無比の新褐炭鑛域を描出する次第なるが、余は之をチュルキムリエニセイスク流域と稱はんとす

該地域の石炭埋藏量の實數を計算するは未だ困難なり、何となればチュルキム河系に於ける含炭侏羅紀層は西部西伯利の新堆積層に蔽はれ居るが爲なり、故に其廣袤は意想外に尠大なるやも知れず、現在迄明瞭なれる石炭埋藏地面積のみにてマリンスキー及アチンスキー炭田を併せ二萬平方料を下らず、其内新炭田に屬すべきはエニセイ河に沿ひチュルキム河に至る一萬二千平方料なり、該褐炭地積は數箇所に於てはエニセイ河右岸にも出て、其處に石炭産地たるカンスク流域層炭田と殆ど融合し居り、恰も彼此相密て完き一連を形成せるやを想はしむ



モスコ道路に沿ひ又はエニセイ河に添へる場所にては諸所に褐炭層は夙に調査され且試掘に供されたり、右試掘に際して試鑽の五十米乃至六十米に達せるもの尠からず、最近は百米以上の鑽孔をも試みられたり、前述の如く新舊調査材料よりしてチウルキムニエニセイスク石炭層は深度二百乃至二百五十米を下らざる鑛層を斷じ、且其構成は大體カンスク流域の侏羅紀層に近く少くも三含炭層位より成るを推定するに難からず

該褐炭層の石炭保有率は一見著しく高きが如く、右は特にアチンスク市及イタート驛附近の最近の調査材料が明示する所なり、同所に於ては十米内外の厚度の褐炭層發掘せられたり

同流域の東部に於ても亦幾多の可也大なる褐炭層の横はれるを明にしたるが、此等の層は鑽孔調査報告に徴するに屢々二乃至三米に達す、殊にクラスノヤルスク市より南方に當るバラフチンスキー區に於ては、炭層厚度は最近の調査資料（一九三一年）に依れば七米若は十二米にも達す

該流域の著名の産炭地の石炭は孰れも褐炭にして、地表近くのもの甚しく風化され、脆弱なれども、相當深き所ものは可成硬質なり

原炭の發熱量は數回分析を試みたる所に依れば、五千乃至五千二百カロリーにして、乾炭は五千八百四十のカロリーを出す。其他の炭層に於ては可燃性板岩様のサフロファイトを産す

吾々の前にシベリアに於ける新しき、而も疑もなく莫大なる採掘燃料の貯藏が提供せられあるなり、該動

力資源の意義を今直に斷定するは聊か困難なるも、右は近き將來に於て中部西伯利の工業就中廳てアンガラニエニセイ合成企業の一部なる目下企圖中の、有力なるエニセイ綜合企業發達上に將又エニセイ河航行の爲に大なる役割を演ずるや疑を容れざる所なり。要するに前述の全産炭地は之を擧げて西伯利の第二次及特に第三次五ヶ年計畫の資源となるべきなり

西部西伯利地質調査トラストの面前にも、又東部西伯利地質調査トラストの面前にも地質調査研究の新對象が出現し來りたる次第なるが此調査研究はエニセイ河よりチウルキム河及キヤ河兩系に及ぶ廣大なる地域に亘り行はれざるべからず

（九月十日ソヴイエトスカヤシビリ紙所載）

## ブラヂルの滿産輸出状況其他

（昭和六年九月十五日附在リオデヂャネイロ佐藤領事館事務代理報告）

概説—滿産の産地—滿産の評価—滿産の輸出状況—値段取引習慣其他—滿産輸出商社名

概説 ブラヂル國は世界有数の滿産産出國なり、一時露西亞並印度と共に世界滿産の産出を獨占し來れるが、阿弗利加のゴールド・コスト及白耳義領コンゴに莫大なる滿産鑛脈發見せられて以來、伯國は本鑛石



輸出上一大脅威を感ずるに至れり、然れども年々輸出額は約三十萬噸内外に上り、其中約二十萬噸は北米へ輸出せらる。

伯國滿俺鐵の含有する滿俺の量は四十%乃至五十%の相當良好のものなり、其生産地はミナス、マツトグロソ及バイヤの諸州にして、四十%以上の滿俺を含有する良質の滿俺鐵石のみにては實に三千萬噸以上の埋藏量を有すこ稱せらる。

滿俺の産地 伯國に於ける滿俺の産地として著名なるはミナス、バイヤ及マツトグロソの諸州にして、其他の諸州に於ても少量の鐵石埋藏せられ居るも未だ發掘せらるゝに至らず。

ミナス州に於ける産地は左の如し

モロ・ダ・ミーナ鐵山はケルース (Queluz) 市を距るここ三基米の地に在り、岩石の間にレンズ状を爲して多量に介在し、其埋藏量千萬噸を稱せらる、本鐵山の鐵石を分析したる處、一九一五年迄の平均成績は滿俺五〇%、鐵五・七%、硅土二・三%、磷〇・一%。

本鐵山はユーナイテッド・スチール・コーポレーションに附屬するコンパニヤ・メリデイオナル・デ・ミネラソン (Companhia Meridional de Mineracao) 會社の所有に屬す。

アグア・ブレタ鐵山 (Agua Preta) は Athu 會社の所有にして、モロ・ダ・ミーナ鐵山と同様の形狀を爲せる鐵石を埋藏し、層の厚さ及面積は相當大なり、鐵石の運搬は八基米の長さを有する架空線に依りブラ

デル中央鐵道に連絡せらる。

エステーバ (Estiva) はケールスより六「キロ」の地點にあり、ルツヂ商會 (Rudge) の所有物なり。

バイバ (Paiva) 及サビナ (Sabina) は共にサンタ・マチルデ (Companhia Santa Matilde) 會社に依り發掘せらる、前者は中央線より十一基米、後者は十四基米の地點に存するも重要視せられず。

ジュレマ (Jurema) 及ミカエラ (Michaela) はブラデル中央線より二十二基米を距るバラオベバ河畔に存す、サンタ・マチルデ會社に屬し、共に鐵石豊富にして、鐵層の厚さ二三米を有す目下發掘中なり。

マラクジヤ (Maracuja)、ブラッコ・ド・ビッシヨ (Buraco do Bicho)、ピキリー (Piquiry) サン・ゴンサロ (Sao Goncalo) 等の鐵山は既に莫大なる鐵石の發掘を見たが、目下は放置せらる。

ククルト (Cucurto) はクリスチアノ (Christiano) 驛より五十基の地點に在り。Athu 會社に屬し、鐵層厚く、鐵石豊富なるも發掘賃相當高價なり。

サン・ジヨン・テルレイは滿俺含有量比較的少し。

ナザレ (Nazareth) は Wells 會社の發掘に係る。

カシヨイラ (Cachoeira) はモロ・ダ・ミーナ會社に屬す。

ブルニエル (Burnier) はブルニエル・タイプを稱せらるゝ滿俺鐵を産出する處にして、豊富なる鐵石を有し、其鐵脈の厚さ平均二米にして、クロカットよりメタルルヂカ驛迄連絡す。カルロス・ウィツグ



(Carlos Wigg) 商會の經營に係る

ボカイナ (Boaina) は同名の鐵道驛の近傍に在り

ロデイオ (Rodão) はメタルルヂカ驛附近に存し、鑛質頗る良好にしてアラヂル冶金會社 (Companhia

Metallurgica Brasileira) の經營に係る

ババ・コブラス (Papa Cobras) はブルニエル鑛山脈の延長にして、メタルルヂカ驛の近郊に存す

モロー・ド・カプリエル (Morro do Gabriel) クンバ (Cunbe) カンピストン (Campeste) カシヤンブ

ー (Oxambu) モーロ・ダ・マッタ (Morro do Matka) レドンド (Redondo) 等は共にアルグレアベス

(Hargreaves) 驛の近郊に存し、鑛脈小にして、凝結せる斷片岩を形成す。右の外世界大戰中盛に發掘せら

れたる數多の鑛山存するも、目下の處ブルニエル鑛山を除き他は殆んご休稼中なり

バイヤ州の産地左の如し

ナザレ區鑛山脈は海岸に隣接し、所謂ブルニエ・タイプの鑛石を産する處にして、同區中主なる鑛山にしてサベ・ペドラ・プレタ及オニヤを指定することを得べし、然れども目下の所殆んご發掘休止せらる

同州奥地にボンフィン鑛山脈在り、埋藏鑛量豊富なるも、目下の所ラランジャル、ジャコビナ兩山より毎日五十噸を産出する外殆んご休止の状態に在り

マツト・グロツソ州の産地左の如し

ウルタン鑛山脈在り、バラグアイ河沿岸を距ること十基米、コルンバ行致區に存す  
滿俺の評価 前述各鑛山の鑛石中に滿俺四十%以上を含有する鑛山名左の如し

州名	鑛山名	評定埋藏噸數
同	ミナスセラエス	七、四〇〇、〇〇〇
同	モロー・ダ・ミーナ	八〇〇、〇〇〇
同	ミカエル、ジュレマ、ブラツコ、ド・ピツシヨサビノ、バイバ	一、〇〇〇、〇〇〇
同	アグナ・プレタ及サンゴサロ	一、二〇〇、〇〇〇
同	ククルト	一五〇、〇〇〇
同	ボン・ジャルディン	二一〇、〇〇〇
同	ボルタ・グランデ	二〇〇、〇〇〇
同	マツタ・パウリスダ	三〇〇、〇〇〇
同	トリプワイ	一、〇〇〇、〇〇〇
同	ブルニエル及オーロプレト	五〇〇、〇〇〇
同	サン・ジュオン・デル・レイ	五〇〇、〇〇〇
同	サンタ・バルバラ	一〇〇、〇〇〇
同	ラマル・テイアマンチナ	一一、二七〇、〇〇〇
計		



バ	イ	ヤ	ボンフィン區及コピナ區	1,250,000
同			ナザレ區	250,000
計				1,500,000
マツト・グロツツ			ウルタン區	15,000,000

之を觀るに良質の滿俺鐵のみにても尙約三〇、〇〇〇、〇〇〇噸内外の富源を有するを以て、國內消費量に何等支障を及ぼさずして毎年三十萬噸宛輸出するも、尙且數十年之を持續するこゝを得べし

滿俺輸出狀況 最近三箇年間に於ける當國滿俺輸出狀況左の如し

▲一九二八年	361,829 (噸)	37,043,974 「ミルレイス」	(九〇九、〇八二磅)
▲一九二九年	293,318 (噸)	28,579,096 「ミルレイス」	(七〇二、〇四五磅)
▲一九三〇年	192,122 (噸)	14,486,477 「ミルレイス」	(333,402 磅)

而して右輸出高の輸出先國別左の如し

獨逸	1928年	1929年	1930年
	數量(噸) 「ミルレイス」	(噸) 「ミルレイス」	(噸) 「ミルレイス」
	3,556	—	—

亞爾然丁	—	—	—
白耳義	62,266	31,333	2,266
北米	336,000	331,751	174,455
佛國	55,776	30,443	11,101
英國	1,800	—	—
和蘭	16,613	—	—
其他	—	—	170
計	511,455	295,388	191,333

尙之を積出港別に觀るに左の如し

	1928年	1929年	1930年
	(噸) 「ミル」	(噸) 「ミル」	(噸) 「ミル」
リオデジャネイロ	51,659	25,328	19,133
バイヤ	—	1,100	—
其他	—	—	170
計	51,659	26,428	19,303

右を觀るに伯國滿俺の最大顧客は北米、白耳義及佛國にして、其大部分はミナス州の生産物に係り、リオ・デ・ジャネイロ港より輸出せらる、和蘭及英國も一時相當の輸入を見たるも、近來殆んぎ中止の姿な



り、尙右に示す値段は伯國に於ける FOB の値段に依る  
 値段及取引習慣其他 値段は日々の爲替相場及當港より外國諸港間の運賃に依り一定せず、商習慣として  
 通常行はるゝものは CIF 又は電信取引に依るもの多し

伯國滿庵を我國に輸入せんとの計畫は、數年來の懸案として専門家の研究中にある所なるが、巷間の傳ふる所に依れば右は運賃及船腹の關係殊に本鐵石運搬に際しては船舶を損傷すること著しき爲め關係者も船會社の妥協成らず、從て今日迄何等取引上の曙光を見ざる趣なれば、之が障壁除去に關し充分研究調査の餘地ありを思考せらる

滿庵鐵輸出商社名左の如し

A Thun & Cia Ltd., Rua Santa Luzia 89-2, Rio.

Carlos Wogge, Rua dos Ourives, 42-1q-Rio.

Companhia Meridional de Mineracao

(Morro da Mina)

da United Steel Corporation, Rua General Canarra, 20-4q, Rio.

Lavigne & Cia, Sao Salvador, Bahia.

(海外經濟事情昭和六年十二月十四日第五〇號所載)

## 海外雜報

### 英國鐵鋼業の好轉と大陸事情

アイアン・エーヂ一九三二年十月十五日

【倫敦十月十二日發電】 英國内の感情は、織物工業の復活をも含む一般的活況増進の象徴に依りて頗る好化しつつある、鉄鐵の國內需要は明かに好轉し消費者の多くは輸入關稅の實現を豫期して居る鉄鐵の輸出は爲替相場の動搖で取り極め困難である

シートバーの製造業者は多量の注文を受諾し近年に無き順境を呈して居る。プリンゲン、ゴルシーノン、バー工場に於ては、此の二ヶ年間閉鎖同様の境遇に在つたが本週作業を再開した、グローブセンド鋼及鐵力板工場は第五平爐の作業を開始した

一方、スタンダード・フルート・エンド・スチームシップ會社はウォークマン・クラーク會社と汽船一隻の注文契約を締結し又ホーガース・エンド・ソン會社は、ダビッド・ヘンダーソン會社に六千五百屯級の汽船を注文した

大陸工場との現行契約を清算する上に一大困難に打突つて居る、ミ云ふのは、契約は單に英貨を以てする旨取り極めてあるにも拘らず外國の供給者は屢々金等價の仕拂を要求するからである、然し一方に於ては歐



洲の或工場は紙幣磅を土臺として賣込の相談に應ぜんとする向きもある。現在の英貨爲替相場を土臺として大陸のシートバーは屯三磅一七志乃至三磅一八志で又棒鋼は四磅乃至四磅二志六片 (FOB) で賣込まれて居る、英國の半製鋼品の消費者は關稅の實現を見越して外國材料の輸入に對し可なりの關心を持つて居る。鉄力板の需要は活氣を呈し價格も上向き大陸、極東及内國からの引合相當にあつて工場に於ては來年に入つての引渡し注文を受諾しつゝある状態で商人も近來になき樂觀氣分を呈して居る。

亞鉛引薄板の取引は靜穩で只僅に支那及其他の極東市場この取引を見るのみである。印度の需要は印度關稅二割五分の引上げに禍せられ非常に減少した

アルゼンチンに於ては、シートの關稅を向ふ一ケ年間一割引上げた極東からは黑板の需要若干あるが然し其の他の市場は閑散である、アルゼンチンに對する今後の取引は恐らく關稅引上の影響を蒙るであらう

國際軌條製造業者組合に於ては、軌條の價格を五磅一七志六片に引下 (十二志六片の値下) げたが今後は計算單位として金磅を使用するであらう

白耳義の製鋼工場の注文受諾屯數は漸増を示し、十月十六日からの貸銀五分引下決議は罷業勃發の不安を惹起して居る

一方佛蘭西の失業状態は日一日惡化し工場の閉鎖さるゝものあるを見る  
上部シレジアに於ける獨逸の鋼産額は減少の傾向を示しつゝあるが然し需要は僅少の増加傾向に在る、輸

出版賣は磅の價值減少に依つて惡影響を蒙つて居る、ルクセンブルクの輸出取引は閑散でオーグリーマリアー工場に於ては、在ローダングの高爐二基を吹下して居る

英國九月の鉄鐵輸出高は一萬二千噸で内對米輸出皆無である、九月の鐵鋼材輸出合計は十三萬九千噸

國際粗鋼カルテル延長決定

(昭和六年十二月八日著在ドイツ長井商務書記官電報)

國際粗鋼カルテルは、一九三二年三月末迄繼續決定

昭和六年十二月十四日海外經濟事情所載

合衆國鉄鋼生産高逐次減少

全能力に對する生産割合一覽

月	一九三一年		一九三〇年	
	鉄	鋼	鉄	鋼
四月	四六・五%	四九・二九%	七五・四%	七八・九五%
五月	四四・七	四五・三六	七四・二	七三・六八
六月	三七・九	三七・五八	六九・三	六八・三〇
七月	三二・七	三四・一五	六〇・三	五六・一四



右の數字は

八月	二八・七	三二・一三	五七・八	五八・八〇
九月	二七・〇	二八・〇二	五三・八	五四・五六

銑鐵の生産全能力  
 鋼 " 一九三二年 一九三〇年

銑鐵の生産全能力	五二、五一五、八七五屯	五一、四九〇、六八〇屯	を基礎とし
鋼	六六、〇六九、五七〇屯	六二、二六五、六七〇屯	を基礎とす

一、鋼

九月の鋼塊生産高は再び減少して一九三二年九月以來の記録的低數字を現出した。八月に對する九月の減少は、七月に對する八月の減少よりも一層大である

亞米利加鐵鋼協會の發表數字に依れば平爐及轉爐鋼塊の九月の平均日産額は五九、五二三英屯を算し、僅々斯業生産能力の二八・〇二%の作業率を示せるに過ぎない。九月の合計月額は一、五四七、六〇二屯で九月迄の合計二〇、四一一、七三六屯(前年同期は三二、四〇一、九八一屯)を算し此の儘の状態で行けば本年の平爐及轉爐鋼の産額は二千六百萬屯乃至二千七百萬屯位に止まるであらう

今九月迄の生産高、作業日數及生産率を示せば次の如し

(括弧内は一九三〇年の分)

月	生産高(英屯)	作業日數	全能力に對する生産率
一月	二、四八六、六八九(三、七七八、三五〇)	三七(二七)	四・八六%(六九・八九)
二月	二、五〇一、三六六(四、〇三五、一一一)	三四(二四)	四九・〇八(八三・九八)
三月	二、九三三、五九〇(四、二五四、三三二)	三六(二六)	五二・二〇(八一・七〇)
四月	二、七三三、四七九(四、一〇九、四九二)	三六(二六)	四九・二九(七九・九五)
五月	二、五〇五、四八五(三、九八二、九二五)	三六(二七)	四五・三六(七三・六八)
六月	二、〇七五、九一〇(三、四一八、五三三)	三六(二五)	三七・五九(六六・三〇)
七月	一、八六六、一五三(二、九三三、三三〇)	三六(二六)	三四・二五(五九・一四)
八月	一、七一九、四六二(三、〇六〇、七六三)	三六(二六)	三三・一三(五九・八〇)
九月	一、五四七、六〇二(二、八四〇、三七九)	三六(二六)	二八・〇三(四九・五六)
合計	二〇、四一一、七三六(三、四〇一、九八一)	三三三(二三〇)	四二・三四(六九・四六)

備考 本表には増幅及電氣鋼塊を含ませず

二、銑鐵

九月卅日現在の操業高爐數は八月卅一日現在の七五基に對し七四基を算した。九月の銑鐵生産高は五・九パーセントを減じ日産平均三八、八二二屯で一九三二年以來の最低數字である(一九三二年の最低數字二七、八九二屯)



亞米利加鐵鋼協會發表の鑄鐵爐能力に基けば、九月の生産高は僅かに能力の二七パーセントに相當した、一九二一年七月の操業高爐數は高爐總數四三五基の内六九基であつたが一九三一年九月の操業高爐數は高爐總數三〇三基の内七四基であつた

今比較の爲め最近數ヶ月間に於ける生産高と生産率とを示せば次の如し

月	生産高(日産額)(英屯)		全能力に對する生産率	
	一九三一年	一九三〇年	一九三一年	一九三〇年
九月	三八、八二一	七五、八九三	二七・〇%	五三・八%
八月	四一、二六四	八一、四五五	二八・七	五七・八
七月	四七、一七〇	八五、一一〇	三三・七	六〇・三
六月	五四、五九九	九七、八一七	三七・九	六九・三
五月	六四、三五五	一〇四、五六四	四四・七	七四・二
四月	六六、九八六	一〇六、三七一	四六・五	七五・四

以上スチール誌一九三一年十月十二日所載

獨逸鐵鋼業税金及社會費の重荷

獨逸の鐵鋼業に於ける税金並社會費の負擔は戰前に比し昨年は殆んき七倍加した一九一三年に於ける鉄鐵

一屯當りの税金は〇・二二馬克(邦貨約十錢)及鋼一屯當り〇・三四馬克(邦貨約十六錢)であつた。昨一九三〇年に於ては税金及び傭主の仕拂ふべき病氣手当、失業救済資金一般保險金を含む社會費は鉄鐵一屯當り一・六七馬克(邦貨約七十八錢)鋼一屯當り二・七馬克(邦貨約一圓二十六錢)に増大した

昨年「フエライニグテ、シュタール、ウエルケ會社」の仕拂へる税金並社會費は一一六、四〇〇、〇〇〇馬克(邦貨約五千四百四十七萬五千二百圓)に達し同會社資本額の一割四分に相當した、然し、是等の費用を負擔せるにも拘らず會社は三二、〇〇〇、〇〇〇馬克(邦貨約千四百九十七萬六千圓)の配當を行ふことが出来た

「Hannoversche Maschinenfabrik 會社」に於ては昨年三、七〇〇、〇〇〇馬克(約百七十三萬一千六百圓)の赤字を出したがそれでも一、五五五、〇〇〇馬克(約七十二萬七千五百四十圓)の税金を仕拂はねばならなかつた。又「Borsig」會社の税金仕拂高は五、五〇〇、〇〇〇馬克(約二百五十七萬四千圓)に達し、資本の約三割一分に相當し配當不可能であつた。「Kölnindenthaler Metallwerke」會社に於ては昨年多額の損失を蒙り目下閉鎖の運命に類しつゝあつて、資本の約九%に相當する税金仕拂不能の事態に陥つて居る

以上アイアン、エーヂ、一九三一年十月一日

英米鋳力板輸出協約満了

輸出市場の割當を協定せる英米鋳力板協約は九月卅日を以て其の三ヶ年の協約期間が満了するこゝになつ



た、目下の財政状態の下に於ては協約の更新は不可能と言はれて居る、故に今や鉄力板の市場は全部解放せられ、合衆國の油罐鉄力板の使用者及び南米の消費者は英國に材料の引合を發しつつある状態になつて居る、ウェールズの諸工場に於ては、多量の鉄力板引合に對し相場を付けつつあつてボルト、タルボットの Edwardsville 鉄力板會社は閉鎖中の工場を再開するに至つた

以上アイアン、エーヂ、一九三一年十月八日

#### 露佛物々交換契約成立と歐洲事情

【倫敦十月十九日】 露佛間に物々交換契約成立せるが、露西亞は佛蘭西製造業者に對し油、ガソリン、及穀物を供給することになるであらう、然るに佛蘭西の産業及經濟状態は、之れが爲め急速に悪化しつつあつて失業の増加は購買力を減じつつあるのである。一方獨逸の財政状態も悪化一方で更に多數の勞働者が解雇されたに報ぜらる。和蘭の事情も一日に惡化の傾向にある

白耳義自由貿易の支持者は政府の保護政策に對し反對を唱へつつあるが其の理由は、白耳義の事情が他國に比し良好であるのは輸入關稅の無い爲めであるに主張して居る

亞米利加の消費者は普通寸法のウェールズ鉄力板若干を購入した、ウェールズの工場作業能率は目下約六〇%で、ロー、ポイントから一〇—一五%の増進を示した

本年九月中獨逸の鉄鐵産額は四三八、〇〇〇屯、粗鋼五九三、〇〇〇屯を算した、ジュツセルドルフのフ

エライニグテ、シュタールウエルケ會社の一九三〇—一九三一年會計年度の生産高は、鉄鐵三百三十萬屯、粗鋼三百七十萬屯を算したが前會計年度に於ては鉄鐵五百三十萬屯、粗鋼五百五十萬屯に達した

一九三〇年歴年の獨逸全生産高鉄鐵約九百六十九萬六千噸、鋼塊及鑄物一千五百五十四萬四千噸なるを以て、前記フエライニグテ、シュタール、ウエルケ會社の生産高は獨逸全生産高の約三分の一を占むるものと見らる—譯者

獨逸、バーブトワイヤー共同販賣所を米國に設置せんことを計畫

漢堡十月十日—最近數ヶ月に於て合衆國向き特に其の中央西部に引渡すべき多量の注文を引受けた白耳義及獨逸のバーブトワイヤー製造業者は、合衆國に共同販賣事務所設置を計畫中である

最近亞米利加輸入業者の手に依つて輸入されたバーブトワイヤーの販賣値段は、その價格で合衆國に於ける L. O. P 工場相場より約二割五分低廉であるが爲め當地の賣手は亞米利加關稅が早晚引上げらるゝものを見居る。製造業者直接販賣事務所の設置に依り價格を管制することが出來、隨つて亞米利加市場の相場よりいくらか引下げ得るものを見做してをる

以上、アイアン、エーヂ一九三一年十月廿二日

#### 亞米利加線材の日本賣込

【横濱九月卅日】 日本消費者の亞米利加線材買込は、その價格の屯當り一弗値引に依つて刺戟されたものであるが一方歐洲線材カルテルに於ては其の價格を二志引上げたのであつた、此の亞米利加販賣業者の



値引以來、價格は。一トで屯當り約二八弗五〇仙ミなつたが尙買手の方では屯二八弗一五仙まで値引さるるものミ見て居る、其の結果最近千二百噸乃至千三百噸の契約が成立した

以上アイアン、エーヂ一九三二年十月廿九日

鋼鐵類 値下 (ドイツ)

昭和六年十二月十九日著在ベルリン長井商務書記官電報

昭和六年十二月九日發布大統領緊急令實施の一端ミして、ドイツ國內粗鐵カルテルは昭和六年十二月十六日より、他關係鐵工所組合は昭和六年十二月一日に遡及し、夫々約一割見當の價格引下を發表、鐵鋼桿並帶鐵組合も本週中に同様引下の筈、因に丸鐵噸百十五馬克、型鐵百十二馬克半

統計

佛國に於ける石炭消費額

佛國に於ける最近六箇年間の石炭消費額は次表の如く逐年増加し一九三〇年に於ける國民一人當消費額は二・二七噸に達したり

年次	消費額	一人當消費額	消費額ニ對スル產額ノ割合%
一九一三	六三、一三四、七二四噸	一・五九	六四・六九
一九二〇	五八、七六四、九八〇	一・五一	四二・九九
一九二五	八一、八九六、三三六	一・九八	七四・五八
一九二六	八四、八六〇、一五七	二・〇四	七七・九三
一九二七	八七、六五〇、三七四	二・一〇	七五・八四
一九二八	八五、六二三、三三二	二・〇五	七六・五五
一九二九	九四、五九〇、〇三九	二・二六	七二・四二
一九三〇	九五、五六七、五〇四	二・二七	七一・四三

因に一九三〇年に於ける石炭の産額は五三、八八四、〇三五噸、同輸入額は二四、七二六、七二八噸なり

(Glückauf, 67. 1931. 1152) 燃料協會誌昭和六年十一月發行所載

一九三〇年英國に於ける選炭狀況

英國鑛山局の調査に依れば一九三〇年英國の炭鑛地方に於ける作業選炭工場數及選炭額は次表の如く全出炭額に對する割合は一九二九年の二七・六%に對し二九・八%に増加せり



イギリス  
及ウェールズ

スコット  
ランド

一九三〇年

一九二九年

計

一、選炭工場數

水 洗 法	四一六	一六七	五八三	五六二
乾式選炭法	八八	三	九一	七四
浮游選炭法	四	二	六	六
計	五〇八	一七二	六八〇	六四二

二、選炭額(單位噸)

水 洗 法	五一、九五八、九四七	一四、三二六、三七九	六六、二八五、三二六	六五、九四四、九二五
乾式選炭法	六、二一一、五一五	九三、九二三	六、三〇五、四三八	五、三三三、一九四
浮游選炭法	一〇八、五三四	一五、三四八	一一三、八八二	六三、〇七七
計	五八、二七八、九九六	一四、四三五、六五〇	七二、七一四、六四六	七一、三一、一九六
全出炭額に對する割合(%)	二七・五	四五・六	二九・八	二七・六

Iron and Coal Trade Review, 123, 1931 374

一九三〇年英國に於ける骸炭工業

英國鑛山局の調査に依れば一九三〇年に於ける骸炭工業は次表の如く前年度に比し著しく減退せり(單位噸)

噸)

年 次

一九二九年

一九三〇年

一、全骸炭爐

原料炭消費額	一九、九九二、〇九一	一七、三二九、二四八
骸炭生産額	一三、四二一、九九八	一一、五一四、〇一一
同 (粉)	六三九、〇五七	六六四、三三二

骸炭爐數(作業爐の各月平均)

副産物回收爐	七、八六〇	七、〇〇三
ビーハイブ爐	一、四〇一	一、一五三
其他	二七八	一一二
計	九、五三九	八、三六八

二、副産物回收骸炭爐

原料炭消費額	一九、〇二七、二三六	一六、五〇七、七七九
骸炭生産額	一二、八二七、三二九	一一、〇六八、七五八
同 (粉)	六一九、五六六	六五五、一〇九

因に一九三〇年に於ける副産物回收爐數七、〇〇三中の内譯は Otto-Hilgenstock 一、六四一 Koppers 一、



五〇九 Simon Carves 一、四二五 Sarnet-Solvey 七二一九 Coppée 五四四 Simplex 三三四 Huesner 二六二  
 Carl Still 一九〇 Becker 一一九 Wilputte 八八 Collin 五二一 Mackey Seymour 三〇 Cleveland 六 Kogag 三  
 其他六一にして副産物の回収行はざるものにしては Coppée 二二二なり  
 (Coll. Guard, 143 1931 815) 燃料協會誌昭和六年十一月號所載

一九三〇年英國に於ける煉炭工業

英國鑛山局の調査に依れば一九三〇年に於ける煉炭生産額及同原料炭消費額は次表の如く前年度に比し減少せり

	計	
	一九三〇年	一九二九年
一、煉炭生産額		
イ、イギリス	一、〇五三、七八二	一、一三〇、九六二
ウ、ウェールズ及モンマウス	一、〇五三、六二一	一、一三〇、九六二
ス、スコットランド	八九、三四七	一、二六五、九四一
計	二、一〇六、七五〇	二、三二七、八六四
二、原料炭消費額(單位噸)		
汽罐用炭	一五〇	九四四、八三六
汽罐用炭	九四四、八三六	九四四、九八六
家庭用炭	一四、〇一五	九、三〇〇
家庭用炭	九、三〇〇	五六、五五七
無煙炭	一六、七七一	七九、八七二
無煙炭	一六、七七一	一〇〇、七四二
計	一、一〇六、七五〇	一、二四三、八八九
計	一、一〇六、七五〇	一、二四三、八八九

英國に於ける用途別石炭消費額

最近三箇年間に於ける英國の用途別石炭消費額左の如し(單位一、〇〇〇、〇〇〇噸)

年次	一九二八	一九二九	一九三〇
瓦斯製造用	一九二八	一九二九	一九三〇
一九二八	一九二八	一九二九	一九三〇
一九二九	一九二九	一九三〇	一九三〇
一九三〇	一九三〇	一九三〇	一九三〇
發電用	九・二七	九・八四	九・六八
鐵道用	一三・〇五	一三・四一	一二・八七
船舶用	一・二四	一・三七	一・二八
製鐵用	二二・〇七	二二・四三	一八・七九
鑛山用	一三・五〇	一三・六九	一三・五一
家庭用	四〇・〇〇	四〇・〇〇	四〇・〇〇
工場用及其他	四八・九〇	五五・〇一	五三・四五
合計	一六三・八六	一七三・五〇	一六六・五八

(Tr. Coal Tr. Rev., 123 1931 329) 燃料協會誌昭和六年十一月號所載



一九三二年八月中佛蘭西の壓延鋼材產額

タイヤ	五、〇〇〇	管材	二、〇〇〇
車軸其他のフォーゼンク	六、〇〇〇	チューブ	一四、〇〇〇
軌條	二三、〇〇〇	特殊鋼棒	一二、〇〇〇
枕木	一〇、〇〇〇	マーチヤント鋼	一七一、〇〇〇
軌條取付品	三、〇〇〇	鋁力板	八、〇〇〇
ジョイスト、チヤンネル、其他の形物	六二、〇〇〇	中板及薄板	四七、〇〇〇
線材	二二、〇〇〇	厚板	二七、〇〇〇
ワイヤ	一三、〇〇〇	平鋼	四、〇〇〇
フォーブ	二〇、〇〇〇	半製品	一一三、〇〇〇

一九三二年八月中獨逸の壓延鋼材生產高

軌道材料	一九三二年八月	一九三〇年八月
平鋼及八種以上形物	三四、七二七	六八、八九二
棒及小形物	五五、五三六	六六、七二七
	一五一、八五三	一七二、一二六

一九三二年七月中合衆國鐵鋼材輸出入

(單位英屯)

厚板四・七六耗以上	一九、四六七	二五、四六六
薄板三・四・七六耗	五三、六二六	六二、七八一
薄板三耗以下	三九、〇〇八	五四、九九五
鋁力板	一一、七五六	一〇、四一五
チユール	四八、三二二	五九、八三五
鐵道車輛材料	一四、八三三	九、九四三
フォーゼンク	二五、八四二	五〇、九六六
其他の製品	八、七八四	一一、二〇三
合計	一五、二三六	一四、一六一
販賣向半製品	八、九七五	一三、五八二
	四八七、九五六	六二二、〇九二
	六一、二九七	六三、五三五

輸出

滿鐵 鐵鋼

一九三二年七月  
三三〇  
八八

一九三〇年七月  
四五三  
五四



層	一三、四六〇	一五、三七九
ブルーム、ビレット其他	三〇九	三一七
スケルプ	八、七五三	九、六九八
線材	一、七〇八	二、二六六
棒	一、八八四	四、九五三
厚板、薄板	一六、二八七	二、三、八八八
フリブ其他	一、六一〇	二、一八五
鉄力板	八、七九〇	一七、二七三
ジョイスト、ガーダー其他	八、四九三	一八、四二六
鋼軌條	三、〇八四	八、四一三
軌條取付品スキッチ其他	一、一三三	一、四七二
チューブ (Wrought)	八、一五六	一〇、六五八
可鍛パイプ用具	二六七	六八〇
素線	一、〇四九	一、八一五
棘線其他	二、四六四	四、〇〇七
ネール其他	一、三一一	一、二七七

ポルト、リベット	四三七	八二一
鑄鐵管其他	一、三一五	二、五九八
車輪及車軸	五六一	三八二
鑄物 (鐵及鋼)	六三九	一、〇八五
フオーデング	五二三	八一三
合計	八四、四六六	一三一、五八〇
輸入	一九三一年七月	一九三〇年七月
銑鐵及スポンヂ	六、一四八	九、二一四
滿俺鐵	二、九一七	五、〇二〇
フェロシリコン (シリコン容量のみ)	四七	一八七
層	二、四七一	二、三四三
ブルーム、スラブ其他	八一九	二、五〇七
線材	六八七	四八五
軌條、繼目板其他	一七七	四三六
ジョイスト、ガーダー其他	七、五七二	五、八九八
厚板、薄板	一、五〇六	一、〇五八



棒	七、六六四	四、四四〇
フープ其他	一、八六七	二、三七五
管類 (Wrot)	一、二四九	八六三
ネール、ボルト	一、二二九	六二〇
ワイヤー及ワイヤー製品	一、九四四	九〇八
鑄鐵管	六八一	一、七三四
合計	三七、一九〇	三九、〇八三
滿俺鑛石 (含滿俺量)	三八、四七〇	一五、九四〇
鐵鑛石	二二八、二〇六	二五一、〇三五
マグネサイト (Dead burned)	七六	三、八〇四
鐵	六、三一九	三七、二五四
鐵合金	一三〇	一、二八九
鋼塊	五	一、四一五
半製品、パ	五、三一八	一三九、九六七

一九三二年七月中佛蘭西鐵鋼材輸出入

(單位噸)

特殊鋼	三一九	一、二七〇
線材	二四	一、四八四
フープ	六七二	七、二二七
厚板、薄板	三、六一九	二〇、五九一
鋁力板	七三五	二、九四八
ワイヤー及ワイヤー製品	四四〇	五、六三三
軌條	八二二	三〇、五四四
車輪、車軸其他	一四一	二、〇五八
發條	一四	三三一
鑄物	四七八	一八、三四七
ジョイスト其他	一、八〇二	一六、〇六六
ネール其他	四〇一	二、八八五
チユール	一、五五〇	四、六六一
屑	四、八七一	二〇、二八一
合計	二七、六六〇	三三三、一五一
鐵鑛石	七一、七四八	一、〇五一、四六三

以上、アイアン、エンド、コール、トレード、レピウ一九三二年十月九日



一九三一年七月中白耳義及ルクセンブルグ鐵鋼材輸出入

(單位噸)

	輸 入	輸 出
褐 炭	一八、四〇五	
石 炭	七三六、七八八	五四六、九八三
假 炭	一九二、九七六	七三、一六二
ブリケット	二一、八六二	九三、八六一
滿 鐵	一八、〇一八	一、四〇一
鐵 鑛	九〇〇、二五九	二六、四七三
鑄 鐵	二四、六二一	五、六六四
鑄 物	五〇七	二、七四七
ブルーム、ピレット	六、二二一	五五、一八七
特 殊 棒	一五七	六〇四
フ ー ー プ	一一八	一三、八二六
ジョイスト其他	七二〇	四七、三四一
軌 條	三二四	六、二〇九
厚 板、薄 板	五〇六	四八、〇六三

一九三一年上半期中佛蘭西の滿鐵鑛石輸入

上半期輸入高

三〇一、二六五噸(前年上半期三五四、二八九噸)

内譯次の通り

英領印度より	九一、〇二四	アフリカの英領地より	三二、〇六八
其の他の亞細亞より	一三、八〇一	獨 逸  よ  り	一三、八八三
ブラヂルより	一、五九八	瑞  西  よ  り	二、二二四
西班牙より	一、四四三	其  他  よ  り	錢  リ
露  西  亞  よ  り	七三、三六八		

以上 アイアン、エンド、コール、トレード、レビウ一九三一年十月十六日

鉄  力  板	一、四七〇	六、六三三
ワイヤー及ワイヤー製品	七四六	二七、二六一
チ  ユ  ー  ブ	一、四〇五	一、三八八
ネール、ポルト	四三一	八、七七九
其  他	一、一四八	一〇三、二二二
屑	二一、三四〇	一五、五九三
合  計 (鐵鋼)	五九、七〇四	三四二、五〇七



品名	輸入	輸出
褐炭	一五、三六八	
石炭	八二四、〇七七	四一九、三〇一
骸炭	一八九、八三八	八五、八一八
ブリケット	二七、四四七	七六、六四六
滿俺鑛石	二二、九〇五	一一
鐵鑛石	八七八、〇六五	二八、一二三
鑄鐵物	三三、三七七	四、九三二
ブルーム、ピレット	七、七二三	一、九一〇
特殊棒	一六六	三三、七七三
フイ	九〇	一〇、二七二
ジョイスト其他	八九一	四一、九七五
軌條	四〇五	五、七六一
厚板	四三二	四六、五三八

一九三一年八月中白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出入 (單位噸)

品名	輸入		輸出	
	八月	九月	八月	九月
鉄力板	一、四七七		七、五三六	
ワイヤ	七八五		二四、五七一	
チユー	五六二		一、二五六	
ネール、ボルト	五〇〇		八、七七二	
其他	一、〇九七		九七、三〇〇	
屑	二一、六七四		一三、七〇二	
鐵鋼合計	六九、六三四		三〇三、四三〇	

品名	輸入		輸出	
	八月	九月	八月	九月
石炭	四六九、四四一	四五九、八二九	一、九八七、〇八〇	一、八八四、五九五
褐炭	一二八、〇四五	一四七、二五一	二、〇八四	二、九二一
骸炭	五九、二八九	五五、四四五	五八八、一八二	六五二、八七〇
石炭ブリケット	四、七〇六	三、三九一	六三、二三三	七八、五九九
褐炭ブリケット	四、五二〇	五、九一五	一九一、三三二	一六八、四五七

一九三一年八月及九月中獨逸の鐵鋼材輸出入 (單位噸)

以上、アイアン、エンド、コイル、トレッド、レピウ一九三一年十月二十三日



鐵鑄石	五八四、四三四	二九二、二三〇	一、六四九	一、八四六
滿僱鑄	七、四三二	八、九七八	二九八	八三
紫鑄石	四六、五五三	四七、四七〇	六五、二七〇	五九、八八九
黃鐵鑄	四七、七九三	五二、一三一	二、二二七	六、八四八
銑鐵	一〇、六一六	九、四九七	一一、八三二	一四、五三三
鐵合金	一一三	一〇二	四一〇	七六七
屑	六、四四六	六、八七五	一四、九三一	一七、二三五
鑄物	一、五四〇	一、六三四	二二、二九七	二四、五九八
ブルームビレット	六、九七八	七、八六〇	二二、七五一	二七、九七一
バー、セープ、フープ	二七、五〇五	一六、八三九	七五、三三九	一三三、一三六
厚板、薄板	六、〇一六	五、七二八	四八、二三二	五一、五三九
鋇力板	六九〇	一、六九四	二、〇〇七	六、二五七
ワイヤー	五、七二〇	五、二三四	二八、九五三	二八、〇三五
チューブ	七二六	五八七	八、二七三	一八、六三五
軌條、枕木其他	四、四四七	四、七一六	二二、五八四	一一、三三二
鐵道車輪、車軸	七三	四	二、九六八	三、九九八

一九三二年八月中佛蘭西の鐵鋼材輸出入 (單位噸)

フォーディング	一、六八八	一、〇七〇	一八、九〇一	二〇、四二五
建築材料、ガーダー其他	一一二	三三二	三、六八四	四、六〇四
鐵道材料	一一、二二二	八〇四	二、〇三七	一、四九二
ボルト、リベット	八四	五〇	一、七九三	一、六六〇
ワイヤー製品	四一	七〇	六、七三三	六、九三二
ネール其他	五〇	二七	五、六六七	五、一〇九
其他	三六二	三九四	八、一八六	一〇、六一六
鐵鋼合計	七四、四五九	六三、五〇七	三〇六、五七八	三八九、八六四
機械及部分品	二、〇四九	一、五四九	四三、九三四	四八、六六三
銑鐵及スピゲル		五、七九五		四一、三三八
鐵合金		一五〇		一、二六九
鋼塊		六六二		六、九九六
半製品、バー		七、五九三		一六四、三九四
特殊鋼		三三三		一一〇三



線材	七八	一四、二四七
フ	五九二	七、二四三
厚板、薄板	三、四〇〇	二二、九七一
鋁力板	六四二	一、七三二
ワイヤー及ワイヤー製品	三一六	六、六八九
軌條	四二四	一四、七二二
車輪車軸其他	二〇六	七三八
發條	五	一三八
鑄物	三二七	一八、四一九
ジョイスト其他	一、五四四	一〇、二四二
ネール其他	二九二	三、九七一
チユールプ	一、二七〇	四、五四三
屑	五、六七二	三二、七五六
合計	二九、三〇一	三五一、五九一
鐵鑛石	四七、八三五	九三九、四七〇

一九三一年八月中合衆國鐵鋼材輸出入

(單位英噸)

輸出	一九三一年八月	一九三〇年八月
銑鐵	八九一	七六五
滿庵鐵	六八	一、〇〇六
屑	一〇、四二四	一九、六三〇
ブルーム、ピレット其他	一四三	一六五
スケルプ	二、五〇三	七、九二五
線材	二、一六七	三、一七九
厚板、薄板	二、二〇七	五、四六九
亞鉛引薄板	一三、八五六	一四、二四六
フープ其他	三、一九四	五、七八四
鋁力板	一、八一	二、一九四
ジョイスト、ガーダー其他	九、九〇〇	二〇、九二七
鋼軌條	二、三九二	一八、八四七
軌條取付品、スキツチ其他	六一〇	一八、二九八
チユールプ (Wrought)	七、一三八	二、四〇九
		一四、〇八七



可鍛パイプ用具	二五五	七二五
素線	一、四一七	一、七〇八
棘線 其他	二、五六〇	二、六四七
ネール 其他	八八三	一、二七五
ボルト、リベット	四〇一	七五八
鑄鐵管 其他	一、三〇八	一、八五六
車輪 車軸	四二三	一、〇四七
鑄物(鐵及鋼)	六〇一	一、二六二
フオーヂング	四一六	七二二
合計	七三、三三八	一五〇、九二二
輸入		
銑鐵	三、一二二	八、七四七
滿俺鐵	二、二九五	二、二三六
フェロシリコン(シリコン容量のみ)	一	八四
屑	三、〇九四	一、五一一
ブルーム、スラブ其他	九〇三	一、二九五

線材	三三三三	三一七
軌條、曬目板其他	一七二	二、一三九
ジョイスト、ガーダー其他	五、六五〇	四、七九八
厚板、薄板	六三六	二、九三二
パイプ 其他	七、四五四	四、六二六
管類 (W rods)	一、九四六	一、七三四
ネール、ボルト其他	一、二二三	二、六三四
ワイヤー及ワイヤー製品	一、三四二	六四八
鑄鐵管	一、三一四	九九七
合計	一四九	二八
滿俺鑛石(含滿俺量)	三〇、一三九	三五、四〇五
鐵鑛石	二二、〇五二	七、七七一
マクネサイト (dead burned)	九一、九〇八	一七八、一七一
	四九六	三、五六三

以上アイアン、エンド、コイル、トレード、レビウ一九三一年十月三十日

一九三二年九月中獨逸の壓延鋼材生産高

(單位噸)



軌道材料	一九三一年九月 五九、一四九	一九三〇年九月 八一、九三六
平鋼及八種以上形物	二九、二五六	五七、二五九
棒及小形物	一一七、四二〇	一四七、四六六
フ	二一、二七一	二六、七七二
線材	四四、七〇九	六〇、二二〇
厚板四・七六耗以上	三四、六六〇	四四、八二二
薄板三・四・七六耗	一四、九四二	一〇、九八六
〃 三耗以下	四一、五五四	五八、一三七
鋁力板	一三、〇〇二	八、七九〇
チユーブ	二七、九四五	四七、四五一
鐵道車輛材料	九、八八八	一〇、七二六
フオーヂング	一五、〇二〇	一一、九〇三
其他製品	一一、一七〇	一〇、六〇〇
合計	四四〇、九七六	五七八、〇四八
販賣向半製品	五六、五四四	五七、六八二

一九三一年九月迄九ヶ月中瑞典の鐵鋼統計

(單位噸)

統計

生産高	一九三〇年	一九三一年
銑鐵(直接鑄物を含む)	三四二、〇〇〇	三〇八、三〇〇
鍊鐵	二〇、一〇〇	九、〇〇〇
轉爐鋼塊(酸性)	八、五〇〇	四、四〇〇
〃 (鹽基性)	五五、七〇〇	五三、九〇〇
平爐鋼塊	三〇四、八〇〇	二五一、五〇〇
坩堝鋼塊	八〇〇	五〇〇
電氣爐鋼塊	八五、八〇〇	八一、五〇〇
壓延並鍛鍊鐵鋼	三三〇、四〇〇	二九四、八〇〇
輸入		
銑鐵	六五、一二九	四一、一二三
鐵合金	三二七	六六
滿俺其他	一、五七九	一、九八八
屑	一一三、九七一	三六、二〇八
壓延棒、形其他	一一二、三三四	一一七、六九六



品目  
 襦 炭  
 石 炭  
 骸 炭  
 ブリケット  
 滿庵鑛石  
 鐵鑛石

輸 入  
 一六、八三一  
 九〇九、八三七  
 一八六、五四三  
 二八、一八四  
 一〇、三八〇  
 九六九、八四五

輸 出  
 五  
 四二五、四六六  
 九〇、九四七  
 七一、〇六五  
 三〇、八九九

一九三二年九月中白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出入 (單位越)

以上アイアン、エンド、コイル、トレッド、レピウ一九三二年十一月十三日

線材  
 薄板  
 チューブ  
 ワイヤル  
 ネール  
 合 計  
 鐵 石

一三、八七三  
 一、二八〇  
 六、二一〇  
 一、三八六  
 二、九五七  
 一四七、四四七  
 七、七四一、七七九

一七、二〇九  
 六〇九  
 八、九一五  
 二、一〇二  
 四、〇五一  
 一一三、〇八九  
 三、四二三、二七二

輸 出  
 線材  
 軌條  
 鐵力板  
 厚板、薄板  
 棒  
 鑄鐵管  
 鍊鐵管  
 合 計  
 銑 鐵  
 鐵 合 金  
 スポンヂ鐵  
 屑  
 インゴット、ピレット其他  
 管 材  
 パ 材

一七、三八六  
 一〇、六五五  
 九、一四三  
 七〇、三八三  
 三、四六七  
 一八、四七三  
 一九、九〇九  
 三六二、七四六

一三、六四五  
 八、三〇〇  
 八、九〇七  
 四九、五六八  
 二、七九六  
 二〇、〇二六  
 一一、六九八  
 三二二、〇二一

二九、二一〇  
 七、八一二  
 五、四七〇  
 三、九七九  
 七、六〇〇  
 八、八四五  
 二六、三八七



	一九三一年九月	一九三〇年九月
輸出	六六八	八三三
銑 鐵	三六	七三
滿 庵 鐵	一〇、〇〇〇	八、三九四
屑	九五〇	二五六
ブルーム、ビレット	三、五七七	一一、九五九
スケルブ	二、六七五	一、二八八
線 材	二、一三五	四、三九七
厚板、薄板	九、三九六	一七、二七五
亞鉛引薄板	三、〇九一	五、四八七
フ 1 プ	一、〇九八	二、六〇九
鋇 力 板	七、二三六	二一、四〇二
ジョイスト、ガーダー其他	一〇、五五四	二一、三四二
鋼 軌 條	一、五七六	六、五二六
軌條附屬品、スキツチ其他	三〇七	一、二二六
チユープ (Wrot)	九、五七七	一〇、一九一

	一九三一年九月	一九三〇年九月
銑 鐵	二五、六九二	三、二一八
鑄 物	六一二	二、六八二
ブルーム、ビレット	六、一一三	四九、五一九
特 殊 棒	一六八	一、六五八
フ 1 プ	一九五	一三、四三六
ジョイスト其他	七七一	四二、九八八
軌 條	七五一	一〇、〇九一
厚板、薄板	五二八	四六、四七二
鋇 力 板	一、一六四	五、四五四
ワイヤ	八七六	二二、三四五
チユープ	九一四	六三〇
釘、ボルト	四七〇	九、三六三
其他	一、一七〇	一〇〇、四八九
屑	二五、六一六	一七、七五七
鐵鋼合計	六五、〇四〇	三二七、一〇二

一九三一年九月中合衆國の鐵鋼材輸出入

(單位英噸)



可鍛パイプ取付品	二一八	七二〇
素線	八三五	一、四七四
棘線	一、二七一	四、一四二
釘 其他	六一一	一、二七四
ボルト、リベット	二七二	六五九
鑄鐵管	一、一四四	二、一五二
車輪 車軸	五二三	一、三七一
鑄物(鐵及鋼)	三四五	八九七
フオーヂング	五三三	二九四
合計(掲ゲザルモノヲ含ム)	六九、七六八	一三三、〇四五
輸入		
銑鐵及スポンヂ	五、一〇五	一〇、三三一
フエロマンガン(含滿)	九七六	二、二六五
及スピリゲル(掩量)		
フェロシリコン(シリコン容量ノミ)	二二二	四
屑	七四六	二、一三三
ブルーム、スラブ其他	一、六六一	三、二一八

線材	五九三	四〇〇
軌條、繼目板其他	三〇三	二、二二一
ジョイスト、ガーダー其他	五、二六八	六、五三七
厚板、薄板	一、八五三	七八八
パイプ	八、四〇四	六、三六〇
管類(W.rod)	二、八五七	二、九一六
釘、ボルト其他	一、一一一	一、三一八
ワイヤー及ワイヤー製品	五〇三	四五一
鑄鐵管	八二四	七六一
鑄鐵管	二二六	三五一
合計(掲ゲザルモノヲ含ム)	三〇、九六六	四〇、二八五
滿掩鑄石	二六、六三〇	二一、五七一
鐵鑄石	九九、一二四	二二五、四九三
マグネサイト(Dead burned)	一	五、三〇二

一九三二年九月中佛蘭西鐵鋼材輸出入

(單位題)



品目	輸入	輸出
銑鐵及スピゲル	六、〇一七	二六、七五八
鐵合金	一八〇	一、二〇九
鋼塊	三七〇	九、四七九
半製品、パイ	八、六五七	一五一、七九五
特殊鋼	三四七	二九二
線材	一三三三	一一、五九一
フープ	五一九	九、八九一
厚板、薄板	六、七一八	二一、一八四
鋁力板	七五四	三、七七二
ワイヤー及ワイヤー製品	四八八	三、七五八
軌條	一〇〇	一三、九三一
車輪車軸	二〇五	八七七
發條	六	三〇二
鑄物	三一一	一一、六〇九
ジョイスト其他	二、八一八	一六、二四五

一九三二年九月中佛蘭西の壓延鋼材産額

(單位噸)

釘其他	二三四	三、三五九
チユーブ	一、二五九	三、〇三〇
屑	四、四一〇	二九、四七六
合計	三三、五二六	三一八、五五八
鐵鑛石	八九、四七四	一、〇三八、四七八
タイヤ	四、〇〇〇	六、〇〇〇
車軸其他のフォーデング	五、〇〇〇	一五、〇〇〇
軌條	二九、〇〇〇	一一、〇〇〇
枕木	一一、〇〇〇	一七五、〇〇〇
軌條附屬品	三、〇〇〇	九、〇〇〇
ジョイスト其他	五七、〇〇〇	四七、〇〇〇
線材	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇
ワイヤ	一三、〇〇〇	五、〇〇〇
フープ	二〇、〇〇〇	二七、〇〇〇
管材	四、〇〇〇	六、〇〇〇
管	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
特殊棒鋼	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇
マーチヤントパイ	一七五、〇〇〇	一七五、〇〇〇
鋁力板	九、〇〇〇	九、〇〇〇
厚板	四七、〇〇〇	四七、〇〇〇
中板及薄板	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇
平鋼	五、〇〇〇	五、〇〇〇
販賣用半製品	二二七、〇〇〇	二二七、〇〇〇

以上アイアン、エンド、コイル、トレード、レビウ一九三二年十一月二十七日



一九三〇年中獨逸の鐵鑛石生産高

一九三〇年の獨逸鐵鑛石の産額は五、七四〇、〇〇〇噸其の含鐵量一、八四五、〇〇〇噸であつた。比較の爲最近三ヶ年の生産高を示せば次の如し

一九三〇年	五、七四〇、〇〇〇
一九二九年	六、三七四、〇〇〇
一九二八年	二、〇八〇、〇〇〇

一九三一年九月迄の佛蘭西滿俺鑛石輸入高

自一月至九月滿俺鑛石の輸入高は合計四〇二、〇〇四噸（前年同期五二八、六九一噸）に達した、其の資源別輸入高次の如し

英領印度より	一一四、二〇六
其他の亞細亞諸國	二八、〇七一
ブラヂル	一、五九八
西班牙	一、四五八
露西亞	一〇四、五四三
亞弗利加の英領地	三二、〇七〇

獨逸	二四、七六七
瑞西	二、八七九
其他	殘額

一九三一年上半期ルクセンブルクの鐵鑛石生産高

ルクセンブルク一九三一年上半期の鐵鑛石産額は前年同期の三、五七九、四一四噸に比し二、五二一、一六六噸に減じた

以上アイアン、エンド、コール、トレード、レビウ一九三一年十二月四日

一九三〇年中露西亞鐵鋼輸出入

輸入	一九三〇年	一九二九年
石炭及骸炭	六三、六三一	六六、〇四六
粗鋼及半製鐵鋼	六〇七、三三三	二九〇、五三一
鐵鋼製品	一三六、五五五	七三、一六五
輸出		
滿俺鑛石	七五四、二〇一	一、〇三七、一二二



	輸入	輸出
褐炭	一三、四五三	一七四
石炭	八三九、一七〇	四五〇、八〇六
骸炭	一六二、八九七	九三、三七五
ブリケット	一六、六七三	七五、八五八
滿庵鑛石	一一、三六〇	二一
鐵鑛石	九〇四、三九六	三六、七二九
銑鐵	二七、九一二	二、六六〇
鑄物	五九八	二、二〇二
ブルーム、ピレット	二、九六四	五二、五六五
特殊バ	二二二	五七四
フ	一二六	一八、四〇六
ジョイスト其他	九七五	四〇、〇八一
軌條	五一	九、〇四五
厚板、薄板	五二九	四六、二七四

一九三二年十月中白耳義及ルクセンブルクの鐵鋼材輸出入 (單位延)

	輸入	輸出
鉄力板	一、三一一	四、三一九
ワイヤ	八七二	二二、七二四
チユ	八八一	七〇五
ネール、ボルト	六〇二	八、六二三
其他	一、四四二	九三、五八七
屑	二〇、九五四	一八、四三〇
合計 (鐵鋼)	五九、八九九	三三二、一九五

一九三二年十月中獨逸の鐵鋼材輸出入 (單位延)

	輸入	輸出
石炭	五二五、三八一	一、九九九、五〇九
褐炭	一〇一、六七六	三、八一六
骸炭	七五、六三五	六二七、二九三
石炭ブリケット	七、〇六一	七三、七九六
褐炭ブリケット	九、〇二三	一九九、六三三
鐵鑛石	一一三九、五六七	一、七八三
滿庵鑛石	三四、三一〇	三〇四



紫鐵石	六〇、八八二	四四、〇二〇
黃鐵	六五、二七五	五、九二八
銑鐵	九、八八〇	一一、六八〇
鐵合金	七四	五三四
鑄物	三、〇一〇	三一、一四二
肩	一、六一一	二一、六二一
ブルーム、ビレット	二、四八六	三四、七八五
バー、セーブ、フープ	一六、六八五	一一五、五〇五
厚板、薄板	五、九六〇	五二、〇七九
鋇力板	一、七一四	七、五八五
ワイヤ	四、六八五	二六、八六一
チューブ	四三六	二七、一三〇
軌條、枕木等	四、三九四	二四、三五三
鐵道車輪車軸	六	六、七六九
フオーゼンダ	八一八	二二、〇五八
建築材料、ガーダー其他	一五八	四、五四二
鐵道材料	六七一	二、一四〇

一九三二年十月中獨逸の壓延鋼材生産高

(單位噸)

ボルト、リベット	六九	二、〇一八
ワイヤー製品	七九	六、三六一
ネール其他	三五	四、八六四
其他	三六七	八、七九〇
鐵鋼合計	五三、一三八	四二、一八七
機械及部分品	一、七六六	五、二六一
軌道材料	一九三二年十月	一九三〇年十月
ユニバーサル平鋼及八種以上形物	七六、三三三	七九、九一五
バー及小形物	二二、六六八	六五、〇三七
フープ	八九、四四八	一七二、九九三
線材	二〇、一八一	二六、六六一
厚板四・七六耗以上	五二、一五七	六〇、五二七
薄板三・四・七六耗	二九、四六〇	五二、〇三四
三耗以下	一一、一六五	一一、〇五二
鋇力板	四一、六四八	五六、八七四
	一〇、〇三四	八、〇五八







製鐵所並民間製鐵會社鐵鋼材生産高月別表

單位 延

附表

製鐵所	年月	普通鋼			半製品			普通鋼 壓延鋼材											
		銑鐵	鋼塊	鑄鋼	計	販賣向 鋼	販賣向 延片	販賣向 シート	販賣向 スケル プ	計	鋼板		棒鋼	形鋼	軌條	ワイヤ ロッド	鋼管	其他	計
											厚0.7 以下	其他							
製鐵所	昭和二年月平均	58,524	87,326	220	87,546	5,638	81	.....	5,719	1,710	12,555	13,640	11,821	14,535	1,845	.....	3,196	59,303	
	昭和三年 "	69,741	91,087	307	91,394	4,446	623	.....	5,069	2,340	13,499	15,094	13,493	17,140	1,564	.....	3,889	67,019	
	昭和四年 "	65,614	109,476	346	109,822	7,755	537	.....	8,292	3,836	15,025	17,158	13,425	23,095	5,147	.....	884	78,570	
	昭和五年 "	72,109	107,438	351	107,789	6,139	65	.....	6,204	4,219	14,279	12,386	12,872	24,353	6,347	.....	699	75,155	
	昭和六年 1月	55,656	58,893	285	59,178	2,880	7,429	.....	10,309	4,912	6,837	6,399	11,660	11,506	7,545	.....	388	49,247	
	2月	47,414	66,254	266	66,520	2,044	7,007	59	9,110	5,016	9,742	6,298	11,636	13,410	7,334	.....	473	53,909	
	3月	54,406	73,077	203	73,280	5,015	3,378	71	8,464	5,798	14,604	8,176	11,659	7,147	9,248	.....	350	56,982	
	4月	52,736	73,344	178	73,522	4,791	3,093	258	8,142	5,496	14,531	7,824	15,397	5,817	8,207	.....	473	57,745	
	5月	54,567	76,868	335	77,203	6,187	5,045	2,026	13,258	5,363	14,513	4,190	14,256	8,182	8,332	.....	374	55,210	
	6月	53,408	84,972	515	85,487	7,042	5,725	1,567	14,334	5,143	12,165	4,900	10,955	9,283	8,060	.....	1,604	52,110	
	7月	54,029	78,869	554	79,423	3,542	6,584	1,182	11,308	5,286	11,271	6,656	9,988	8,699	8,065	.....	372	50,337	
	8月	55,335	78,704	328	79,032	4,068	13,926	549	18,543	4,636	8,351	8,976	8,084	8,087	4,933	.....	958	44,025	
	9月	53,334	88,050	397	88,447	3,763	9,377	1,809	14,949	5,356	10,352	7,851	8,362	13,181	6,116	.....	1,236	52,454	
10月	52,644	90,144	547	90,691	4,785	10,273	1,119	16,177	6,174	7,187	12,266	10,967	11,981	9,826	.....	362	58,763		
11月	53,719	80,329	436	80,765	5,470	6,636	1,102	13,208	5,830	5,737	9,599	5,532	5,919	8,427	.....	508	41,552		
12月	53,285	78,693	407	79,100	4,153	8,144	1,900	14,197	5,857	6,684	12,096	8,416	3,322	9,552	.....	1,048	46,975		
計	640,533	928,197	4,451	932,648	53,740	86,617	11,642	151,999	64,867	121,974	95,231	126,912	106,534	95,645	.....	8,146	619,309		
民間製鐵所	昭和二年月平均	15,162	46,433	2,191	48,624	28	255	.....	283	5,446	8,994	23,965	5,505	345	450	4,193	1,832	50,730	
	昭和三年 "	19,998	60,365	3,829	64,194	15	.....	.....	15	6,435	12,913	30,493	7,865	341	568	5,626	1,835	66,076	
	昭和四年 "	23,201	76,934	3,779	80,731	54	.....	.....	54	12,270	14,913	34,341	8,226	132	502	6,544	1,455	78,383	
	昭和五年 "	23,955	75,126	2,746	77,872	60	630	.....	690	14,424	13,191	24,302	7,789	261	3,773	7,288	1,331	72,362	
	昭和六年 1月	22,006	52,036	1,727	53,763	.....	1,370	.....	1,370	12,825	8,142	17,792	3,391	38	6,331	4,572	735	53,826	
	2月	21,904	67,553	1,615	69,169	62	37	.....	99	16,246	13,224	20,846	4,450	142	6,581	4,373	523	66,385	
	3月	23,124	68,351	2,259	70,610	108	27	.....	135	14,990	14,353	23,779	5,032	.....	6,378	4,781	686	69,999	
	4月	22,825	77,848	2,570	80,418	55	.....	.....	55	17,949	15,160	24,872	7,223	262	7,059	4,972	1,390	78,887	
	5月	24,589	82,293	2,660	84,953	14	.....	.....	14	18,257	13,628	26,338	8,366	.....	7,279	5,239	1,225	80,342	
	6月	23,611	81,846	2,263	84,109	.....	.....	.....	.....	16,087	11,891	26,162	6,785	212	7,193	5,394	1,551	75,275	
	7月	24,295	72,838	2,406	75,244	120	.....	.....	120	14,673	10,752	26,441	4,361	741	6,857	5,135	1,324	70,284	
	8月	22,889	67,882	2,407	70,289	25	.....	.....	25	13,988	11,154	24,402	5,316	591	5,793	4,726	1,767	67,737	
	9月	23,107	77,158	2,046	79,204	250	.....	.....	250	16,096	12,191	27,904	4,456	226	6,719	5,118	1,232	73,942	
10月	24,667	78,799	2,321	81,120	.....	.....	.....	.....	17,984	13,925	29,485	5,519	159	7,759	5,847	1,335	82,013		

備考 本表中には満鮮を含まず 製鐵所の管理下にある東洋製鐵會社並九州製鐵會社の生産高は製鐵所に含む

鮮滿の十月迄の合計銑鐵生産額 426,830 延

製鐵所	年月	銑鐵	鋼塊	鑄鋼	計	販賣向 鋼	販賣向 延片	販賣向 シート	販賣向 スケル プ	計	鋼板 厚0.7 以下	鋼板 其他	棒鋼	形鋼	軌條	ワイヤ ロッド	鋼管	其他	計
製鐵所	昭和二年月平均	58,524	87,326	220	87,546	5,638	81	.....	5,719	1,710	12,555	13,640	11,821	14,535	1,845	.....	3,196	59,303	
民間製鐵所	昭和二年月平均	15,162	46,433	2,191	48,624	28	255	.....	283	5,446	8,994	23,965	5,505	345	450	4,193	1,832	50,730	

一九三一年十月中佛蘭西壓延鋼材生産高

(單位延)

以上アイアン、エンド、コイル、トレード、レビウ一九三二年十二月二十五日

製鐵所	年月	銑鐵	鋼塊	鑄鋼	計	販賣向 鋼	販賣向 延片	販賣向 シート	販賣向 スケル プ	計	鋼板 厚0.7 以下	鋼板 其他	棒鋼	形鋼	軌條	ワイヤ ロッド	鋼管	其他	計
製鐵所	昭和二年月平均	58,524	87,326	220	87,546	5,638	81	.....	5,719	1,710	12,555	13,640	11,821	14,535	1,845	.....	3,196	59,303	
民間製鐵所	昭和二年月平均	15,162	46,433	2,191	48,624	28	255	.....	283	5,446	8,994	23,965	5,505	345	450	4,193	1,832	50,730	











林業調査報告書

調査年度	調査地域	調査内容	調査結果	高生産率 = 輸入高 算出率 %
昭和10年	...	...	...	32
昭和11年	...	...	...	41
昭和12年	...	...	...	56
昭和13年	...	...	...	37
昭和14年	...	...	...	44
昭和15年	...	...	...	50
昭和16年	...	...	...	54
昭和17年	...	...	...	60
昭和18年	...	...	...	58
昭和19年	...	...	...	58
昭和20年	...	...	...	60
昭和21年	...	...	...	61

Iron and Steel Trade Review

調査年度	調査地域	調査内容	調査結果	高生産率 = 輸入高 算出率 %
昭和10年	...	...	...	32
昭和11年	...	...	...	41
昭和12年	...	...	...	56
昭和13年	...	...	...	37
昭和14年	...	...	...	44
昭和15年	...	...	...	50
昭和16年	...	...	...	54
昭和17年	...	...	...	60
昭和18年	...	...	...	58
昭和19年	...	...	...	58
昭和20年	...	...	...	60
昭和21年	...	...	...	61

昭和21年...  
 昭和22年...  
 昭和23年...  
 昭和24年...  
 昭和25年...  
 昭和26年...  
 昭和27年...  
 昭和28年...  
 昭和29年...  
 昭和30年...



最近三ヶ年ニ於ケル英國鐵鋼材輸出入、鋼塊生産高調 (本表ハ英國製鋼業保護問題ニ關スル論  
文ノ附表、鋼材輸入高ノ漸増ヲ指示ス)

	鐵 鋼 輸 出 入		鋼 材 輸 入 高			鋼材輸入高ヲ 鋼塊ニ換算高 (鋼材歩留80%)	英 國 ノ 鋼 塊 生 産 高	鋼塊換算輸入高 ノ鋼塊生産高ニ 對スル百分比
	輸 出 高	輸 入 高	ビレット及 シートバー	鋼 製 品	合 計			
	英屯	英屯	英屯	英屯	英屯	英屯	英屯	%
1929年	4,379,541	2,822,282	991,300	1,479,000	2,470,300	3,100,000	9,636,200	32
1930年	3,157,925	2,908,347	1,089,200	1,330,800	2,420,000	3,000,000	7,298,500	41
1931年								
一 月	167,370	227,870	87,300	92,700	180,000	225,000	402,200	56
二 月	143,520	181,090	54,400	91,300	145,700	182,000	486,400	37
三 月	170,290	214,790	85,400	91,200	176,600	220,000	500,100	44
四 月	180,860	193,390	75,100	84,700	159,800	190,000	397,400	50
五 月	167,540	227,750	98,200	91,900	190,100	237,000	435,100	54
六 月	162,620	246,330	120,600	85,901	206,500	258,000	428,900	60
七 月	168,330	231,010	107,200	93,100	200,300	250,000	428,700	58
八 月	144,120	201,920	87,100	80,700	167,800	209,000	357,300	58
九 月	139,170	220,280	108,000	87,000	195,000	243,000	400,500	60
十 月	158,810	275,700	131,200	103,600	234,800	293,000	457,400	64



WORLD TOTAL

Country	1928	1929	1930	1931	1932
Belgium & Luxembourg	1,422,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000
France	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000
Germany	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000
Canada	722,000	722,000	722,000	722,000	722,000
Great Britain	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000
United States	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
WORLD TOTAL	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000

WORLD TOTAL

Country	1928	1929	1930	1931	1932
Belgium & Luxembourg	1,422,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000
France	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000
Germany	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000
Canada	722,000	722,000	722,000	722,000	722,000
Great Britain	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000
United States	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
WORLD TOTAL	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000

WORLD TOTAL

Country	1928	1929	1930	1931	1932
Belgium & Luxembourg	1,422,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000
France	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000
Germany	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000
Canada	722,000	722,000	722,000	722,000	722,000
Great Britain	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000
United States	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
WORLD TOTAL	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000

\* Includes the West and Luxembourg; Belgium only; French only; Dutch only; etc.

WORLD TOTAL

Country	1928	1929	1930	1931	1932
Belgium & Luxembourg	1,422,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000
France	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000
Germany	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000
Canada	722,000	722,000	722,000	722,000	722,000
Great Britain	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000
United States	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
WORLD TOTAL	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000

WORLD TOTAL

Country	1928	1929	1930	1931	1932
Belgium & Luxembourg	1,422,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000	1,445,000
France	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000	1,112,000
Germany	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000	1,072,000
Canada	722,000	722,000	722,000	722,000	722,000
Great Britain	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000	1,870,000
United States	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
WORLD TOTAL	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000	13,900,000

Iron and Coal Trades Review Dec 4 1932



### 世界鋼塊及鑄物生產高表

Gross Tons

	1931	1930	1929	1928	1927	1926	1925	1924	1923	1913
United States.....	25,597,000	40,278,000	55,650,000	50,887,000	44,935,000	48,294,000	45,394,000	37,932,000	44,944,000	31,301,000
Canada.....	725,000	1,004,000	1,391,000	1,240,000	907,000	782,000	756,000	661,000	884,000	1,043,000
Great Britain.....	5,300,000	7,299,000	9,636,000	8,520,000	9,099,000	3,596,000	7,385,000	8,201,000	8,482,000	7,664,000
France.....	7,850,000	9,296,000	9,544,000	9,348,000	8,173,000	8,295,000	7,327,000	6,791,000	5,029,000	4,614,000
Belgium.....	3,110,000	3,321,000	4,066,000	3,872,000	3,645,000	3,320,000	2,508,000	2,829,000	2,260,000	2,428,000
Luxemburg.....	2,035,000	2,234,000	2,659,000	2,526,000	2,431,000	2,208,000	2,053,000	1,857,000	1,182,000	919,000
Italy.....	1,455,000	1,746,000	2,109,000	1,932,000	1,570,000	1,752,000	1,757,000	1,337,000	1,124,000	238,000
Spain.....	700,000	860,000	985,000	770,000	653,000	598,000	616,000	531,000	456,000	582,000
Sweden.....	510,000	601,000	683,000	567,000	491,000	487,000	467,000	493,000	267,000	18,632,000
Germany.....	8,380,000	11,354,000	15,986,000	14,285,000	16,050,000	12,145,000	12,000,000	9,678,000	6,204,000	2,585,000
Austria.....	370,000	461,000	622,000	626,000	551,000	473,000	462,000	371,000	500,000	984,000
Czechia.....	1,600,000	1,795,000	2,103,000	1,704,000	1,662,000	1,316,000	1,476,000	1,200,000	1,114,000	.....
Poland.....	1,145,000	1,217,000	1,355,000	1,226,000	1,226,000	775,000	779,000	667,000	1,114,000	.....
Hungary.....	240,000	363,000	505,000	478,000	464,000	320,000	227,000	235,000	278,000	.....
Russia.....	5,000,000	5,550,000	4,828,000	4,206,000	4,150,000	3,087,000	2,087,000	1,122,000	713,000	4,181,000
Japan.....	1,800,000	2,203,000	2,249,000	1,840,000	1,658,000	1,475,000	1,279,000	1,106,000	973,000	300,000
India.....	610,000	620,000	575,000	410,000	575,000	520,000	449,000	335,000	215,000	.....
Australia.....	360,000	420,000	460,000	462,000	466,000	338,000	351,000	306,000	200,000	.....
Saar.....	1,575,000	1,905,000	2,174,000	2,040,000	1,865,000	1,709,000	1,554,000	1,423,000	981,000	.....
Miscellaneous.....	300,000	350,000	400,000	350,000	305,000	175,000	275,000	225,000	225,000	200,000
<b>WORLD TOTAL</b> .....	<b>68,662,000</b>	<b>92,877,000</b>	<b>117,980,000</b>	<b>107,477,000</b>	<b>100,876,000</b>	<b>91,898,000</b>	<b>89,202,000</b>	<b>77,300,000</b>	<b>77,015,000</b>	<b>74,687,000</b>

German figures in 1913 are for pre-war territory. Austrian figures in 1913 include the major portion of Czechia and Hungary. Japan's figures include Manchuria and Korea.

### 世界銑鐵生產高表

Gross Tons

	1931	1930	1929	1928	1927	1926	1925	1924	1923	1913
United States.....	18,383,000	31,441,000	42,270,000	37,832,000	36,289,000	39,101,000	36,370,000	31,077,000	40,026,000	30,653,000
Canada.....	520,000	812,000	1,160,000	1,083,000	760,000	795,000	596,000	619,000	909,000	1,015,000
Great Britain.....	3,750,000	6,197,000	7,589,000	6,611,000	7,294,000	2,458,000	6,262,000	7,307,000	7,440,000	10,260,000
France.....	8,230,000	9,874,000	10,198,000	9,821,000	9,125,000	9,281,000	8,358,000	7,570,000	5,346,000	5,126,000
Belgium.....	3,215,000	3,340,000	4,030,000	3,843,000	3,692,000	3,345,000	2,501,000	2,798,000	2,114,000	2,445,000
Luxemburg.....	2,050,000	2,434,000	2,860,000	2,726,000	2,688,000	2,472,000	2,325,000	2,123,000	1,384,000	.....
Italy.....	535,000	569,000	718,000	545,000	487,000	505,000	474,000	299,000	232,000	420,000
Spain.....	500,000	600,000	740,000	552,000	603,000	479,000	520,000	489,000	394,000	418,000
Sweden.....	430,000	485,000	516,000	431,000	448,000	493,000	455,000	526,000	297,000	730,000
Germany.....	6,050,000	9,540,000	13,187,000	11,615,000	12,893,000	9,490,000	10,014,000	7,687,000	4,857,000	19,000,000
Austria.....	150,000	282,000	455,000	451,000	428,000	328,000	374,000	263,000	337,000	2,344,000
Czechia.....	1,200,000	1,414,000	1,618,000	1,544,000	1,241,000	1,071,000	1,147,000	967,000	804,000	.....
Poland.....	370,000	470,000	693,000	673,000	607,000	322,000	310,000	331,000	512,000	.....
Hungary.....	175,000	253,000	362,000	281,000	294,000	185,000	92,000	114,000	123,000	.....
Russia.....	4,700,000	4,933,000	4,253,000	3,322,000	3,290,000	2,395,000	1,521,000	746,000	379,000	4,563,000
Japan.....	1,400,000	1,628,000	1,491,000	1,520,000	1,263,000	1,160,000	917,000	820,000	796,000	236,000
India.....	1,150,000	1,180,000	1,348,000	1,055,000	1,145,000	902,000	888,000	877,000	614,000	204,000
Australia.....	380,000	450,000	420,000	410,000	550,000	442,000	439,000	416,000	330,000	47,000
Saar.....	1,525,000	1,885,000	2,071,000	1,905,000	1,743,000	1,599,000	1,427,000	1,367,000	1,005,000	339,000
Miscellaneous.....	600,000	700,000	750,000	850,000	750,000	750,000	680,000	450,000	285,000	.....
<b>WORLD TOTAL</b> .....	<b>55,312,000</b>	<b>78,485,000</b>	<b>96,729,000</b>	<b>87,070,000</b>	<b>85,590,000</b>	<b>77,573,000</b>	<b>75,670,000</b>	<b>66,801,000</b>	<b>68,184,000</b>	<b>77,714,000</b>

German figures in 1913 are for pre-war territory. Austrian figures in 1913 include the major portion of Czechia and Hungary. Japan's figures include Manchuria and Korea.

### 主要國鐵鋼輸出入表

Country.....	EXPORTS					IMPORTS				
	1931	1930	1929	1928	1913	1931	1930	1929	1928	1913
United States.....	725,000	1,635,000	2,480,000	2,373,000	2,648,000	425,000	511,000	649,000	711,000	273,000
Great Britain.....	1,935,000	3,158,000	4,380,000	4,260,000	4,969,000	2,750,000	2,908,000	2,822,000	2,897,000	2,331,000
Germany.....	4,000,000	4,465,000	5,485,000	4,643,000	*6,200,000	850,000	1,122,000	1,435,000	2,010,000	185,000
France.....	3,650,000	4,064,000	4,270,000	5,005,000	640,000	g400,000	g510,000	281,000	151,000	185,000
Belgium & Luxemburg	3,650,000	3,862,000	4,535,000	4,492,000	†1,550,000	490,000	673,000	986,000	882,000	†874,000
<b>WORLD TOTAL</b> .....	<b>13,960,000</b>	<b>17,184,000</b>	<b>21,150,000</b>	<b>20,773,000</b>	<b>16,007,000</b>	<b>4,915,000</b>	<b>5,724,000</b>	<b>6,173,000</b>	<b>6,651,000</b>	<b>3,863,000</b>

\*Includes the Saar and Luxemburg; †Belgium only; ‡Includes the Saar, except for 1913; gFrom 1930, the French import statistics include materials in temporary admission, which are re-exported after fabrication.







一九三一年歐洲鐵鋼月別輸出價格表

F.o.b. Ports of Shipment

British Prices in Pounds Sterling Per Gross Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d
<b>PIG IRON</b>												
Foundry No. 3, Middlesbrough.....	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6
Basic, Middlesbrough.....	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	2-16-0	2-16-0
Hematite, East Coast.....	3-10-0	3-10-0	3-9-0	3-7-0	3-5-6	3-3-6	3-3-0	3-2-0	3-3-0	3-5-0	3-5-0	3-5-0
<b>SEMIFINISHED STEEL</b>												
Billets.....	5-12-6	5-10-6	5-8-9	5-7-6	5-7-6	5-5-6	5-5-0	5-5-0	5-1-3	5-3-0	5-7-0	5-7-6
Wire rods.....	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0
<b>FINISHED STEEL</b>												
Standard rails.....	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0
Merchant bars.....	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-13-0	7-7-6	7-0-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0
Structural shapes.....	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0
Plates, ship, bridge and tank.....	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0
Sheets, black, 24 gage.....	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated.....	11-3-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	10-16-0	10-1-5	9-13-6	9-6-6	9-4-6	9-14-0	9-8-6	9-5-0
Bands and strips.....	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0
Plain wire, base.....	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0
Galvanized wire, base.....	14-0-0	14-0-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0	12-10-0
Wire nails, base.....	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0
Tinplate, base box 108 pounds.....	0-15-9	0-15-6	0-15-6	0-15-6	0-15-3	0-14-3	0-14-0	0-13-6	0-14-0	0-14-9	0-14-6	0-14-3
Ferromanganese*.....	19-6-0	16-9-0	16-9-0	16-9-0	16-9-0	17-4-6	17-9-6	17-9-6	17-9-6	883	883	883

\*Delivered Atlantic Seaboard, duty-paid

German Prices in Gold Pounds Per Metric Ton

F.o.b. Rotterdam or Northern Sea Ports

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d
<b>PIG IRON</b>												
Foundry, No. 3, Silicon 2.50-3.00.....	2-10-0	2-10-0	2-10-0	2-10-0	2-10-0	2-10-0	2-8-9	2-8-9	2-8-9	2-8-9	2-8-9	2-8-9
<b>SEMIFINISHED STEEL</b>												
Billets.....	3-12-0	3-12-0	3-6-0	3-7-0	3-5-3	3-5-0	3-5-0	3-2-6	3-0-0	2-17-0	2-16-0	2-13-0
Wire rods.....	5-15-0	5-10-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-2-6	5-2-6	5-2-6	5-2-6
<b>FINISHED STEEL</b>												
Standard rails.....	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	5-17-6	5-17-6	5-17-6
Merchant bars.....	4-3-6	3-18-6	3-16-6	3-17-6	3-16-4	3-10-9	3-10-0	3-10-0	3-2-0	3-2-0	3-2-0	2-18-0
Structural shapes.....	3-15-0	3-11-6	3-10-0	3-10-6	3-8-6	3-6-6	3-6-0	3-6-0	3-1-6	3-1-6	3-0-0	2-17-0
Plates, ship, bridge and tank.....	4-16-9	4-15-0	4-10-0	4-11-0	4-10-3	4-2-6	4-2-0	4-1-0	3-12-0	3-12-0	3-11-0	3-11-0
Sheets, black, 24 gage.....	8-2-6	8-2-6	8-2-6	8-2-6	8-0-0	8-0-0	8-0-0	7-15-0	7-15-0	7-12-0	7-12-0	7-10-0
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated.....	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-5-0	10-0-0	10-0-0	10-0-0	10-0-0
Bands and strips.....	4-12-0	4-12-0	4-10-0	4-9-0	4-7-6	4-5-0	4-5-0	4-2-0	4-1-0	4-1-0	4-0-0	3-17-6
Plain wire, base.....	5-7-6	5-7-6	5-2-6	5-0-0	5-0-0	5-0-0	5-1-0	5-1-3	5-1-3	5-7-0	5-7-0	5-7-0
Galvanized wire, base.....	6-15-0	6-12-0	6-10-0	6-7-6	6-5-0	6-5-0	6-5-0	6-5-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0
Wire nails, base.....	5-10-0	5-10-0	5-7-6	5-3-9	5-0-0	5-0-0	5-1-6	5-2-6	5-2-6	5-7-0	5-7-0	5-7-0
Ferromanganese, f.o.b. port of shipment.....	14-0-0	12-5-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0

French Prices in Gold Pounds Sterling Per Metric Ton

F.o.b. Channel Ports or Antwerp

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d
<b>PIG IRON</b>												
Foundry, No. 3, Silicon 2.50-3.00.....	2-12-0	2-10-0	2-9-0	2-9-6	2-9-0	2-7-6	2-8-0	2-7-6	2-7-6	2-6-6	2-5-0	2-4-0
Basic bessemer.....	2-8-0	2-8-0	2-7-6	2-7-6	2-7-6	2-6-0	2-6-0	2-6-0	2-5-6	2-3-0	2-2-0	2-1-0
<b>SEMIFINISHED STEEL</b>												
Billets.....	3-8-6	3-8-6	3-6-6	3-6-0	3-4-0	3-2-6	3-3-0	3-1-6	2-17-0	2-16-6	2-15-0	2-13-0
Wire rods.....	5-15-0	5-10-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-5-0	5-2-6	5-2-6	5-2-6	5-2-6
<b>FINISHED STEEL</b>												
Standard rails.....	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	5-17-6	5-17-6	5-17-6
Merchant bars.....	4-3-0	3-18-9	3-16-6	3-15-6	3-12-0	3-10-6	3-10-0	3-7-0	3-3-6	3-2-6	3-1-0	2-17-6
Structural shapes.....	3-13-0	3-10-9	3-8-6	3-8-0	3-7-0	3-5-9	3-6-0	3-4-6	3-1-6	3-1-0	2-19-0	2-16-6
Plates, bridge and tank, 5 millimeters.....	4-14-6	4-11-0	4-7-9	4-6-0	4-4-6	4-1-0	4-1-0	3-18-6	3-15-6	3-13-0	3-11-6	3-10-0
Sheets, black, 0.5-millimeter.....	8-11-3	8-7-6	8-4-6	8-3-6	8-1-3	8-0-0	7-18-6	7-18-0	7-18-0	7-15-0	7-12-6	7-10-0
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated.....	10-13-9	10-6-3	10-2-6	10-2-6	10-7-6	10-0-0	10-0-0	9-10-0	8-18-9	8-10-0	8-2-6	8-2-6
Bands and strips.....	4-12-6	4-10-6	4-8-0	4-7-6	4-7-0	4-3-0	4-3-6	4-3-6	4-1-3	4-0-0	3-17-6	3-16-0
Plain wire, base.....	5-7-6	5-2-6	5-1-0	4-19-6	4-18-6	4-19-3	5-0-6	5-1-3	5-1-3	5-1-3	5-5-0	5-5-0
Galvanized wire, base.....	6-15-0	6-12-6	6-12-6	6-11-3	6-9-0	6-4-3	6-3-0	6-3-9	6-3-9	6-3-9	6-3-9	6-3-9
Wire nails, base.....	5-8-0	5-5-0	5-3-6	5-1-9	5-0-0	5-0-0	5-1-0	5-2-6	5-2-6	5-2-6	5-6-3	5-6-3

Belgian Prices in Gold Pounds Sterling Per Metric Ton







*British Prices*

148	148
149	149
150	150
151	151
152	152
153	153
154	154
155	155
156	156
157	157
158	158
159	159
160	160
161	161
162	162
163	163
164	164
165	165
166	166
167	167
168	168
169	169
170	170
171	171
172	172
173	173
174	174
175	175
176	176
177	177
178	178
179	179
180	180
181	181
182	182
183	183
184	184
185	185
186	186
187	187
188	188
189	189
190	190
191	191
192	192
193	193
194	194
195	195
196	196
197	197
198	198
199	199
200	200

*German Prices*

148	148
149	149
150	150
151	151
152	152
153	153
154	154
155	155
156	156
157	157
158	158
159	159
160	160
161	161
162	162
163	163
164	164
165	165
166	166
167	167
168	168
169	169
170	170
171	171
172	172
173	173
174	174
175	175
176	176
177	177
178	178
179	179
180	180
181	181
182	182
183	183
184	184
185	185
186	186
187	187
188	188
189	189
190	190
191	191
192	192
193	193
194	194
195	195
196	196
197	197
198	198
199	199
200	200

*French Prices*

148	148
149	149
150	150
151	151
152	152
153	153
154	154
155	155
156	156
157	157
158	158
159	159
160	160
161	161
162	162
163	163
164	164
165	165
166	166
167	167
168	168
169	169
170	170
171	171
172	172
173	173
174	174
175	175
176	176
177	177
178	178
179	179
180	180
181	181
182	182
183	183
184	184
185	185
186	186
187	187
188	188
189	189
190	190
191	191
192	192
193	193
194	194
195	195
196	196
197	197
198	198
199	199
200	200

*Belgian Prices*

148	148
149	149
150	150
151	151
152	152
153	153
154	154
155	155
156	156
157	157
158	158
159	159
160	160
161	161
162	162
163	163
164	164
165	165
166	166
167	167
168	168
169	169
170	170
171	171
172	172
173	173
174	174
175	175
176	176
177	177
178	178
179	179
180	180
181	181
182	182
183	183
184	184
185	185
186	186
187	187
188	188
189	189
190	190
191	191
192	192
193	193
194	194
195	195
196	196
197	197
198	198
199	199
200	200

Nov.	Dec.
260	250
290	285
145	145
400	390
785	785
500	500
550	550
650	650
1020	985
1225	1215
935	925
625	575

Nov.	Dec.
405	400
375	360
160	160
510	505
850	850
1210	1210
540	530
555	555
655	640
1625	1600
1500	1500
710	710

*Gold Pounds Sterling Per Metric Ton*

F.O.B. Channel Ports or Antwerp

Month	1-10-0	1-11-0	1-12-0	2-1-0	2-2-0	2-3-0	2-4-0	2-5-0	2-6-0	2-7-0	2-8-0	2-9-0	2-10-0	2-11-0	2-12-0	3-1-0	3-2-0	3-3-0	3-4-0	3-5-0	3-6-0	3-7-0	3-8-0	3-9-0	3-10-0	3-11-0	3-12-0	4-1-0	4-2-0	4-3-0	4-4-0	4-5-0	4-6-0	4-7-0	4-8-0	4-9-0	4-10-0	4-11-0	4-12-0	5-1-0	5-2-0	5-3-0	5-4-0	5-5-0	5-6-0	5-7-0	5-8-0	5-9-0	5-10-0	5-11-0	5-12-0	6-1-0	6-2-0	6-3-0	6-4-0	6-5-0	6-6-0	6-7-0	6-8-0	6-9-0	6-10-0	6-11-0	6-12-0	7-1-0	7-2-0	7-3-0	7-4-0	7-5-0	7-6-0	7-7-0	7-8-0	7-9-0	7-10-0	7-11-0	7-12-0	8-1-0	8-2-0	8-3-0	8-4-0	8-5-0	8-6-0	8-7-0	8-8-0	8-9-0	8-10-0	8-11-0	8-12-0	9-1-0	9-2-0	9-3-0	9-4-0	9-5-0	9-6-0	9-7-0	9-8-0	9-9-0	9-10-0	9-11-0	9-12-0	10-1-0	10-2-0	10-3-0	10-4-0	10-5-0	10-6-0	10-7-0	10-8-0	10-9-0	10-10-0	10-11-0	10-12-0	11-1-0	11-2-0	11-3-0	11-4-0	11-5-0	11-6-0	11-7-0	11-8-0	11-9-0	11-10-0	11-11-0	11-12-0	12-1-0	12-2-0	12-3-0	12-4-0	12-5-0	12-6-0	12-7-0	12-8-0	12-9-0	12-10-0	12-11-0	12-12-0
-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------

*Gold Pounds Sterling Per Metric Ton*

Rotterdam or Northern Sea Ports

Month	1-10-0	1-11-0	1-12-0	2-1-0	2-2-0	2-3-0	2-4-0	2-5-0	2-6-0	2-7-0	2-8-0	2-9-0	2-10-0	2-11-0	2-12-0	3-1-0	3-2-0	3-3-0	3-4-0	3-5-0	3-6-0	3-7-0	3-8-0	3-9-0	3-10-0	3-11-0	3-12-0	4-1-0	4-2-0	4-3-0	4-4-0	4-5-0	4-6-0	4-7-0	4-8-0	4-9-0	4-10-0	4-11-0	4-12-0	5-1-0	5-2-0	5-3-0	5-4-0	5-5-0	5-6-0	5-7-0	5-8-0	5-9-0	5-10-0	5-11-0	5-12-0	6-1-0	6-2-0	6-3-0	6-4-0	6-5-0	6-6-0	6-7-0	6-8-0	6-9-0	6-10-0	6-11-0	6-12-0	7-1-0	7-2-0	7-3-0	7-4-0	7-5-0	7-6-0	7-7-0	7-8-0	7-9-0	7-10-0	7-11-0	7-12-0	8-1-0	8-2-0	8-3-0	8-4-0	8-5-0	8-6-0	8-7-0	8-8-0	8-9-0	8-10-0	8-11-0	8-12-0	9-1-0	9-2-0	9-3-0	9-4-0	9-5-0	9-6-0	9-7-0	9-8-0	9-9-0	9-10-0	9-11-0	9-12-0	10-1-0	10-2-0	10-3-0	10-4-0	10-5-0	10-6-0	10-7-0	10-8-0	10-9-0	10-10-0	10-11-0	10-12-0	11-1-0	11-2-0	11-3-0	11-4-0	11-5-0	11-6-0	11-7-0	11-8-0	11-9-0	11-10-0	11-11-0	11-12-0	12-1-0	12-2-0	12-3-0	12-4-0	12-5-0	12-6-0	12-7-0	12-8-0	12-9-0	12-10-0	12-11-0	12-12-0
-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------

*Gold Pounds Sterling Per Metric Ton*

F.O.B. Antwerp

Month	1-10-0	1-11-0	1-12-0	2-1-0	2-2-0	2-3-0	2-4-0	2-5-0	2-6-0	2-7-0	2-8-0	2-9-0	2-10-0	2-11-0	2-12-0	3-1-0	3-2-0	3-3-0	3-4-0	3-5-0	3-6-0	3-7-0	3-8-0	3-9-0	3-10-0	3-11-0	3-12-0	4-1-0	4-2-0	4-3-0	4-4-0	4-5-0	4-6-0	4-7-0	4-8-0	4-9-0	4-10-0	4-11-0	4-12-0	5-1-0	5-2-0	5-3-0	5-4-0	5-5-0	5-6-0	5-7-0	5-8-0	5-9-0	5-10-0	5-11-0	5-12-0	6-1-0	6-2-0	6-3-0	6-4-0	6-5-0	6-6-0	6-7-0	6-8-0	6-9-0	6-10-0	6-11-0	6-12-0	7-1-0	7-2-0	7-3-0	7-4-0	7-5-0	7-6-0	7-7-0	7-8-0	7-9-0	7-10-0	7-11-0	7-12-0	8-1-0	8-2-0	8-3-0	8-4-0	8-5-0	8-6-0	8-7-0	8-8-0	8-9-0	8-10-0	8-11-0	8-12-0	9-1-0	9-2-0	9-3-0	9-4-0	9-5-0	9-6-0	9-7-0	9-8-0	9-9-0	9-10-0	9-11-0	9-12-0	10-1-0	10-2-0	10-3-0	10-4-0	10-5-0	10-6-0	10-7-0	10-8-0	10-9-0	10-10-0	10-11-0	10-12-0	11-1-0	11-2-0	11-3-0	11-4-0	11-5-0	11-6-0	11-7-0	11-8-0	11-9-0	11-10-0	11-11-0	11-12-0	12-1-0	12-2-0	12-3-0	12-4-0	12-5-0	12-6-0	12-7-0	12-8-0	12-9-0	12-10-0	12-11-0	12-12-0
-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------



一九三一年歐洲國內月別鐵鋼價格表

At Works or Furnace

British Prices in Pounds Sterling Per Gross Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00.	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6
Basic pig iron	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	2-16-0	2-16-0
Furnace coke	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-11-6	0-11-0	0-11-0	0-11-0	0-11-0	0-11-6	0-12-6
Billets	5-12-6	5-10-9	5-8-9	5-7-6	5-7-6	5-5-6	5-5-0	5-5-0	5-1-0	5-4-6	5-7-0	5-7-6
Standard rails	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0
Merchant bars	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-14-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0
Shapes	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0
Plates, ship, bridge and tank*	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0
Sheets, black, 24 gage	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated	11-3-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	10-10-9	10-1-5	9-13-0	9-7-6	9-4-0	9-14-6	9-8-6	9-5-0
Plain wire	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-0-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0
Bands and strips	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0

\*Delivered

German Prices in Reich Marks Per Metric Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00.	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
Basic pig iron	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50
Furnace coke	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40
Billets	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50
Standard rails	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127
Merchant bars	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
Shapes	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
Plates, ship, bridge and tank, 5 millim.	147	147	147	147	147	147	147	147	147	154 50	154 50	154 50
Sheets, black, 1 to 3 millimeters	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated	330	330	330	330	330	330	330	330	330	410	410	410
Plain wire	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207
Bands and strips	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148

French Prices in French Francs Per Metric Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00.	290	290	300	300	300	300	285	285	275	275	260	250
Semi-phosphorus pig iron	325	325	325	325	325	325	325	315	315	315	290	285
Furnace coke	158	158	158	145	145	145	145	145	145	145	145	145
Billets	490	490	490	490	490	490	490	490	490	420	400	390
Standard rails	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785
Merchant bars	540	535	530	512	484	460	460	500	500	500	500	500
Shapes	620	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550
Plates, bridge and tank, 5-millimeter	760	760	700	700	700	700	700	700	700	675	650	650
Sheets, black, 0.5-millimeter	1210	1210	1200	1195	1170	1160	1150	1140	1140	1080	1020	985
Sheets, galvanized, 0.6-millim., corrugated	1475	1475	1475	1425	1325	1325	1325	1325	1325	1325	1325	1325
Plain wire	1200	1200	1100	1100	1055	1025	1000	985	935	935	935	925
Bands and strips	690	690	685	680	630	610	590	600	610	625	625	575

Belgian Prices in Belgian Francs Per Metric Ton





## British Prices in Pounds Sterling Per Gross Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d	£ s d
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6	2-18-6
Basic pig iron	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0	3-0-0
Furnace coke	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-12-0	0-11-6	0-11-0	0-11-0	0-11-0	0-11-0	0-11-6	0-12-6
Billets	5-12-6	5-10-9	5-8-9	5-7-6	5-7-6	5-5-6	5-5-0	5-5-0	5-1-0	5-4-6	5-7-0	5-7-6
Standard rails	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0	8-5-0
Merchant bars	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-14-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0	7-0-0
Shapes	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0
Plates, ship, bridge and tank*	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0	9-0-0
Sheets, black, 24 gage	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated	11-3-0	11-0-0	11-0-0	11-0-0	10-10-9	10-1-5	9-13-0	9-7-6	9-4-0	9-14-6	9-8-6	9-5-0
Plain wire	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0
Bands and strips	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0	9-10-0

\*Delivered

## German Prices in Reich Marks Per Metric Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
Basic pig iron	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50	85 50
Furnace coke	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40	21 40
Billets	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50	110 50
Standard rails	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127
Merchant bars	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
Shapes	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
Plates, ship, bridge and tank, 5 millim.	147	147	147	147	147	147	147	147	147	154 50	154 50	154 50
Sheets, black, 1 to 3 millimeters	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
Sheets, galvanized, 24 gage, corrugated	330	330	330	330	330	330	330	330	330	410	410	410
Plain wire	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207
Bands and strips	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148

## French Prices in French Francs Per Metric Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Foundry No. 3 pig iron, Silicon 2.50-3.00	290	290	300	300	300	300	285	285	275	275	260	250
Semi-phosphorus pig iron	325	325	325	325	325	325	325	315	315	315	290	285
Furnace coke	158	158	158	145	145	145	145	145	145	145	145	145
Billets	490	490	490	490	490	490	490	490	490	420	400	390
Standard rails	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785	785
Merchant bars	540	535	530	512	484	460	460	500	500	500	500	500
Shapes	620	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550
Plates, bridge and tank, 5-millimeter	760	760	700	700	700	700	700	700	700	675	650	650
Sheets, black, 0.5-millimeter	1210	1210	1200	1195	1170	1160	1150	1140	1140	1080	1020	985
Sheets, galvanized, 0.6-millim., corrugated	1475	1475	1475	1425	1325	1325	1325	1325	1325	1325	1325	1325
Plain wire	1200	1200	1100	1100	1055	1025	1000	985	935	935	935	925
Bands and strips	690	690	685	680	630	610	590	600	610	625	625	575

## Belgian Prices in Belgian Francs Per Metric Ton

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Foundry pig iron, Silicon 2.50-3.00	500	470	465	465	460	460	460	460	450	410	405	400
Basic bessemer pig iron	450	440	435	425	420	415	415	415	415	380	375	360
Furnace coke	180	180	185	185	185	185	185	185	185	160	160	160
Billets	680	670	655	660	660	645	632	600	560	530	510	505
Wire rod	897	897	873	850	850	850	850	850	850	850	850	850
Standard rails	1220	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1210
Merchant bars	740	715	680	680	658	625	640	610	580	560	540	530
Shapes	718	705	675	670	656	620	625	605	575	545	535	530
Plates, bridge and tank, 5-millimeter	850	835	800	790	765	745	730	710	695	675	655	640
Sheets, black, 0.5-millimeter, annealed and straightened	1700	1700	1800	1800	1800	1750	1700	1675	1650	1625	1625	1600
Plain wire	1650	1650	1650	1600	1600	1600	1600	1600	1600	1500	1500	1500
Bands and strips	1075	975	975	1025	1075	1075	900	750	710	710	710	710







一九三一年合衆國國內月別鐵鋼價格表

Average Monthly Prices of Leading Materials at Pittsburgh

PIG IRON

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Bessemer.....	\$18.76	\$18.51	\$18.26	\$18.26	\$18.26	\$18.26	\$18.26	\$18.26	\$18.26	\$18.16	\$17.76	\$17.51
Basic.....	18.13	17.88	17.88	18.13	18.13	18.13	18.13	18.13	18.13	17.63	16.13	16.13
Foundry No. 2.....	18.26	18.01	18.01	18.26	18.26	18.26	18.26	18.26	18.26	18.16	17.76	17.51
Malleable.....	18.63	18.38	18.13	18.13	18.13	18.13	18.13	18.13	18.13	18.03	17.63	17.48
Gray Forge.....	17.63	17.38	17.38	17.63	17.63	17.63	17.63	17.63	17.63	17.53	17.13	17.88
Bessemer Ferrosilicon, 10 per cent (Jackson county base)	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	24.00	23.00	23.00	23.00	23.00

SEMIFINISHED

Billets, Bessemer.....	\$30.00	\$30.00	\$30.00	\$30.00	\$30.00	\$29.00	\$29.00	\$29.00	\$29.00	\$29.00	\$29.00	\$29.00
Billets, Open Hearth.....	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
Sheet Bars, Bessemer.....	30.00	30.00	30.00	30.00	29.75	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	28.50
Sheet Bars, Open Hearth.....	30.00	30.00	30.00	30.00	29.75	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	28.50
Wire Rods.....	35.00	35.00	36.00	36.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00

COKE

Furnace, Spot.....	\$2.50	\$2.50	\$2.50	\$2.50	\$2.45	\$2.40	\$2.40	\$2.40	\$2.40	\$2.40	\$2.35	\$2.30
Foundry, Spot.....	3.30	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	2.25

ROLLED PRODUCTS

Structural Shapes.....	1.60c	1.60c	1.60c	1.65c	1.65c	1.65c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.50c
Plates, base.....	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.50
Steel Bars, base.....	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
Cold Finished Steel Bars.....	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.00
Strip, Hot Rolled—												
To 6 inches wide.....	1.65	1.65	1.65	1.65	1.60	1.60	1.65	1.65	1.65	1.65	1.60	1.55
6½ to 24 inches.....	1.55	1.55	1.55	1.55	1.50	1.50	1.55	1.55	1.55	1.55	1.50	1.45
Strip, Cold Rolled, base.....	2.25	2.25	2.25	2.20	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.10	2.05
Steel Pipe, 1 to 3-in. discount.....	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%	64%
Standard Spikes, base.....	2.80	2.80	2.80	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.65
Wire Nails, base.....	1.90	1.90	1.90	1.90	1.80	1.85	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90
Plain Wire, base.....	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
Structural Rivets, base.....	2.75	2.75	2.75	2.75	2.75	2.75	2.75	2.75	2.55	2.30	2.25	2.25
No. 24 Hot Rolled Annealed Sheets.....	2.35	2.35	2.35	2.25	2.25	2.15	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
No. 9-10 Blue Annealed.....	1.90	1.90	1.90	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
No. 24 Galvanized.....	2.90	2.90	2.90	2.85	2.80	2.80	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
Tin Plate, base box.....	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$5.00	\$4.75	\$4.75	\$4.75

OLD MATERIAL

Heavy Melting Steel.....	\$13.00	\$12.75	\$12.90	\$12.50	\$11.25	\$10.30	\$10.50	\$10.70	\$10.80	\$10.45	\$10.25	\$10.00
Low Phosphorus.....	17.20	17.50	17.50	17.20	16.25	14.75	13.50	13.50	14.00	14.00	14.00	14.00
No. 1 Cast.....	12.50	12.50	12.50	12.20	11.50	10.85	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

Average Monthly Prices of Leading Materials at Chicago

PIG IRON

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
Lake Superior Charcoal.....	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$27.04	\$25.54	\$25.04	\$25.04	\$20.04
Northern No. 2 Foundry.....	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.20	17.00	16.60
Southern No. 2 Foundry.....	17.01	16.81	16.76	17.01	17.01	17.01	17.01	17.01	17.01	17.01	17.01	17.01
Malleable.....	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50	17.10	17.00	16.60

ROLLED PRODUCTS

Bar Iron.....	1.70c	1.75c	1.70c	1.80c	1.80c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.65c	1.60c
Rail Steel Bars.....	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.50	1.50	1.50
Soft Steel Bars.....	1.70	1.70	1.70	1.80	1.75	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.60
Structural Shapes.....	1.70	1.70	1.70	1.80	1.75	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.60
Plates.....	1.70	1.70	1.70	1.80	1.75	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.60
No. 24 Hot Annealed Sheets.....	2.50	2.50	2.50	2.45	2.40	2.40	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55

OLD MATERIAL

Heavy Melting Steel.....	\$10.00	\$9.85	\$9.75	\$9.60	\$8.65	\$8.50	\$8.50	\$8.25	\$7.95	\$7.75	\$7.65	\$7.50
No. 1 Railroad Wrought.....	9.50	9.25	9.00	8.80	8.40	8.25	8.25	8.25	8.00	8.00	8.00	7.45
Rails for Rolling.....	13.00	12.10	12.00	11.85	11.15	10.90	10.50	10.50	10.50	10.50	10.00	9.80
Car Wheels, Iron.....	11.25	10.75	10.60	9.50	9.25	10.20	10.00	9.90	9.50	9.50	9.00	8.75
No. 1 Cast (Machinery).....	10.65	10.65	10.65	10.25	9.80	9.80	9.80	9.80	9.80	9.80	9.00	8.95

Average Monthly Prices of Leading Materials in Eastern Pennsylvania











一九三一年英國鐵鋼月別生產高、輸出入一覽

(Gross tons 000 omitted)

Monthly ave.	PRODUCTION			IMPORTS			EXPORTS			
	Coal	Pig iron and ferro-alloys	No. furnaces in blast	Steel ingots and castings	Iron ore	Pig iron and ferro-alloys	Steel†	Furnace Coke	Pig iron and ferro-alloys	Steel†
1913	23,951	855	338	639	603	18.0	168	...	93.7	320
1928	19,814	551	132	710	370	9.9	231	133	37.9	317
1929	21,393	632	162	803	574	12.8	222	138	45.5	319
1930	20,313	516	76	608	345	26.0	216	129	26.4	237
1931										
Jan.	19,174	337	83	402	207	23.3	198	154	18.8	149
Feb.	18,920	318	81	486	180	20.8	156	108	13.8	130
March	19,391	357	81	500	211	22.8	188	96	15.8	154
April	18,574	323	78	397	184	26.1	167	106	13.7	174
May	17,287	347	80	435	191	27.6	200	48	22.0	146
June	17,831	324	76	429	202	29.6	217	71	27.3	135
July	17,083	317	70	429	176	21.0	210	97	19.4	149
Aug.	16,110	276	64	357	155	25.2	177	137	12.2	132
Sept.	17,959	248	62	400	109	15.9	204	124	12.8	126
Oct.	19,670	284	66	457	135	30.6	245	185	14.3	145
Mo. ave.	18,200	313	66	429	175	24.3	196	112	17.0	144

\*Average for 1913; on last day of year or month for subsequent figures; †Includes iron castings, but scrap excluded.

一九三一年佛蘭西鐵鋼月別生產高、輸出入一覽

(Metric tons 000 omitted)

Mo. ave.	PRODUCTION*				IMPORTS**@			EXPORTS@	
	Iron ore	Coke†	Pig iron and ferro-alloys	No. furnaces in blast	Steel ingots and castings	Pig iron and ferro-alloys	Steel g	Pig iron and ferro-alloys	Steel
1913	3,588	336	756	190	581	256	4.2	10	9
1928	4,099	367	832	155	792	447	4.9	9	7
1929	4,227	397	864	154	808	454	4.0	14	48
1930	4,038	421	836	137	787	380	14.0	21	45
1931									
Jan.	3,802	424	801	135	746	326	11	23	42
Feb.	3,396	398	726	133	693	330	14	22	44
March	3,564	432	775	133	722	352	12	19	44
April	3,312	409	739	133	675	300	8	16	41
May	3,195	399	724	129	674	270	8	16	32
June	3,277	369	691	121	650	312	7	18	37
July	3,232	359	679	115	651	277	6	18	39
Aug.	3,064	350	680	113	644	286	6	19	42
Sept.	3,139	346	655	111	655	285	5	22	28
Oct.	3,112	365	637	103	626	229	4	23	30
Mo. ave.	3,309	385	711	103	674	297	8	20	38

\*Production for 1913 is for France in her present boundaries; †Coke production at the coal mines on addition, the iron and steel works produce about 3,500,000 tons annually; ‡On last day of year or month; §Includes ingots, semifinished steel, all rolled products, forgings and scrap; \*\*Since 1930, imports include tonnages to be re-exported after fabrication; @Import and export figures are inclusive of the Saar district

一九三一年白耳義及ルクセンブルグ鐵鋼月別生產高、輸出入一覽

(Metric tons 000 omitted)

Mo. ave.	PRODUCTION				IMPORTS		EXPORTS		
	Coke	Belgium Pig iron and ferro-alloys	Steel ingots and castings	Luxemburg Pig iron and ferro-alloys	Steel ingots and castings	Belgium and Luxembourg Pig iron	Steel†	Pig iron	Steel†
1913	294	207	206	212	98	48†	26†	1	4†
1928	494	325	328	231	214	46	38	8	380
1929	499	341	344	242	225	56	37	10	395
1930	447	283	281	206	189	33	28	10	343
1931									
Jan.	417	270	263	183	172	25	28	8	285
Feb.	380	240	228	169	161	23	31	11	321
March	420	263	248	178	172	22	23	8	325
April	410	258	251	171	166	20	24	9	332
May	417	271	251	169	166	23	30	7	283
June	413	278	270	172	175	25	34	6	309
July	427	289	284	177	182	25	35	6	337
Aug.	435	299	290	174	175	34	36	5	298
Sept.	426	284	279	172	175	26	39	3	324
Oct.	410	272	268	172	177	25	31	7	313
Mo. Ave.	416	272	263	174	172	25	31	7	313

†Belgium only; ‡Includes iron castings and scrap.

一九三一年獨逸鐵鋼月別生產高、輸出入一覽

(Metric tons 000 omitted)

Mo. ave.	PRODUCTION*				IMPORTS†			EXPORTS‡	
	Coke	Pig iron and ferro-alloys	No. furnaces in blast	Steel ingots and castings	Pig iron and ferro-alloys	Steel g	Coke	Pig iron and ferro-alloys	Steel
1913	2,639	910	204	993	11	41	534	71	470
1928	2,822	985	101	1,210	26	174	740	25	395
1929	3,213	1,117	95	1,354	15	137	888	36	448
1930	2,705	808	63	962	14	94	664	19	381
1931									
Jan.	2,240	603	61	773	10	68	590	10	363
Feb.	2,012	520	53	760	9	80	557	8	318
March	2,120	560	56	811	9	84	561	8	361
April	1,850	529	58	743	10	90	438	8	336
May	1,867	555	59	744	12	83	365	21	346
June	1,883	575	61	779	13	79	442	47	323
July	1,954	569	59	803	11	73	548	23	290
Aug.	1,861	499	56	689	11	64	588	12	307
Sept.	1,777	438	49	593	10	55	653	15	386
Oct.	1,790	434	47	603	10	47	627	12	401
Mo. avg.	1,935	528	47	730	10.5	72	537	16	343

\*Figures for 1913 are for Germany in her present boundaries; †On last day of year or month; ‡Figures for 1913 for pre-war boundaries, and include Luxemburg; §Includes iron castings and scrap.



附表九

Reported by  
and

	Rails	Angle bars, steel ties, track accessories	Plates	Per Cent of Total
1—Railroads				
a Cars and locomotives	4	1,527	225.1	3.67
b Track construction and repair	1,036,957	423,317	4.4	8.88
c Buildings and bridges	635	63	61.6	2.10
2—Buildings				
a Erection materials, frame, trim, etc.	262	257	292.2	12.34
b Furnishings, furniture, stoves, etc.			3.5	2.90
c Other products for buildings			9.6	1.56
3—Highways and highway bridges	5	400	22.1	2.35
4—Automotive	214	42	103.3	14.78
5—Oil, gas and water	2,806	313	359.5	9.75
6—Mining, quarrying & lumbering	50,395	13,556	27.2	0.83
7—Agricultural				
a Implements	131	246	10.5	1.38
b All other agricultural			10.0	2.18
8—Shipbuilding and repair	1		102.9	1.03
9—Machinery, tools and equipment (including electrical)	902	129	83.7	3.37
10—Food and packing industry (All containers)			22.0	7.90
11—Exports	51,761	5,121	67.8	4.10
12—Miscellaneous	5,749	2,889	68.0	8.20
Totals	1,149,822	447,860	1,474.0	87.32
Jobbers	3,343	9,935	92.2	12.68
Grand totals	1,153,165	457,795	1,566.3	100.00

一九三一年三月至五月間鐵鋼出口總量

(Metric tons, 1000 omitted)

Year	Production	Exports	Imports	Stocks
1931	1,153,165	51,761	5,749	3,343
1930	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1929	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1928	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1927	1,149,822	51,761	5,749	3,343

一九三一年三月至五月間鐵鋼出口總量

(Metric tons, 1000 omitted)

Year	Production	Exports	Imports	Stocks
1931	1,153,165	51,761	5,749	3,343
1930	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1929	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1928	1,149,822	51,761	5,749	3,343
1927	1,149,822	51,761	5,749	3,343